

上下水道情報

下水道を中心に上下水道行政と水ビジネスを追う専門紙

臨時
増刊
2025.7.29

編集・発行 公共投資ジャーナル社

7月29日(木)から8月1日(日)の4日間、イン
テック大阪国際会議場で開催される「下水道展」
の全出展者と展示内容、併催イベントの詳
細ほか全容を徹底紹介 [完全保存版]

特別企画①

Technologies & Products, etc 2025
本紙が注目する**必見の技術・製品等**

特別企画②

下水道事業をサポートする
関連団体の取り組み

特別企画③

「下水道管路の全国特別重点調査」
グラフで見る自治体別の対象延長

PDF版はこちら

この冊子は公共投資ジャーナル社のホームページから
無料でダウンロードできます



積水化学工業株式会社は 下水道展'25大阪に出展します

インテックス大阪
5号館Aゾーン
5-118

課題解決に役立つ製品・工法・手法を「事例・実績」を交えて紹介します!



老朽化対策

SPR工法シリーズ



小口径から超大口径まで適用します!
あらゆる断面形状に対応し、通水施工も可能です!

管路更生工法適用マップ



官民連携

ウォーターPPP

包括的民間委託・
長寿命化計画策定支援



今年も会場で
詳しくご説明いたします
ぜひご来場ください!



管路包括事業
解説動画
全4編公開中!



積水化学 ウォーターPPP 検索



長寿命化・耐震化



災害対策



処理場機能強化



浸水対策



下水道展 25 大阪

二次元コードから
ホームページをチェック!



7.29 火 ~ 8.1 金 4日間

インテックス大阪 10:00~17:00 初日開館 10:30 最終日閉館 16:00

本展示会は **事前来場登録制** です。

- 入場前に来場登録フォームに必要事項を入力の上、来場証の出力を持参ください。
- 事前来場登録・最新スケジュールは公式サイトでチェック!

www.gesuidouten.jp/

主催: 公益社団法人 **日本下水道協会**

後援: 国土交通省、環境省、総務省、経済産業省、文部科学省、全国知事会、全国市長会、全国町村会、大阪府、大阪市、日本下水道事業団、日本下水道新技術機構、日本経済新聞社、テレビ大阪 協賛: 関係約60団体

抽選券持参で

豪華な
プレゼント
が当たる!

1等
5名様
会期4日間



Apple Watch SE
当キャンペーンは Apple Inc. またはその関連会社の
提供・直轄によるものではありません。

2等
50名様
会期4日間
デジコ
2,000円分

3等
400名様
会期4日間
デジコ
500円分

デジコとは交換先を選べるデジタルギフトです。PayPayマネーライト・Google Play ギフトコードなどと交換することができます。デジコからPeXポイントギフトへ交換したくくと、PeXサイトからVポイントなど最大6,000種類のサービスに交換も可能です。
※ PayPayマネーライトは出金不可です。 ※ Google Play および Google Play ログは Google LLC の商標です。

第62回 下水道研究発表会
www.jswa.jp/kenpatu/

同時
開催

会場: ATC O's南コンベンションルーム・会議室

7.29 火 ~ 7.31 木

主催: 公益社団法人 **日本下水道協会**

展示会に関するお問い合わせ



0120-261-122

(平日9:00~17:30のみ) 2025年8月1日まで

上下水道情報

「下水道展 '25大阪」臨時増刊

CONTENTS

04 総力特集

「下水道展 '25大阪」 徹底ガイド [完全保存版]

- 05 「下水道展 '25大阪」の開催にあたって
公益社団法人 日本下水道協会 岡久 宏史 理事長
- 06 下水道展で下水道の魅力と底力を実感しよう
国土交通省 石井 宏幸 上下水道審議官
- 07 JSの下水道ライフサイクル全般にわたるサポートを紹介
地方共同法人 日本下水道事業団 黒田 憲司 理事長
- 08 課題解決に役立つ最新情報が一堂に
公益財団法人 日本下水道新技術機構 塩路 勝久 理事長
- 09 未来を繋ぐ大阪の力! 「下水道展 '25大阪」
大阪市建設局 寺川 孝 局長
- 10 「下水道展 '25大阪」開催会場へのアクセス
- 11 出展会社・団体と展示内容一覧
[付録] 会場レイアウト (インテックス大阪 1号館~5号館)・出展者一覧
- 17 下水道展 '25大阪 併催行事・併催企画等のご案内
公益社団法人 日本下水道協会 武田 裕一 展示企画室 室長
- 18 ◎おもな併催行事/併催企画 一覧
- 20 ◎第62回下水道研究発表会 開催概要・プログラム
- 32 ◎第39回下水道都道府県セミナー 開催概要・プログラム

[広告索引]

| | | | |
|------|---------------------------------------|------|--------------------|
| 表2 | 積水化学工業(株) | 後付-3 | (株)NJS |
| 表2対向 | (公社)日本下水道協会 | 後付-3 | (株)三水コンサルタント |
| 後付-1 | 大平洋機工(株)/ラサ商事(株) | 表3対向 | 東亜グラウト工業(株) |
| 後付-2 | (一社)持続可能な社会のための 日本下水道産業連合会 (FJISS) | 表3対向 | アイスピグ研究会 |
| 後付-2 | SDライナー工法協会 | 表3 | (株)クオークエンジニアリング |
| | | 表4 | 月島JFEアクアソリューション(株) |

本冊子の制作にあたっては、日本下水道協会をはじめ、国・関連団体、出展企業・団体など関係の皆様から多大なご協力を賜りました。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。

33 特別企画1

Technologies & Products, etc 2025

下水道展'25大阪 本紙が注目する今回必見の技術・製品等

- | | |
|----------------------------------|--------------------------------|
| 34・35 阿南電機(株) | 57 大平洋機工(株)／ラサ商事(株) |
| 36 (株)石垣 | 58 (株)タクミナ |
| 37 稲畑産業(株)／(株)片岡バイオ研究所／小松マテール(株) | 59 (株)中央設計技術研究所 |
| 38 ヴェオリア・ジェネッツ(株) | 60 月島JFEアクアソリューション(株) |
| 39 ヴェオリア・ジェネッツ(株)／(株)西原環境 | 61 月島ジェイテクノメンテサービス(株) |
| 40 SDライナー工法協会 | 62 東亜グラウト工業(株) |
| 41 FFT工法協会 | 63 DO-Jet工法研究会 |
| 42・43・44・45 (株)NJS | 64・65 巴工業(株) |
| 46 荏原実業(株) | 66・67 (株)日水コン |
| 47 北川工業(株) | 68 日本SPR工法協会 |
| 48 クリスタルライニング工法協会 | 69 日本水工設計(株) |
| 49 (株)三水コンサルタント | 70・71 パルテム技術協会 |
| 50 三洋貿易(株) | 72 ブルーイノベーション(株)／Flyability SA |
| 51 新明和工業(株) | 73 兵神装備(株) |
| 52 水ing(株)／水ingエンジニアリング(株) | 74 前澤工業(株) |
| 53 スズテック(株) | 75 (株)明電舎 |
| 54 (一社)セイフティーフラット工法協会 | 76 安原環境テクノロジー(株) |
| 55 積水化学工業(株) | 77 横河ソリューションサービス(株) |
| 56 大同特殊鋼(株) | 78 (株)ワット・コンサルティング |

79 特別企画2

下水道事業をサポートする 関連団体の取り組み

- | |
|---------------------------------|
| 80 一般社団法人 持続可能な社会のための日本下水道産業連合会 |
| 81 一般社団法人 日本管路更生工法品質確保協会 |
| 82 一般社団法人 日本下水道施設管理業協会 |
| 83 一般社団法人 日本下水道施設業協会 |

85 特別企画3

「下水道管路の全国特別重点調査」 グラフで見る 自治体別の対象延長

今年1月に埼玉県八潮市で発生した道路陥没事故を受け、国土交通省では下水道管路の全国特別重点調査を全国の自治体に要請しています。同省によると、対象となる自治体は約500、延長で約5000km、うち優先実施箇所を含む自治体は約100、延長で約1000kmにのびります。本紙は今年4月、全国の都道府県と主要都市を対象に全国特別重点調査に関する緊急アンケートを行いました。ここではその結果をベースに、自治体別の対象延長をグラフ化して紹介します。

総力特集

Sewage Works Exhibition '25

「下水道展 '25 大阪」徹底ガイド 完全保存版

OSAKA

「大阪・関西万博」で賑わう大阪のまちに、4年ぶりに下水道展が帰ってきました。出展者数は350社・団体と、近年の地方開催では最大級。皆様の見学のお役に立てるよう、各社・団体の出展内容リストや併催行事・併催企画のプログラムなどを、主催者・下水道関係者のコメントとともに特集としてまとめました。本紙を片手に多彩なコンテンツに効率良くアクセスして、下水道界の最先端の技術や情報をたっぷりとお持ち帰りください。

名称 「下水道展 '25 大阪」

日時 2025年7月29日(火)-8月1日(金) 4日間
10:00-17:00
(ただし初日開館10:30、最終日閉館16:00)

会場 大阪国際見本市会場「インテックス大阪」
(大阪市住之江区南港北1-5-102)

主催 公益社団法人 日本下水道協会

後援 国土交通省、環境省、総務省、経済産業省、文部科学省、全国知事会、全国市長会、全国町村会、大阪府、大阪市、日本下水道事業団、日本下水道新技術機構、日本経済新聞社、テレビ大阪

協賛 関係約60団体

出展規模 350社(団体)・1186小間

併催企画 下水道技術情報研修会(ブースツアー)、テクニカルツアー、出展者コンテストなど

併催行事 第62回下水道研究発表会

報道協力 日本水道新聞社、水道産業新聞社、環境新聞社、公共投資ジャーナル社

開催趣旨

下水道展(Sewage Works Exhibition)は、下水道事業の管理者である全国の地方公共団体等を対象に、全国の下水道関連企業(団体)の日ごろの技術開発の成果等に基づき、下水道に関する幅広い分野の最新技術・機器、サービス等の展示・紹介をする下水道分野における国内最大の展示会です。

施設の老朽化に伴う改築への対応、頻発する豪雨に備えるための浸水対策、人口減少に伴う下水道使用料収入の減少、人員の不足による管理体制の脆弱化など、下水道事業は多くの課題を抱えています。

これらの課題に対処していくためには、行政自身の取り組みに加え、民間企業と連携し、そのノウハウや創意工夫を積極的に取り入れ、戦略的に事業を推進する必要があります。

下水道展では、全国の地方公共団体が抱える課題の解決に繋がる最新技術・機器等の情報を効率的に収集していただくため、展示とともにセミナーの開催など、さまざまな企画を実施します。

国内最大の下水道技術の展示会

「下水道展'25大阪」 の開催にあたって

公益社団法人 日本下水道協会 理事長

岡久 宏史

Hirofumi Okahisa



「下水道展'25大阪」を開催するにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

下水道展は、下水道事業の管理者である地方公共団体等を対象に、全国の下水道関連企業（団体）の技術開発の成果に基づき、下水道に関する幅広い分野の最新技術・機器、サービス等を展示・紹介することを目的として毎年開催している、本年度で37回目を迎える下水道分野では国内最大の展示会であり、本年の出展規模はここ10年来の地方開催で最大となる350者（1186小間）となっております。

会期中は、出展者が、出展内容のより詳細な説明を行うための出展者プレゼンテーションや、大阪市や神戸市、堺市の協力を得て実施する複数の下水道関連施設を見学しながら巡るテクニカルツアー、国土交通省をはじめ各関連団体が開催するカーボンニュートラルや新技術などをテーマとした16件の併催企画が行われます。

例年、自治体関係者の皆様にご好評をいただいております「下水道技術情報研修会（ブースツアー）」を本年も実施します。ブースツアーは地方公共団体の皆様を対象に、より効率的に情報収集をしていただくため、下水道事業において関心の高い各課題に係る複数の出展ブースへ、同じ課題について関心を持つ方々をグループでご案内するとともに、観覧後には参加者と出展

者間での情報・意見交換の場（セッション）を設け、官民の相互交流の促進を図る企画となります。昨年は、401名の地方公共団体関係者にご参加いただき、8割以上の方から「大変満足・満足」とのお声をいただいております。本年も、当ツアーが自治体関係者と出展者にとって、より効果的な情報収集、情報交換の場となるようしっかりと準備を進めてまいります。

今年の下水道展は、万博の会期内であり、近傍での開催となることから、下水道展出展者による万博での参加・協力内容の紹介や外国からの来場者が増加することへの対応として、海外来場者をより積極的に対応する出展者の紹介、万博会場内で下水道展のPRを行うミニブースの設置（下水道展の前週2日間）を行うことにより、下水道展と万博のさらなる機運醸成に寄与してまいります。

一般の来場者に向けた取り組みとして、大阪市をはじめとした13の自治体・団体が出展する「一般来場者向けゾーン」は、子どもを含めた普段下水道事業に直接接することが少ない一般来場者を対象に、下水道の基本的な仕組みや役割、また下水污泥からの再生リン回収及び肥料化など新しい取り組みについても紹介するなど、子どもたちにとっては夏休みの自由研究のヒントを見つけられる内容となっております。

また、例年ご好評をいただいているうんこがデザインされたグッズなどを販売する「うんこワマルシェ（うんこカワイイグッズマルシェ）」の内容をさらに拡大し、今年は、トイレの形をしたお皿にカレーを盛りつけてお召し上がりいただく「うんこワカレー」の販売、およびトイレの形をしたソフトクリームカップにチョコレート味（色）のソフトクリームをのせる「うんこワソフト」の販売（一部無償提供）を行います。ぜひ親子連れでご来場いただき、これらの企画を多くの皆様にお楽しみいただくとともに、これをきっかけに、その先の下水道への興味や理解を深めていただけたらと考えております。

併催行事として第62回下水道研究発表会を7月29日(火)～31日(木)の3日間、ATC O's南コンベンションルーム・会議室において開催します（事前申込制、一部当日申込受付有り、オンライン併用）。下水道事業に携わる研究者や実務者の、最新の研究発表や実務・事例の報告等とあわせて、参加者が相互に情報交換、交流する場としてぜひご参加ください。

また、期間中下水道協会ブースとして、すいすいプラット相談所を2号館維持管理ゾーンにおいて開設します。すいすいプラットは、クラウド型の安価な下水道台帳システムであり、導入に向けた個別相談やデモンストレーションを行っておりますのでお気軽にお立ち寄りください。

本年も、地方公共団体の課題解決につながる技術・製品の情報収集はもちろん、多数の出展者や地方公共団体関係者など、下水道事業に関わる多くの方々が集うことで関係者間の交流がより活性化される場の創出を目指してまいります。

そのために、本年の開催都市である大阪市をはじめ、各地方公共団体、後援・協賛団体、出展者等との連携を強化し、より良い展示会とするため尽力してまいります。

末筆ながら、これまで多大なるご協力をいただきました大阪市をはじめ、多くの関係者各位に心より感謝を申し上げます。



下水道展'25大阪 開催に寄せて

下水道展で 下水道の魅力と底力を実感しよう

国土交通省

石井 宏幸 上下水道審議官

Hiroyuki Ishii

■はじめに

このたび「下水道展'25大阪」が開催されるにあたり、関係者の皆様へ心よりお祝いを申し上げます。また、平素より下水道行政の推進にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

昨年4月に水道行政が国土交通省と環境省に移管され1年が経ちました。これまで培ってきたインフラに関する知見や、地方整備局等の現場力・技術力を活かし、上下水道一体で施策の着実な実行と充実を図るべく取り組み、少しずつ成果も上がってきているところです。今後とも関係者の皆様には、上下水道一体での政策の推進に向け、引き続きご協力をお願いいたします。

■埼玉県八潮市の下水道道路陥没事故について

今年の1月28日に発生した埼玉県八潮市の下水道管路に起因すると考えられる道路陥没事故では、トラックドライバーの方が巻き込まれるとともに、約120万人の住民に下水道の使用自粛が求められるなど、甚大な影響が生じました。国土交通省では、大規模な道路陥没を引き起こす恐れのある地下管路の施設管理のあり方などを専門的見地から検討するため、「下水道等に起因する大規模な道路陥没事故を踏まえた対策検討委員会」を設置し、5月28日には、第2次提言がとりまとめられました。提言には、国民とともに守る基礎インフラ上下水道のあり方に関して、安全確保を何よりも最優先するという基本スタンスのもと、管路の安全性と事故発生時の社会的影響の2軸を考慮した点検・調査の重点化や管路の二条化などによるリダンダンシーの確保、集中的な老朽化対策などに対する国の重点的な財政支援などが盛り込まれています。本提言を踏まえ、6月6日に閣議決定された国土強靱化実施中期計画では、上下水道施設の戦略的維持管理・更新として、損傷リスクが高く事故発生時に社会的影響が大きい大口径の上下水道管路の更新や、大口径の上下水道管路におけるリダンダンシーの確保という施策が新たに追加されたところです。これらの施策を実行するための考え方

を自治体に分かりやすく示しながら、上下水道施設の戦略的維持管理・更新をしっかりと進めてまいります。

■国土交通省の取組

水道・下水道を取り巻く環境は、職員の減少、老朽化施設の増加、自然災害の激甚化等厳しさを増すとともに、脱炭素、食料安全保障等の新たな課題への対応も求められており、その役割は拡大しています。国土交通省では、これらの課題に対応するため、デジタル技術の活用や広域連携、ウォーターPPP、下水汚泥資源の肥料利用等の取組も推進しています。

特にデジタル技術の活用においては、メンテナンス効率の向上や広域連携の加速、経営の効率化、大規模災害発生時に備えた上下水道施設の早期の強靱化などの事業基盤強化の効率的な推進が期待されることです。こうしたことを踏まえ、国土交通省では上下水道DXの推進に係る具体的方策の検討を行うため、学識者、地方公共団体、関係団体が参画する「上下水道DX推進検討会」を設置し、6月6日に最終とりまとめを公表しました。最終とりまとめでは、今後取り組んでいくテーマとして、業務の共通化や情報整備・管理の標準化、DX技術の普及促進、現状可視化の方向性を示しており、関係者一丸となって上下水道DXの取組を進めていくとともに、今後3年程度でDX技術を全国で標準実装することとしました。

また、水道行政が厚生労働省から国土交通省に移管されたことを契機に、2050年の社会経済情勢を見据え、強靱で持続的・多様な社会的要請に応える上下水道システムへ進化するための基本的な方向性について、上下水道一体で議論するため、有識者からなる「上下水道政策の基本的なあり方検討会」を設置し、6月25日には、第1次とりまとめが行われました。第1次とりまとめには、単一市町村による経営にとらわれない「経営広域化」を国が主導することや、更新投資を適切に行い、次世代に負担を先送りしない経営ヘシフトしていく方向性など、これまでのあり方にとらわれない改革を強力に推進する認識が示されました。今後も引き続き、多様なテーマについて検討会での議論を行い、将来の新たな政策の羅針盤となるものを取りまとめまいります。

■大阪市で開催される意義

今回、「下水道展'25大阪」が開催される大阪市では、豊臣秀吉の大阪城築城に伴う町割の際に、市中の汚水・雨水を集めて東西の横堀川に排水する「背割（太閤）下水」が築造され、その一部は、現在でも使用されています。また、大正14年には下水の処理・浄化の実験を開始し、これを基礎として、昭和15年に津守・海老江の下水処理場で下水処理が開始されました。このように古くから下水道事業に着手している大阪市ではグリーンイノベーションに向けた「最初沈澱池におけるエネルギー回収技術」や海老江下水処理場における全国初のハイブリッド処理法への更新などさまざま

な技術開発が行われており、最新技術・機器等を紹介する下水道展が同市で開催されることは大変意義深いことです。まさに、本展は、「2025日本国際博覧会」のコンセプトに通ずる「未来社会の技術の実験場」である“下水道万博”とも言えます。

■おわりに

下水道展は、日本の下水道界最大のイベントとして国内外、老若男女問わず楽しんでいただける機会でもあります。多くの方々が日本の下水道の魅力と底力を実感されること、そして関係者と参加者の皆様にとって実りある下水道展となることを心より祈念いたします。



下水道展'25大阪 開催に寄せて

JSの下水道ライフサイクル全般にわたるサポートを紹介

地方共同法人 日本下水道事業団

黒田 憲司 理事長
Kenji Kuroda

今年の下水道展は7月29日から8月1日まで、インテックス大阪にて開催されます。隣接する夢洲では2025年大阪・関西万博が開催中であり、日本下水道事業団(JS)は大阪市の夢洲における下水道整備を支援したことから、今年の下水道展には特別なご縁を感じています。毎年開催される下水道展は、下水道に関する幅広い分野の最新の技術や機器、サービス等が一堂に会して展示・紹介されます。今年も多くの地方公共団体や民間企業等の方々をはじめ、様々な下水道関係者の皆様と、幅広い情報交換ができることを期待しています。

JSは、地方公共団体(47都道府県)の出資により設立された地方共同法人です。地方公共団体の下水道関係業務を公的に支援する唯一の全国的組織として、下水道の技術スタッフに加え経営支援等の専門スタッフを揃えており、下水道のプロ集団として、日本の下水道事業をライフサイクル全般にわたってサポートしています。

特に近年では、下水道施設の老朽化対策や防災機能の強化を目的として、施設の改築更新の需要が高まっており、地方公共団体から多くの委託要請をいただ

ています。JSではそれらの要請に最大限応えるべく、再構築、地震・津波対策や浸水対策等について、計画策定から工事の実施まで一貫した支援を行っています。維持管理についても、静岡県磐田市と栃木県真岡市において下水処理場の維持管理業務を実施しています。また、災害支援では、引き続き令和6年能登半島地震で被災した施設の復旧支援を行うとともに、国庫補助を活用して整備を進めてきた災害対策用下水道機材の貸付支援制度を令和7年4月から運用開始し、災害支援力を強化しています。さらに、今年の7月1日には「災害対策基本法等の一部を改正する法律」が施行され、JSが災害で損傷した水道施設の復旧を支援できることとなり、支援の幅を広げています。

さて、「下水道展'25大阪」では、「下水道ソリューションパートナーとして、技術、人材、情報等下水道の基盤づくりを進め、良好な水環境の創造、安全なまちづくり、持続可能な社会の形成に貢献します」をテーマに、JSが提供する下水道施設のライフサイクル全般にわたる支援について、その流れに沿って紹介し

ます(展示ブースNo.2-304)。具体的には、計画段階として、下水道施設の再構築や浸水対策、W-PPPに関する支援の事業について紹介します。設計段階については、各下水道施設の課題解決に寄与しうるJSの新技术から最新の3つの技術

について紹介します。建設工事については、現場の効率化や高品質化につながる建設DXの取組や、開催地である近畿地方においてJSが手掛けたプロジェクトの中から「大阪・関西万博の下水道整備」等を紹介し、また、JSが受託する維持管理の支援事例として「磐南浄化センター」の現場を紹介し、さらに、これまでの災害支援の事例や、今年度から貸与を開始した可搬式水処理施設について説明します。

JSの研修センターからは、出展者プレゼンテーションとして「おもしろ実験 トイレの紙さま」を開催します（7月30日(水) 13:45～14:10、2号館 右側会場）。子どもたちと一緒に、トイレに流せる商品が水に溶けるかどうか実験し、下水道の正しい使い方についてJSの講師が解りやすく解説します。

下水道展と同時開催される下水道研究発表会では、

JSから、AI制御や水温が下水処理に与える影響、BIM／CIMや遠隔臨場などの建設DX、環境に配慮した取組などについて、8件の研究発表を行う予定です。

JSは、下水道の持続可能性や強靱性を高め、地方公共団体の健全な下水道運営を支え、住民の方々の安全・安心で快適な暮らしを支えていきます。また、新たな課題に対しても、失敗を恐れずにチャレンジし続けることで、地方公共団体の要請に応え、健全で豊かな下水道資産を未来に繋ぐよう尽力してまいります。地方公共団体の皆様を始め、関係者の皆様におかれましては、展示会場へお越しの際は、是非、JSの展示ブースへお立ち寄りいただけますと幸いです。「下水道展'25大阪」が、産官学の多くの下水道関係者の参加を得て、下水道界のますますの発展に寄与・貢献することを祈念いたします。



下水道展'25大阪 開催に寄せて

課題解決に役立つ最新情報が一堂に

公益財団法人 日本下水道新技術機構

塩路 勝久 理事長

Katsuhisa Shioji

当機構は、学界・産業界・官界の知識と経験を結集し、下水道事業における課題解決を通して社会に貢献することを目的とする公益法人で、下水道技術に関する調査・研究開発、民間開発技術の審査証明、下水道関係職員の研修啓発などの事業活動を行っています。

調査・研究開発では、地方公共団体の課題やニーズに適切に応えるテーマに地方公共団体と協働して取り組むとともに、課題解決のシーズとしての技術開発を民間企業等と共同して取り組んでいます。また、国の主要施策や新たな事業制度を推進するための政策支援や、将来を見据えた対応技術の自主研究にも取り組んでいます。研究の成果は、専門家の学識経験者からなる技術委員会で内容を議論し、技術マニュアル等として取りまとめ、より広く成果が社会一般に還元されるよう普及活動や情報発信に努めています。特に、令和6年度では、国土強靱化、脱炭素化、下水汚泥資源の肥料

利用、ウォーターPPPの導入推進、能登半島地震を踏まえた地震災害等の事前対策など、時代の変化に対応した社会的要請の高い課題に対して、効率的・効果的な調査研究を実施しました。併せて、とりわけ先駆的な研究分野において、大学等の研究者がより高い自由度を持って行える研究を促進する必要があることから、令和6年度も引き続き下水道新技術研究助成事業を実施しています。

審査証明では、下水道事業における新技術の活用促進に寄与することを目的に、民間企業において開発された新技術を対象に学識経験者や国・地方公共団体等の技術者からなる審査証明委員会や部門別委員会で技術的な審査を行い、その性能や特徴を客観的に証明しています。審査証明を受けた技術は、導入の判断資料となる報告書や技術概要書が全国の地方公共団体に配布されるとともに、下水道機構のHPなどを通じて広く広報されます。

今回の下水道展には、これらの事業活動成果の紹介、審査証明を行った技術のPR、個別の技術相談等を通して、公共団体の事業推進に貢献することを目的に参加します。

当機構の展示ブース（2-319）では、「下水道機能の持続性確保」、「災害リスクへの対応力の向上」、「新たな価値の創造」の3つを柱とし、様々な調査研究成果等をパネル展示しています。具体的には、「共同研究による下水道BCP策定支援・訓練支援」、「アセットマネジメントの実践に向けた次世代マンホール蓋技術に関する共同研究」、「プラチナシステムを用いた脱炭素化技術の開発に関する共同研究」、「下水処理場における省エネ型送風機の導入促進に関する共同研究」の成果など、地方公共団体の課題解決や業務の推進に役立つ研究成果や好事例などの情報を提供します。また、今年もタッチパネル搭載デジタルサイネージを入口正面に設置し、パネル展示のない調査研究成果も紹介する予定です。併せて、研究成果を取りまとめたリーフレット、建設技術審査証明の概要などの資料を準備しています。皆さんの課題解決につながるヒントが見つかることと思いますので、お気軽にお立ち寄りください。

最新技術情報の紹介として、7月29日（火）の14時10分から16時30分まで、インデックス大阪2号館のプレゼンテーションセミナー会場において、建設技術審査証明を取得した6件の技術について、民間企業の方

から技術解説を行っていただきます。併せて、建設技術審査証明事業についても分かりやすく紹介します。

当機構が主催する新技術セミナーを7月31日（木）の10時00分から、インデックス大阪6号館5階ホールGで開催します。「能登半島地震被災自治体の復旧復興への取組みと技術的課題」をテーマに、名古屋大学准教授の平山修久氏に能登半島地震から学ぶ事前防災と技術的課題についてご講演いただきます。国土交通省上下水道審議官グループで施策立案に携わっている方による講演や実際に被災された石川県による復旧復興への取組みと課題について報告していただきます。

下水道研究発表会では、口頭発表部門20件、ポスター部門2件の合計22件について、最新の研究成果等を発表します。多くのデータに基づく研究成果の発表を行いますので、公共団体や民間企業の方々の今後の業務展開に参考になるのではないかと思います。是非、聴講いただき、ご質問、ご意見をいただければ幸いです。

多くの皆さんの機構ブースへのご来場をお待ちしています。



下水道展 '25 大阪 開催に寄せて

未来を繋ぐ大阪の力！ 「下水道展 '25 大阪」

大阪市建設局

寺川 孝 局長

Takashi Terakawa

「下水道展 '25 大阪」が、7月29日から8月1日まで大阪市のインデックス大阪で開催されます。大阪での下水道展開催にあたり、大阪市の下水道事業と下水道展での取り組みをご紹介します。

大阪市では、明治27年に近代的な下水道事業に着手し、昭和50年代には面的整備が概成しました。その後、浸水対策や高度処理の導入、合流式下水道の改善など、新たな建設を行う一方で、施設の老朽化が課題となってまいりました。

加えて、近年多発している集中豪雨や気候変動に伴う将来の降雨量増加に対応するための浸水対策、能登半島地震の教訓を踏まえた上下水道一体の地震対策、

2050年カーボンニュートラルへの対応などさらなる投資が必要となる一方で、昨今の物価高騰や将来的な人口減少による下水道使用料収入の減少などにより、経営環境の厳しさも増すなど、多くの課題に直面しています。

これらの課題に適切に対応していくため、中長期的な経営の基本となる「大阪市下水道事業経営戦略」を令和7年3月に改定し、事業を推進してまいります。経営戦略では、計画的かつ効率的に施設の改築を図る「機能維持」、浸水被害の軽減など雨に強いまちづくりの推進を図る「浸水対策」、津波対策及び施設の耐震化を図る「地震対策」、清らかな水環境の保全などを行う「都市環境保全」の4つの施策を着実に実施することで、質の高い下水道サービスを今後も安定的に提供していくこととしています。また、「未来への責務を果たす下水道」を基本方針に掲げ、機能維持、浸水

対策、地震対策、都市環境保全の4つの施策について、経営健全化の視点を持って実施します。さらにこれらを効率的かつ安定的に推進するために、技術開発、情報発信、人材育成・組織強化にも取り組むこととしています。

また、大阪市では維持管理部門を株式会社化したクリアウォーター OSAKA 株式会社を平成28年に設立し、令和4年度から20年間の包括委託を実施することで、上下分離方式の導入による経営の効率化を図ってきています。令和7年度からは、現行の包括委託に更新計画案作成業務を盛り込むことで「更新支援型」ウォーター PPP に移行することとしており、維持管理と更新の一体マネジメントによるさらなる業務の効率化・高度化を目指してまいります。

現在、大阪市では、大阪・関西万博が開催中です。今回の下水道展は、万博の開催期間中に、万博会場に近しいインテックス大阪で行われるというまたとない機会です。大阪市は、大阪・関西万博において開催される「夏の大阪ウィーク」にて、万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」から未来をキーワードに、未来の下水道が体験できる「未来をつくる下水道～ネオ下水道計画～」を出展します。本展示は大阪市ブースでも体験していただくことができますので、下水道展にご来場のみなさまにも、未来における下水道の豊かな可能性を実感していただければと思います。

また、親子で楽しく下水道の仕組みや役割を学んで、下水道に興味を持っていただけるような企画やワークショップ、市内の下水道施設等5つのチェックポイントでデジタルスタンプを集めて大阪市ブースにお越しいただくと、オリジナルマンホールグッズなどの記念品がもらえる「街歩きスタンプラリー」も開催します。このほかにも、大阪市ブースではわくわくするような仕掛けをたくさんご用意して、みなさまのお越しをお待ちしております。下水道展にご来場の際は、ぜひ大阪市ブースにもお立ち寄りください。

4年ぶりに大阪で開催される「下水道展'25大阪」には、全国から約350もの企業・団体が出展し、最新技術の紹介や機器の展示など、大きな盛り上がりを見込んでいるところです。将来にわたり下水道サービスを安定的に提供できるよう、下水道管理者の責務を果たし、未来へバトンをつなぐためには、市民のみなさまに下水道の仕組みや必要性をご理解いただくことはもとより、国土交通省や日本下水道協会をはじめ、企業、大学、公共団体など、下水道に関わるすべての組織や団体が一丸となって各施策に取り組むことが必要不可欠です。万博のテーマともつながる未来社会を形づくる最先端の下水道技術が集うこの場が、産官学の交流の場となり、未来の下水道の発展に繋がることを祈念し、ぜひ多くの方のご来場を心よりお待ちしております。

「下水道展'25大阪」会場へのアクセス

大阪国際見本市会場「インテックス大阪」

〒559-0034 大阪市住之江区南港北1-5-102



アクセスガイド

●自動車(高速道路をご利用の場合)

| | | | |
|---------------------|---|-------|----------|
| ▶和歌山方面から | 阪和自動車 泉佐野JCT 関西空港自動車道 ひんくうJCT 阪神高速4号湾岸線 南港南出口 | 約10分 | インテックス大阪 |
| ▶神戸方面から(湾岸線をご利用の場合) | 阪神高速湾岸線 | 南港北出口 | |
| ▶その他から | 阪神高速1号環状線 阪神高速16号大阪港線 | 約8分 | |

●自動車(一般道路をご利用の場合)

| | | | |
|---------------|---------------|--------|----------|
| 国道172号または中央大通 | みなと通 | 阪洲トンネル | インテックス大阪 |
| 国道26号 | 浜口交差点または玉出交差点 | 南港大橋 | |

●電車

| | | | | |
|-------------|-------------------------------|-----------------|----------|----------|
| ▶新大阪駅から約45分 | 新大阪駅 大阪メトロ 御堂筋線 | 南港 ボートタウン線 | 中心頭駅 徒歩 | インテックス大阪 |
| ▶なんば駅から約40分 | なんば駅 大阪メトロ 御堂筋線 | 本町駅 大阪メトロ 中央線 | コスモスクエア駅 | |
| ▶大阪駅から約35分 | 大阪駅 JR環状線(内回り) 弁天町駅 大阪メトロ 中央線 | 南港 ボートタウン線 | | |
| ▶関西国際空港 | 関西国際空港 リムジンバス約50分 | グランドプリンスホテル大阪ベイ | 徒歩 | インテックス大阪 |

※[南港・天保山(海遊館)・ユニバーサル・スタジオ・ジャパン(USJ)] 行に乗り、ハイアットリージェンシー大阪下車すぐ

西日本最大級の国際展示場「インテックス大阪」は、大阪市住之江区・南港エリアに位置し、年間を通じて多彩な展示会やイベントが開催される都市型コンベンション施設。最寄りの「中心頭駅」から徒歩5分とアクセスも良好で、ビジネスから一般向けイベントまで幅広く対応しています。

下水道展の会期中、同じ大阪湾岸部の人工島・夢洲で「大阪・関西万博」が開催されていて、世界中から多くの観光客が訪れています。万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」。最先端の技術や持続可能な社会のあり方が紹介される大阪・関西万博は、下水道展とも親和性が高く、未来のインフラを考える絶好の機会。下水道展を通じて、持続可能な都市づくりや環境保全の重要性を再認識し、次世代へとつながる技術と知見を共有する場にできるでしょう。





わたしたちのブースへようこそ！

出展会社・団体と展示内容一覧

「下水道展'25大阪」では、一般来場者向け（公共団体）を含め全部で350の民間企業や団体が展示ブースを設けて熱いPRを繰り広げます。これら全350社・団体の名称とおもな展示内容（出展品目）について、業種別ゾーン区分（設計・測量、建設、管路資器材、下水処理、維持管理、その他、パブリック）ごとに一覧でご紹介します。

[下水道協会提供資料などをもとに本紙作成]

■設計・測量 21社（団体）

| 出展会社（団体）名 | 小間番号 | おもな展示内容（出展品目） |
|--|-------|---|
| アジア航測 | 1-210 | 上下水道DXによる3次元モデルを活用した維持管理の事例紹介やW-PPPに向けたアセットマネジメントに対応したクラウド型の上下水道システムなど |
| アルモニコス | 1-209 | 3次元レーザースキャナで取得した点群データを用いて、配管や施設をモデル化するソフトウェア『ClassNK-PEERLESS』 |
| NJS | 1-219 | インスペクションとソフトウェアをキーテクノロジーとして管理・更新と事業計画の統合を支援するサービスを提案 |
| 江守情報 | 1-101 | 都市型下水道の雨天時流出および水理／汚濁負荷解析ソフトウェア「InfoWorks ICM」など |
| オリジナル設計 | 1-223 | BIM/CIMの研究事例、官民連携（処理場・管路、ウォーターPPP）、下水道台帳システム、3D浸水マップなどの取り組み |
| 管路診断コンサルタント協会 | 1-226 | 発刊図書の展示、マンホール・管口点検の新技術「管診鏡」の展示 |
| 下水道既設管路耐震技術協会 | 1-228 | 既設管のマンホール接続部の外周を切削し縁を切ることで可撓性をもたせる「既設人孔耐震化工法」など |
| 三水コンサルタント | 1-224 | 3D技術 ～DX時代の下水道施設マネジメント～、台帳システム、国土強靱化など |
| シュア・テクノ・ソリューション 共同)ハイドロ総合技術研究所 共同)画像スクリーニング技術研究会 | 1-208 | 共同で開発されたコラボレーション技術である下水道管渠内の計測技術を体験 |
| 全国上下水道コンサルタント協会 | 1-227 | 水コンサルタントの役割と魅力についての紹介、就職活動を行う学生や一般市民へのPR |
| 中央設計技術研究所 | 1-218 | 官民連携における効率化・省力化、クラウド型システムを活用したDX化、施設の広域化・共同化、経営戦略・料金改定、防災計画などを提案 |
| 日水コン | 1-231 | 創業一貫して「水」をベースに生きてきた「水コンサルタント」のパイオニア |
| 日本インシーク | 1-211 | W-PPPを中心とした情報発信、ICT関連技術や会社活動のPR |
| 日本水工設計 | 1-225 | 官民連携（ウォーターPPP）の推進を中心テーマに、それらを支えるAI・DX技術の紹介や、技術開発の取り組み |
| フォーラムイト | 1-102 | 3次元バーチャルリアリティソフトウェアや構造計算システムなどのパッケージソフトウェア、オープンプラットフォーム化を推進するF8VPS、関連受託システムなど |
| マイゾックス | | 配管設計等におけるGNSS測量機による新しい測量手法の紹介 |
| リークラボ・ジャパン 共同)HIKIMICRO | 1-215 | サーモカメラで熱を可視化することにより、水漏れの可視化や建造物の状態を一部可視化可能に |
| レフィクシア | 1-221 | スマートフォンやタブレットに装着するだけで、センチメートル級の高精度測位を実現するデバイス「LRTK Phone」 |

■建設（土木・建築） 75社（団体）

| 出展会社（団体）名 | 小間番号 | おもな展示内容（出展品目） |
|--|-------|---|
| アーバンリング工法研究会 共同)加藤建設 共同)JFE建材 | 2-328 | 主に都市および周辺部での厳しい施工環境下の立坑や基礎の構築に向けて開発された圧入ケーソン工法「アーバンリング工法」 |
| IHI建材工業 共同)鉄建建設 | 2-204 | セメンン（ジオポリマーコンクリート） |
| アドパネクス | T-001 | 既設のボルト・ナットに後付けで装着することでボルト・ナットの脱落防止が可能 |
| アングルモール協会 共同)イセキ開発工機 | 2-313 | 推進機械関係機器およびパネル展示による工事実績など |
| ASS工法協会 | 3-202 | ASS-L・H項法の本管および取付管一体型および取付管の補修機を展示 |
| エイコーエンジニアリング | 2-330 | 大口径管密閉型推進工法「スーパーマルチモール工法」 |
| エースモール工法協会 共同)アイレック技建 共同)ハイブリッドモール工法協会 | 2-219 | 推進工法の掘進機（実機）、システム模型と工法概要プレゼンビデオ放映、非開削探査技術の各種実機と説明パネル |
| エコスピードシールド工法協会 | 2-327 | 推進限界もしくは急曲線手前の任意地点まで「推進工法」により掘進し、以後は「シールド工法」に切替えが可能「推進・シールド併用タイプ」 |
| SWライナー工法協会 | 3-106 | マンホール部より既設管との間に充てん材を充てんする非開削更生工法 |
| SDライナー工法協会 | 2-325 | SDライナー工法＜F+VE＞およびSDライナーⅡ工法＜G+VE＞の施工概要等のパネル掲示、DVD映像による工法説明、模擬管の展示、パンフレット等の配布 |
| FFT工法協会 | 2-337 | 下水道管きよ更生工法「FFT-S工法・ストリング工法」 |
| MLR協会 | 2-329 | 長期間にわたりマンホールを「防食」することが可能な非開削マンホール更生技術「MLR工法」 |
| L is B | 3-108 | さまざまな業務効率化ソリューション「direct/ダイレクト」「チャットボット」「タグショット/タグアルバム」など |
| オープンシールド協会 | 3-207 | 工法説明用パネル、工法説明用各種模型、映像など |
| 大盛工業 | 3-213 | 溶接なしで覆工可能「OLY（オーエルワイ）工法」 |
| オールライナー協会 | 2-326 | 本管更生、取付管更生、本管部分補修、取付管・支管部一体補修などあらゆる管きよの補修・改築に答える |

| 出展会社（団体）名 | 小間番号 | おもな展示内容（出展品目） |
|---|----------------|---|
| 奥村組 共同)奥村機械製作 | 2-206 | 下水道施設の整備・維持管理に関する技術や実績について紹介 |
| 花王 | 3-201 | 界面活性剤型特殊増粘剤「ビスコトップ」を配合した充填材の紹介 |
| 化学研究評価機構 高分子試験・評価センター | 3-211 | 管きよ更生工法における設計・施工管理ガイドラインの試験、性能評価試験、耐久性試験等の各種試験の紹介 |
| 化学物質評価研究機構 機動建設工業 共同)アルティミット工法協会 共同)アースドレーン工法協会 共同)ICT推進工法研究会 | 3-109 2-322 | 試験片の作製から試験実施、報告書作成に至るまでのすべての工程を展示、試験状況を説明 「アルティミット工法」、「アースドレーン工法」による液状化対策工事の紹介 |
| クリアフロー工法協会 | 2-108 | 実物大矩形渠（急曲線部）への施工模型の展示およびモニターにて工法の紹介 |
| 興和 | 2-212 | 下水熱利用システム、気水混合長距離配管洗浄システム、管路内水位監視サポートシステム、遠隔監視制御システム |
| コスミック工法協会 | 2-224 | コスミック工法ビデオ上映、工法紹介パネル、工法実績パネル展示 |
| 五洋建設 | 2-335 | 下水道建設、更新に活用できる技術「機械式T字接合シールド工法」 |
| J-TEX工法協会 | 3-107 | 最先端の管更生技術「J-TEX工法」 |
| ジオリード協会 | 2-332 | 「泥濃式エスエスモール工法」、「小口径泥水コブラ工法」など |
| JIPテクノサイエンス | 3-204 | 施設や地盤の構造解析シミュレーションソフトウェアの展示「DIANA」「PLAXIS」「TDAPⅢ」 |
| 清水建設 | 2-205 | 建設DXを活用した上下水道工事の施工技術と実績の展示と説明 |
| 湘南合成樹脂製作所 共同)3SICP技術協会 | 2-225 | 管きよ更生工法:「3Sセグメント工法」、「SGH1工法」、「SGICP-G工法管内調査用ロボット」 |
| 秩父コンクリート工業 | 3-212 | 管渠築造工事における「立坑兼用マンホールPMP-II・推進工用プレキャスト支圧壁バックロック」など |
| TM工法協会 | 3-206 | 各現場状況に応じ切断経径の変更や路面復旧方法に対応な人孔上部（鉄蓋）の円形切断工法 |
| DO-Jet工法研究会 共同)N.JETエンジニアリング | 2-321 | 残置支障物周辺地盤の安定のための地盤改良などが掘進機内より行える「DO-Jet工法」 |
| 東陽商事 | 3-208 | 多機能グラウト流量（TSR-020-Ⅲ型）、水計量器（TWS-062型）など |
| トクヤマ | T-006 | 腐食環境にさらされる下水道構造物への適用「プレミックス型ジオポリマー」 |
| トラストテクノ | 2-218 | 大口径更生工法の「PFL工法」、「フラッシュライニング-S工法」など |
| 長野油機 共同)PIT & DRM協会 | 2-324 | 下水道推進機材パネル展示 |
| 南陽 | 2-109 | モルタル附着・突出管・木根・パッキン等の除去作業、穿孔作業をこなす多目的機械南陽モル「e-bi-5」 |
| 日本インシチュフォーム協会 | 3-209 | 管路更生工法のパネル・サンプル展示およびビデオによる工法紹介 |
| 日本SPR工法協会 | 3-214 | 自由断面SPR工法のデモ施工専用車両をブース内に設置し、供用下で製管する様子が見学可能 |
| 日本管更生技術協会 | 3-210 | 「スルーリング工法」、「ARIS工法」、「SWライナー工法」など |
| 日本管路更生工法品質確保協会 | 3-101 | 協会PRビデオ、資格試験制度の紹介、記念品の配布 |
| 日本推進技術協会 | 2-314 | 日本推進技術協会の事業内容の紹介、当協会が発行する図書の紹介および展示など |
| 日本品質保証機構 | 3-203 | 管きよ更生工法のしゅん工時に必要な強度試験 |
| パイブリターン工法協会 | 2-331 | 全土質対応可能な小口径推進機、推進管はそのまま到達立坑が不要「パイブリターン工法」 |
| ハイブリッドマンホール協会 | 3-102 | 自立マンホール更生工法「SSホールシステム」 |
| バルテム技術協会 | 3-105 | 当協会が復旧促進する管きよ更生技術「バルテム・フローリング工法」 |
| 光硬化工法協会 | 2-107 | アルファライナーH工法、FRP内面補強工法、FRP光硬化取付管ライニング工法の展示など |
| ヒューム管&ベルスタ推進工法協会 | 2-217 | 長距離・急曲線を得意とし、到達立坑が省略できる「ヒューム管推進工法」 |
| 古野電気 | T-004 | 下水道管内無線メッシュWi-Fi（現場DX） |
| ベル・マイクロ工法協会 | 3-110 | 搭載した破砕刃で既設管を破砕・拡径し、新管を順次接続しながら推進する「ベルリプレイス工法」 |
| Masters ジオテツ工法研究会 | 2-333 | 周辺地盤の沈下を抑制し安全に引き抜くことができる「ジオテツ工法」 |
| ミニシールド工法研究会 共同)三分割管工業会 | 2-323 | シールドマシン（重量約6t）と模擬セグメントの設置および組立実演 |
| ヤスタエンジニアリング 共同)ミリングモール協会 共同)ジャット協会 共同)アパッチ工法協会 | 2-213 | 地中障害物対応型泥濃式推進工法「ミリングモール工法」 |
| ラサ工業 共同)ユニコーンES工法研究会 共同)ユニコーン協会 | 2-303 | 「泥水式推進工法」の各種パネル展示など |
| ラムサス工法協会 | 2-220 | 新工法φ200mm先導体模型 |

■管路資器材 51社（団体）

| 出展会社（団体）名 | 小間番号 | おもな展示内容（出展品目） |
|-------------------------|-------|--|
| アロン化成 | 5-103 | 洪水浸水対策関連製品・耐震防災対策関連製品・老朽化対策関連製品 |
| ASOE Hose Manufacturing | 5-112 | Flexible Fabric Reinforced Pipe for water pipe and sewage pipe trenchless rehabilitation |
| 塩化ビニル管・継手協会 | 5-206 | 塩化ビニル管・継手、プラスチックマス・マンホール類、リサイクル塩化ビニル管 |
| 川西水道機器 | 5-218 | 下水道用ポリエチレン管接続可能なメカニカル継手「スッポンMPX」 |
| クリコン 共同)ハイガードパイプ協会 | 5-114 | MAX管（外殻鋼管付きコンクリート管）、ハイガードパイプ（鉄筋コンクリート複合管）など |
| 栗本鐵工所 | 5-201 | ダクタイル鉄管類、強化プラスチック複合管などの紹介 |
| 下水道用ポリエチレン管・継手協会 | 5-217 | 軽量で施工性に優れる管材「下水道用ポリエチレン管（PA-11）」 |
| 虹技 | 5-102 | 下水道用鑄鉄製マンホール鉄蓋、デザイン蓋、次世代型鉄蓋、その他鑄鉄製品など |
| 江蘇暢安井蓋 | 5-221 | 複合系マンホールカバー、マンホールカバーIoT対策、雨水グレーチング、メーターボックス |
| コスモ工機 | 5-101 | 漏水補修金具類 |
| 佐藤運輸倉庫 | 5-111 | 下水道資材におけるトラック手配を紹介 |

| 出展会社（団体）名 | 小間番号 | おもな展示内容（出展品目） |
|---|-------|--|
| 次世代型高品位グラウンドマンホール推進協会 | 5-225 | 次世代型高品位グラウンドマンホールSVの限界を超えた耐久性の進化について |
| シバタ工業 | 5-105 | 後付け伸縮可とう継手 |
| 水研 | 5-110 | 下水道管路用継手製品の展示 |
| 西武ポリマ化成 | 5-216 | 『可とう性』『止水性』から耐震化を図る長期の耐久性「ゴム製可とうジョイント」 |
| 積水化学工業 | 5-118 | 管路更生工法「SPR-SE工法、SPR-NX工法」「オメガライナー工法」など |
| 共同)積水アクアシステム | | |
| 積水化成工業 | 5-226 | 推進管の推進力伝達材、雨水プラスチック貯留浸透槽、排水処理材など |
| 全国Wジョイント管協会 | 5-116 | 長距離・曲線推進への適用性や耐震性、大深度施工に優れる「Wジョイント推進管シリーズ」 |
| 全国パラボラ工法協会 | 5-203 | マンホール鉄蓋維持修繕工法 |
| 全国ヒューム管協会 | 5-113 | パネル展示や接客ブース(技術相談) |
| 全国ボックスカルバート協会 | 5-214 | 日本下水道協会JSWAS A-12規格・RCボックスカルバート |
| 大成機工 | 5-202 | 不断水関連製品、耐震補強製品および漏水補修製品など |
| 秩父ケミカル | 5-107 | コンクリート製に比べ工期も短く安価で設置が可能なプラスチック製雨水貯留槽 |
| TOZEN | 5-220 | 地盤沈下対策・地震対策に対応出来るゴム製継手 |
| 友鉄工業 | 5-124 | 『自治体と地元企業のコラボによる官民協力型で製作したデザインマンホール』 |
| 中川ヒューム管工業 | 5-215 | 推進力伝達材を管体に埋込み、経済的な曲線推進が可能「SR推進管」 |
| 共同)EeTAFCON研究会 共同)全国CSパイプ工業会 共同)全国アドホール工業会 共同)MMホール協会 共同)全国CSB工業会 | | |
| 長島鋳物 | 5-204 | マンホール鉄蓋および周辺機材 |
| 日本ヒューム | 5-117 | e-CON、ピックリット、3Dプリンター、ヒューム管、合成鋼管、ガリガリ君、フロートレスなど |
| 日本ヴィクトリック | 5-207 | 鋼製伸縮可とう管、耐震目地伸縮可とう継手、伸縮可とう管用変位計測装置ヴィクセンサーIIなど |
| 日本ダクタイル鉄管協会 | 5-106 | ダクタイル鉄管に関するパネル展示、製品展示、ダクタイル鉄管の特長を説明する模型展示など |
| 日本PCボックスカルバート製品協会 共同)全国コネクホール工業会 | 5-224 | PCボックスカルバート製品の展示および実演紹介 |
| ハットリング工法協会 | 5-208 | 地震時のマンホール浮上抑制工法(常時非重量工法) |
| 日之出水道機器 | 5-228 | マンホール蓋のマネジメントや防災・減災の推進へより安全、より経済的な製品・サービスの出展 |
| ベルテクス 共同)全国ユニホール工業会 共同)全国エスホール工業会 共同)スーパージョイントボックスカルバート工業会 共同)水循環システム事業協会 | 5-115 | ユニークな発想で生み出したオンリーワン技術「高機能雨水貯留槽」 |
| 丸栄コンクリート工業 共同)早川ゴム | 5-108 | コンクリート二次製品の展示・施工実演 |
| 三山工業 | 5-109 | 人孔内のタラップや処理場向けの合成木材蓋の展示 |
| 六菱ゴム | 5-207 | 浸水対策製品、下水道内や関連設備の閉止扉、シールド工法関連のサンプル品の展示 |
| リス興業 | 5-205 | プラスチック雨水貯留浸透槽「レイスタジアム」と新型高強度品の展示 |

■下水処理 108社（団体）

| 出展会社（団体）名 | 小間番号 | おもな展示内容（出展品目） |
|-------------------------------------|-------|---|
| アイカ工業 共同)ダイナミックレジン工業会 | 5-219 | 優れた耐水性でコンクリート構造物の機能を長期的に維持「ダイナミックレジン」 |
| アクアインテック | 4-307 | 管更生の「オールライナー工法」や人孔更生の「MLR工法」 |
| 石垣 共同)石垣メンテナンス | 3-121 | 主に汚泥脱水機、ポンプ、維持管理に関する展示 |
| WILO PUMPS | 3-123 | ピットが不要な乾式構造の排水ポンプユニット「EMUpport CORE」 |
| ヴェオリア・ジェネッツ 共同)西原環境 共同)フジ地中情報 | 3-216 | ウォーターPPPをはじめとする官民連携事例、下水汚泥の資源化など |
| WOTA | 4-302 | 災害における断水下でも生活用水の利用を叶える水循環型シャワー「WOTA BOX」など |
| エステック | 4-304 | 脱水汚泥、乾燥汚泥の立体搬送に適した搬送機器「フライトコンベヤ」、「バケットコンベヤ」 |
| NECプラットフォームズ 共同)日本ソフト開発 | 4-208 | 販売開始から2022年12月で50周年を迎え、10万台以上の実績を誇る、遠隔監視システム「コルソス」 |
| エヌケーエス 荏原実業 | 4-101 | 下水道管渠・開水路流量計、遠方監視/制御システム、ポータブル流速計、自動採水器 |
| 荏原製作所 大阪ガスケミカル | 4-310 | 雨水ポンプ場の総合エンジニアリング、またお客様のニーズに合わせたソリューション技術 |
| | 4-309 | 下水処理で発生する酸性ガス、塩基性ガス、中性ガスを効率的かつ同時に吸着除去できる特殊活性炭 |
| 大原鉄工所 | 4-109 | 「下水汚泥資源の肥料利用技術」『省コスト・大原製バイオガス発電機BG60B(出力75kW/90kW)』など |
| オメガニクス | 3-116 | 汚泥発生量半減「浄化微生物活性+汚染物質(分解)浄化促進」機能強化濃縮液『バイオクラリス』など |
| オルガノ | 4-103 | 好気グラニューール技術、高速繊維ろ過装置 FIBAX(ファイバックス)、攪拌ばっ気装置 オルローターなど |
| 金沢舗道 カナデビア | 5-212 | 「下水汚泥焼却灰」を「フィラー」にリサイクルするアスファルト合材 |
| | 4-201 | 下水汚泥のエネルギー利用をはじめとした製品・技術 |
| 川崎重工業 | 4-110 | 下水処理曝気用ブロウ他システム/非常用ガスタービン |

| 出展会社（団体）名 | 小間番号 | おもな展示内容（出展品目） |
|--|-------|--|
| 九電工 | 3-120 | 良好な水質と省エネ運転を両立し、脱炭素・カーボンニュートラルにも寄与する『NADH(ナドエイチ)風量制御』 |
| 共和化工 共同)共和メンテナンス 共同)キョウワエコテック 共同)和響エコファーム | 3-205 | 下水汚泥を含むバイオマスの肥料化技術と農業へ繋がる資源循環システム |
| 協和機電工業 | 3-111 | 下水処理を使用した発電設備(浸透圧発電)、高性能繊維ろ過装置 |
| 貴和化学薬品 | 4-305 | 上下水処理や環境対策として脱臭設備などに使用される活性炭の交換工事および専用吸引車 |
| クボタ 共同)クボタ環境エンジニアリング 共同)クボタケミックス 共同)管総研 | 4-210 | 「運転・管理/調査・診断・計画/改築・更新」のソフトウェアや「管路・ポンプ場・処理場」のハードウェアと、「KSIS」や「DX技術」を活かしたトータルソリューションの提案 |
| 小松マテール 共同)稲畑産業 共同)片岡バイオ研究所 | 3-114 | 汚泥減容化バイオ製剤～Bellefomer～ペリフォーマー |
| 三機工業 共同)三機アクアテック | 3-220 | 下水処理場における水処理設備、汚泥処理設備、汚泥焼却設備に関する実機、パネルなど |
| 三協工業 | 3-117 | 脱臭装置「ニュートラマンシリーズ」を中心に実機、パネル展示 |
| シーカ・ジャパン | 3-215 | Xolotec(ゾルテック)テクノロジーによる「新防食被覆工法」 |
| JNCエンジニアリング 共同)JNC | 3-219 | 腐植物質を使用した『自然浄化法リアクターシステム』 |
| JFEアドバンテック | 4-205 | 下水処理場施設、ポンプ施設での監視および制御をサポートする水位計・流量計・汚泥濃度計・溶存酸素計・UV計 |
| ジェイテクト | 5-210 | 水位計システム「各種水位計」、「周辺機器」 |
| 神鋼環境ソリューション | 4-108 | 下水処理場におけるカーボンニュートラルを実現する汚泥有効利用技術の紹介 |
| 新明和工業 共同)新明和アクアテックサービス | 3-222 | ポンプ・水処理関連機器の展示。AI診断機能を付加した高度な施設管理のご紹介やIoT遠隔監視サービス |
| 水ing | 4-311 | W-PPP、浸水対策、汚泥資源の肥料利用、脱炭素、DX、官民連携、水ingエンジニアの技術力など |
| スエヒロシステム | 5-209 | 据付便利なライナー、3Dライナーの紹介など |
| 住友重機械エンバイロメント | 4-113 | さまざまな水インフラへのソリューションやサービスを提供する「人と社会に必要とされ続ける企業」 |
| ゼクサスチェン | 4-203 | 沈殿池用汚泥掻き寄せ機、沈砂池用除塵機、掻揚機などのチェンおよびスプロケットの製造 |
| ソニック | 4-102 | 超音波流量計、汚泥界面計の実機、パネル展示 |
| 第一テクノ | 5-229 | 処理場水処理機器、遠方監視装置、浸水対策などの防災製品 |
| 大同工機 | 4-111 | 下水処理場で広く使われていますストレーナのメンテナンスを容易にする提案商品の展示 |
| 大同特殊鋼 | 3-115 | 超高温炭化技術 |
| 大平洋機工 共同)ラサ商事 | 3-122 | 複数の機能を湧水効率的に移送ポンプシステム、多目的モバイルポンプユニット「BESTY」 |
| タクマ | 4-107 | 「階段炉下水汚泥焼却発電システム」、「上向流移床型砂ろ過装置(ユニフロサンドフィルタ)」など |
| タクミナ | 4-202 | 直動2連式のダイヤフラムポンプで、配管中のエアチャンバーが無い状態で脈動を抑えた注入ができる『下水処理場用スムーズフローポンプ』 |
| 中国山東省泰安市パビリオン | 3-225 | 下水関連環境施設、下水処理、汚泥処理システム、処理場環境関連施設、監視システム |
| 月島JFEアクアソリューション | 4-116 | 創エネルギーや再生可能エネルギーの利活用技術によるサステナブルな社会の実現に向けた最新技術 |
| 月島ジェイテクトメンテナンスサービス | 4-116 | W-PPPを含む下水道処理施設の運転管理および設備のメンテナンス、設備機器 |
| 鶴見製作所 | 4-105 | 水中ノンクック型スマッシュポンプ(実演/プレゼンテーション実施)など |
| 帝人フロンティア | 4-306 | 排水処理効率化・余剰汚泥削減・環境負荷低減に貢献する特殊繊維担体を用いた各種下水処理技術など |
| 電光工業 | 3-118 | 始動電流(定格運転電流の6倍から10倍)を3倍から4倍程度に抑え、電源設備容量をコンパクトに「特殊コンドルファ・Vスター」の紹介 |
| 東亜ディーケーケー 共同)バイオニクス機器 | 4-106 | 下水処理工程を支える水質計測器 |
| 東京計器 | 3-221 | 各種流量計・レベル計、トンネルジャイロなど |
| 東芝 共同)東芝インフラテクノサービス 共同)東芝テリー | 4-312 | 上下水道統合プラットフォーム TOSWACS-Nesta、下水道施設運用自動化・最適化技術など |
| 東洋計器 | 5-213 | 故障・復旧情報をメール通報、画面表示する下水道設備監視システムなど |
| トーカロ | 5-223 | 下水処理装置および関連設備・部品に適用可能な各種コーティングサンプル |
| 巴工業 | 3-218 | 下水の汚泥処理に関する、低動力型高効率遠心脱水機、回転加圧脱水機IV型など |
| 西島製作所 | 4-303 | ポンプの大型模型、映像、グラフィックなど |
| ニチボー環境エンジニアリング | 4-308 | 下水道施設における土壌脱臭装置 |
| 日本管財環境サービス | 5-211 | 電解装置(次亜塩素酸ソーダ生成)の製品説明 |
| 日本産業機械工業会 | 2-308 | 2024年度実施の「第50回優秀環境装置表彰」における表彰装置、および当該表彰事業に関する展示 |
| 日立製作所 共同)日立インダストリアルプロダクツ 共同)日立プラントサービス 共同)日立システムズ | 3-113 | 「Action for a Sustainable Future」-持続可能な水環境の未来へつなぐ日立のソリューション-をテーマに課題解決に貢献する水環境ソリューション |
| フジグリーン工業 | 3-217 | FRP製処理装置導入実績とメリットの紹介 |
| フジワラ産業 | 4-209 | モノレール式汚泥掻き寄せ機およびフジフロート自動スカム除去システム(トラフ型スカムスキマ)などの模型およびパネルの展示 |
| フソウ | 4-115 | ドローンによる管路調査、BIM/CIMの活用、アンモニア窒素循環技術 |

| 出展会社（団体）名 | 小間番号 | おもな展示内容（出展品目） |
|---|-------|---|
| 兵神装備 | 4-112 | 汚泥用モノポンプ、薬注用モノポンプ、脱水ケーキ圧送装置など |
| 堀場アドバンステクノ | 4-104 | 水質計測に役立つ機器類およびソリューションの紹介 |
| 前澤工業 共同)前澤エンジニアリングサービス | 3-223 | 下水処理場の省エネや広域化・共同化、ストックマネジメントなどに貢献する当社の技術・システム |
| 丸島アクアシステム | 4-204 | 「水に関する多くの社会インフラ製品」の設計から製造、据付までを手掛ける総合メーカー |
| 丸紅 共同)AquaGreen ApS | 3-104 | 「下水汚泥を汚泥の自己熱のみで乾燥・炭化可能な技術」および、「AIによる下水道管渠状態評価予測サービス」の紹介 |
| 水本機械製作所 | 4-114 | ステンレスチェーンとジョイント金具などの製造・販売 |
| ミゾタ | 4-301 | 高速斜流ポンプ（全速全水位型）およびゲートポンプ（川表・川裏）を中心とした自社製品の紹介、PR |
| 三菱化工機 | 3-112 | 消化槽高効率加温設備（熱可溶性装置）やバイオガス水素ステーションのバーチャルツアーによる紹介など |
| 三菱電機 共同)三菱電機プラントエンジニアリング | 3-224 | 上下水道事業のライフサイクルにおける強靱化、品質向上、持続可能性の確保等のさまざまな課題に対して、OperationやMaintenanceのデータを活用したソリューションの提供 |
| 明興テクノス | 3-103 | IoTとクラウドを利用し維持管理の効率化を目指したシステムの展示 |
| 明電舎 共同)明電エンジニアリング 共同)明電ファシリティサービス 共同)明電プラントシステムズ | 4-207 | 上下水道事業を取り巻く課題に対して、明電グループの思い描く未来を提示し、持続可能な未来の実現に向けてソリューションを提案 |
| メタウォーター 共同)メタウォーターサービス | 3-124 | 超高効率固液分離システム（最初沈殿池代替技術）、カーボンニュートラル実現に向けた取り組みなど |
| 安原環境テクノロジー | 5-222 | ばっ気に代わる世界初の技術、重力式酸素溶解器「DO-MAX Falls」 |
| ヤンマーエネルギーシステム | 4-206 | 環境負荷を大幅に削減し、持続可能な社会の実現に貢献する「水素燃料電池」 |
| 横河ソリューションサービス | 3-119 | 水質とエネルギーの最適管理～下水処理場における二軸管理～ |

■維持管理 65社（団体）

| 出展会社（団体）名 | 小間番号 | おもな展示内容（出展品目） |
|--|----------------|---|
| 阿南電機 | 2-114 | 場内配管および水管橋（下水圧送管）の延命化技術 |
| EX・ダンビー協会 | 2-103 | 小口径で下水道規格 K-19 対象品の「EX工法」 |
| EPR工法協会 | 1-229 | 機能低下した管きょを非開削で内面より補修する技術「EPR工法」 |
| 一ノ瀬 共同)西尾レントオール | 2-207 | MODEC ポータブルバルブアクチュエーターの展示&デモ実演 |
| ウォーターエージェンシー | 2-226 | 下水道分野におけるウォーターPPPを見据えた官民連携事例紹介とO&Mで活用する自動化やAIなどの各種ツールの紹介と相談や意見交換テーブルの設置 |
| Ecobase | 1-220 | Recording water level, water temperature, electrical conductivity, flow rate and inflow of unknown water etc. |
| NS-R工法協会 | 2-222 | レベル2地震に対応する下水道耐震化工法 |
| NOK 共同)日油技研工業 | 5-227 | 硫化水素検知ゴムと応用品の硫化水素インジケーター |
| エヌ・ティ・ティ・インフラネット | 1-222 | 下水道施設点検の効率化とデータベース化で、ストックマネジメント計画の履行に寄与する『下水道スマートメンテナンスツール』 |
| 川崎地質 | T-005 | 探査車両とAI判定装置により拡大中の空洞を評価する「空洞探査車両とAI判定を用いた下水道スクリーニング技術」 |
| カンツール 共同)管清工業 共同)スワレント | 2-336 | 管内検査カメラシステム「ロビオン」、事務所から離れた現場でもカメラを遠隔操作可能な「ロビオンES」など |
| 北川工業 キュー・アイ | T-002 2-116 | 硫化水素を見える化するセンサ「腐食センサ（Silver Scale）」の製品展示 本管検査用テレビカメラ、取付管検査用テレビカメラ、取付管内挿装置、管内画像展開システム、自動報告書作成システム |
| 協栄産業 | 2-118 | 圧送管点検ロボット（立命館大と連携）、管路内スクリーニングロボット |
| クリスタルライニング工法協会 | 2-201 | クリスタルライニング工法（防食ライニング工法・接着補強型止水工法・補強工法など |
| 小松電機産業 | 2-104 | 水関連施設管理のDXを推進 クラウド総合水管理システム「やくも水神」など |
| サンリツ | 2-101 | 既設マンホール耐震化工法、マンホール目地部耐震化工法、既設管路の水替え工法」など |
| JERコンクリート補改修協会 共同)日本ジッコウ 共同)エースコンサルタント | 2-208 | LCC低減、工期短縮、被覆層の膨れに対する抵抗性に着目し、顧客のニーズに適した工法の提案 |
| JWBA（日本水替工法協会） | 2-209 | キングプラグ工法（プラグによる自然流下方式）、アクセス工法（ポンプによる圧送方式） |
| ジオ・サーチ | 1-217 | 高解像度センサーを搭載した探査車で走りながら地下データを取得「道路陥没予防技術」 |
| ジャパン・トウエンティワン | 2-111 | アステラの人工衛星を活用した漏水検知システム |
| スズテック | 2-102 | 【下水道管路・施設】3D技術を活用した省力化・品質管理手法の提案 |
| セイフティーフラット工法協会 | 2-112 | マンホール鉄蓋取替工法「セイフティーフラット工法」 |
| 星和電機 | T-003 | 通信機能をワンパッケージ化したスマートな遠隔監視ツール「S-BOX」 |
| 全国エボ工法協会 | 1-205 | 人孔鉄蓋後付・修繕工法「エボ工法」に関する技術・資機材など |
| 全国LB工法協会 | 2-117 | LB工法に使用する資器材の展示 |
| 象印チェーンブロック | 2-110 | 自社生産の強力チェーンを使用した重量作業機器「チェーンブロック」 |
| 大泰化工 | 2-215 | コンクリート構造物や鋼構造物等に補強布を用いずにローラー・刷毛等で塗装することで防食被膜を形成する「防食被覆工法」 |
| ツインドリル工法協会 | 2-223 | 安全に、正確に、効率よく、マンホール内に足掛金物（ステップ）を取り付ける「ツインドリル工法」 |
| データベース | 1-207 | 「持続可能な開発目標（SDGs）」を踏まえた中長期目標の設定、新たな企業価値創造を踏まえた展示 |
| 東亜グラウト工業 | 2-106 | 調査診断、洗浄、更生、資源利用まで管路の維持管理技術の紹介 |
| 東京都下水道サービス | 1-230 | 社の企業理念、事業実績、技術開発の成果などの発信 |
| トミス | 1-202 | マンホール水位遠隔監視システム、高耐食性能マンホール鉄蓋 |
| 日本エレクトロセンサリデバイス | 2-105 | 高画質デジタル多機能カメラシステム「スパイス」 |

| 出展会社(団体)名 | 小間番号 | おもな展示内容(出展品目) |
|---|-------|---|
| 日本鑄鉄管 | 2-221 | 設置してあるマンホール蓋の写真データを収集するイベントの「マンホールアドベンチャー」の展示 |
| 日本下水道管路管理業協会 | 2-334 | 協会の活動紹介 |
| 日本下水道協会 | 2-113 | 下水道管路台帳サービス[下水道共通プラットフォーム(愛称:すいすいぐらっと)]の導入相談 |
| 日本下水道光ファイバー技術協会 | 1-206 | 下水道光ファイバーの新たな可能性の調査研究の結果より得られた技術から、その特徴を生かした用途・活用方法、敷設技術などを紹介するパネルの展示 |
| 日本スナックロック協会 | 2-115 | 下水道管路施設を非開削でレベル2地震動に耐える構造に改善する「マグマロック工法」 |
| 日本洗浄技能開発協会 | 2-211 | 国家検定産業技能士の紹介および活用について、また安全作業に向けた安全教育紹介パネル展示や産業洗浄紹介ビデオ放映のほか、専門家による相談 |
| 野々部技術士事務所 | 2-214 | 上下水道施設や事業所などの省エネ診断、技術指導、改善提案 |
| ビーエスエル | 1-201 | 完全閉塞抜き削孔ロボット、管内検査カメラ、止水プラグ管口カメラ、押込みカメラ |
| VFR | | 高性能小型ドローン「IBIS2」を用いた配管・水道管点検の実演 |
| Forbest Product | 2-203 | 下水道点検を目的とする検査カメラ製品 |
| 福山コンサルタント | 1-216 | AIおよび画像処理技術を活用した管路診断システムなど |
| ブルーイノベーション 共同)Flyability | 1-212 | 位置・形状も含め配管の状態を鮮明に確認するドローン「ELIOS 3」 |
| BKU防食工法協会 | 2-210 | 防食シートライニング工法におけるBKU防食工法(成形品後貼り工法)と型枠工法 |
| ペンタフ | 1-204 | 各種流量計、水位計、WEB監視システム、管路・人孔内安全管理対策装置など |
| HOKURYO | 2-119 | 世界スタンダードの自走&カメラ付き下水道本管穿孔機・牽引式簡易型下水道本管穿孔機など |
| ヤマソウ 共同)LDPI | 2-216 | 小口径分岐管路等に対応する調査機器、管路施設調査・管理ソフトウェア(WinCan)など |
| ユーテック | 2-120 | 火災の危険性を0にする作動液アクアブルーによる液圧ユニット |
| 理研計器 | 1-203 | ポータブルガス検知警報器 |
| Liberaware | 1-213 | 「狭くて、暗くて、危険な」かつ「屋内空間」の点検・計測に特化した世界最小級のドローン |
| レゾナック建材 共同)東日本ショウゼット工業会 共同)西日本ショウゼット工業会 | 2-202 | 耐有機酸性能を有した製品、作業性向上、工期短縮を目的に開発した「光硬化型FRPシート」 |
| ワット・コンサルティング | 1-214 | 小型ドローンで点検、画像解析やレーザースキャナー、点群からの図面化などDX技術を複合的に活用 |

■その他 17社(団体)

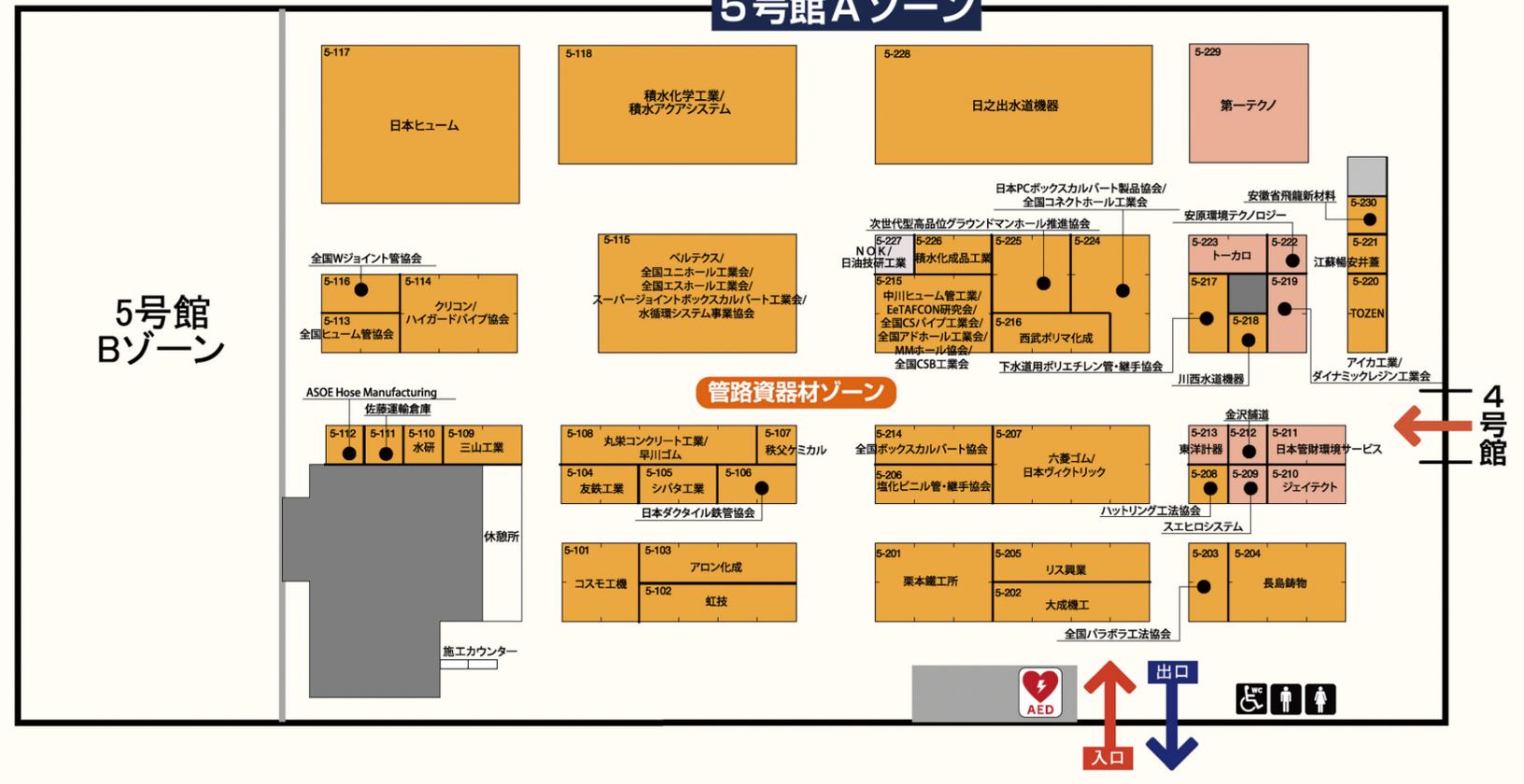
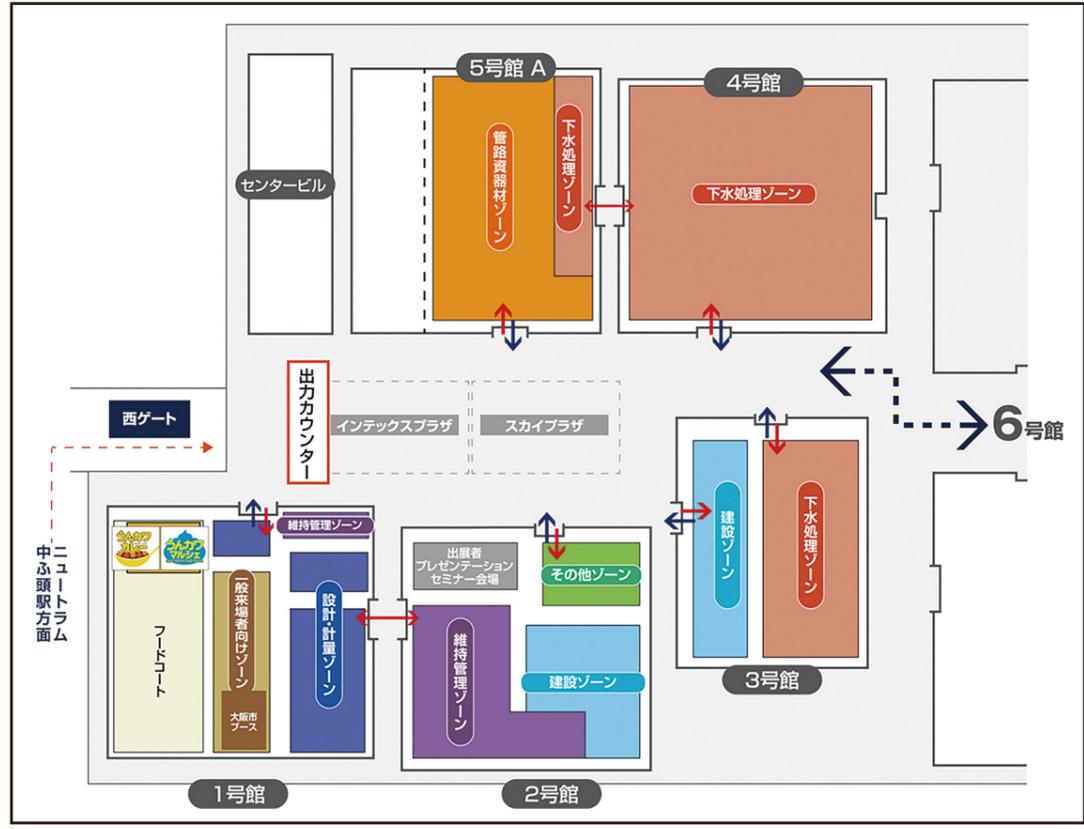
| 出展会社(団体)名 | 小間番号 | おもな展示内容(出展品目) |
|-------------------|-------|--|
| Apera Instruments | 2-320 | pH、ORP、導電率、TDS、塩分、溶存酸素、濁度、およびイオン濃度を測定するためのあらゆるタイプの水質測定器と各種電極を提供 |
| エクソル | 2-315 | 「オリジナル製品の開発」や「最適な商品の調達・選定」など、太陽光発電システムの設計、建設、稼働後のメンテナンスから保証までワンストップソリューションで対応 |
| SCプラグ工法協会 | 2-318 | 処理施設やマンホール内を管内通水しながら修復、安全で衛生的な作業環境の下で効率的な作業が可能「バイパスシステム工法」 |
| ガステック | 2-316 | 硫化水素測定器、検知管式気体測定器、酸素計、硫化水素計、ガス警報計 |
| クリアウォーターOSAKA | 1-108 | 「下水道経営上の課題抽出と対策提案や事業化支援」「下水道事業の発注者支援や運営支援」から、事業企画および運営の技術・ノウハウを自治体内で継承できるようなサポート |
| ケーメックスONE | 2-311 | 上下水道システム全般の省人化、遠隔監視に役立つ産業用ネットワーク機器 |
| 国土交通省 | 2-305 | B-DASH技術の展示・広報 |
| 三洋貿易 | 2-310 | 容器や装置内部の酸素濃度をリアルタイムで非侵襲的に計測できる「非破壊酸素濃度計」 |
| ジェイエムエス | 2-317 | 硫化水素ガス除去と装置のご提案、硫化水素ガス(低濃度・高濃度)の測定、モニターなど |
| 新コスモス電機 | 2-307 | 上下水道管路における施設、工事現場などで作業者の安全を見守るガス警報器、検知器 |
| テレネット | 2-306 | 個別、グループ、一斉の3つの通話が可能、災害時に繋がりがやすい無線機「ハザードトーク」 |
| 東光計器 | 2-312 | 耐久性がある電極、広範囲が測定出来る機器、精度を重視した機器 |
| 日科機バイオス | 2-302 | Teledyne Isco社製の6712型自動採水器、エンドレス採水システム(cacheサンプラー)など |
| 日本下水道事業団 | 2-304 | サイネージやパネルの展示、地方公共団体職員、異分野の職業の方々や学生および一般家庭など、下水道展来場者にわかりやすい情報の発信 |
| 日本下水道新技術機構 | 2-319 | 下水道に関する調査・研究・開発および審査証明についてのパネル展示 |
| 日本水道新聞社 | 2-301 | 日本水道新聞・日本下水道新聞電子版のPR、日本下水道新聞・発刊書籍の紹介 |
| P・C・Gテクニカ | 2-309 | 排水管布設替費用よりも少ないコストでビル・マンション排水管を更生でき、穴の空いた配管にも対応する「P・C・G FRPサポーター工法」 |

■パブリック 12団体

| 出展会社(団体)名 | 小間番号 | おもな展示内容(出展品目) |
|-----------------------------|-------|---|
| 会津坂下町 共同)全国市町村土壌浄化法連絡協議会 | 1-104 | 汚水槽を土壌で被覆する事で簡単に二次公害が防止できる技術「土壌浄化法」 |
| 大阪市 | 1-111 | 「いのちかがやく未来社会のデザイン」がテーマである大阪・関西万博の「未来」をキーワードに夏の大阪ウィークで展示をする「未来の下水道ブース」 |
| 大阪府 | 1-112 | 「流域下水道60年間の歴史」 |
| 岡山市 | 1-106 | お子様が楽しめる塗り絵やマンホールコースター作り、下水道について学べる展示 |
| 関西地方下水道協会 | 1-113 | 関西地方下水道協会管内各府県市町村の下水道広報素材によるPR |
| 京都市 | 1-107 | ボール投げによる的当て、京都市の水処理のPR、微生物性格診断、微生物カード(パネル展示)など |
| 堺市上下水道局 | 1-103 | 下水道事業のPR |
| 滋賀県下水道課 共同)淡海環境保全財団 | 1-109 | 下水道ラボ(下水に関する実験など) |
| 東京都・横浜市・神戸市・福岡市 | 1-110 | 再生リンの取り組み |
| 日本下水道施設管理業協会 | 1-105 | 業界の認知度アップ、パネル展示などで下水処理場の説明 |

下水道展'25 会場レイアウト

大阪 [インテックス大阪 1号館~5号館]



男子トイレ **女子トイレ** **身障者用トイレ**

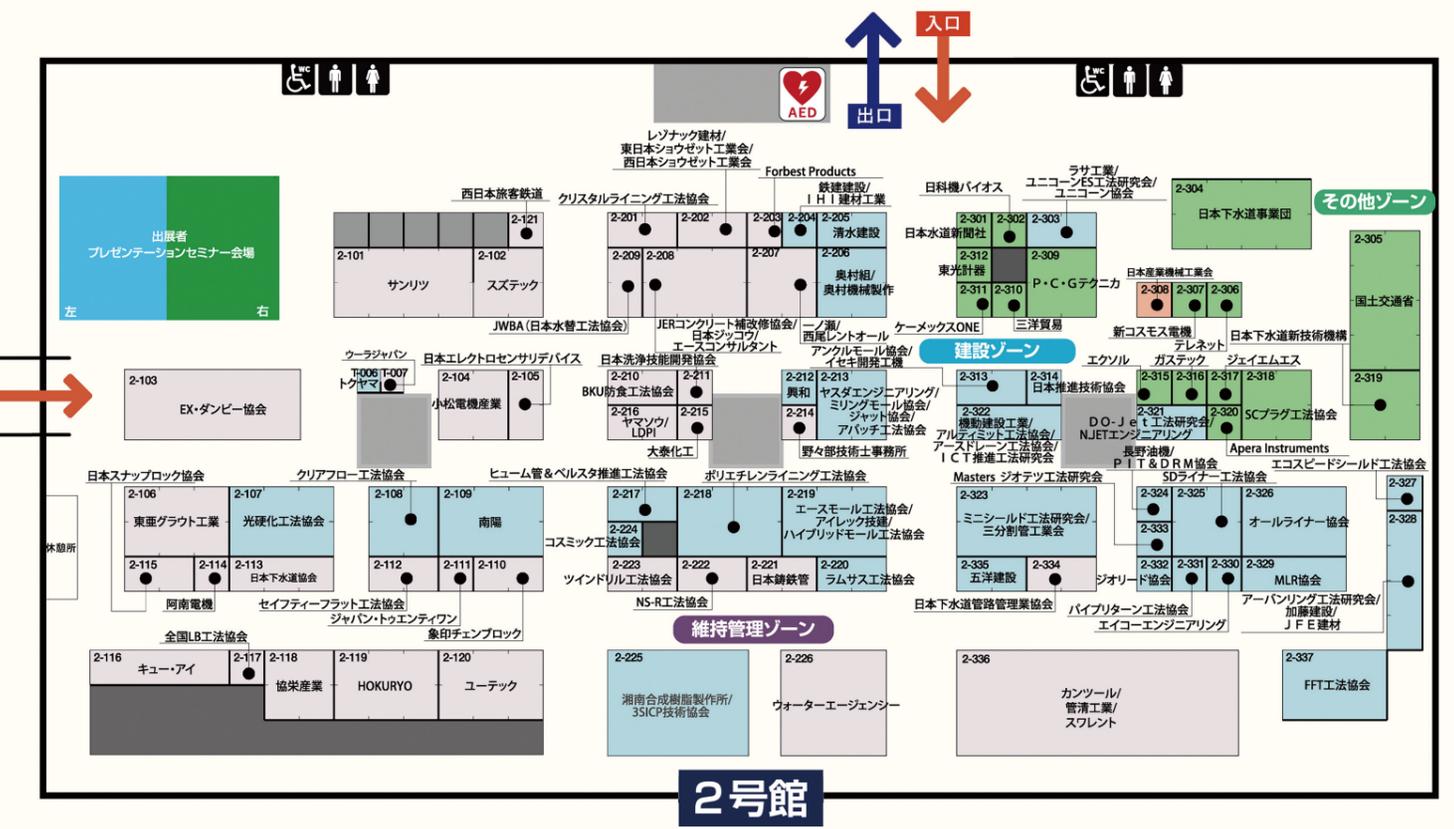
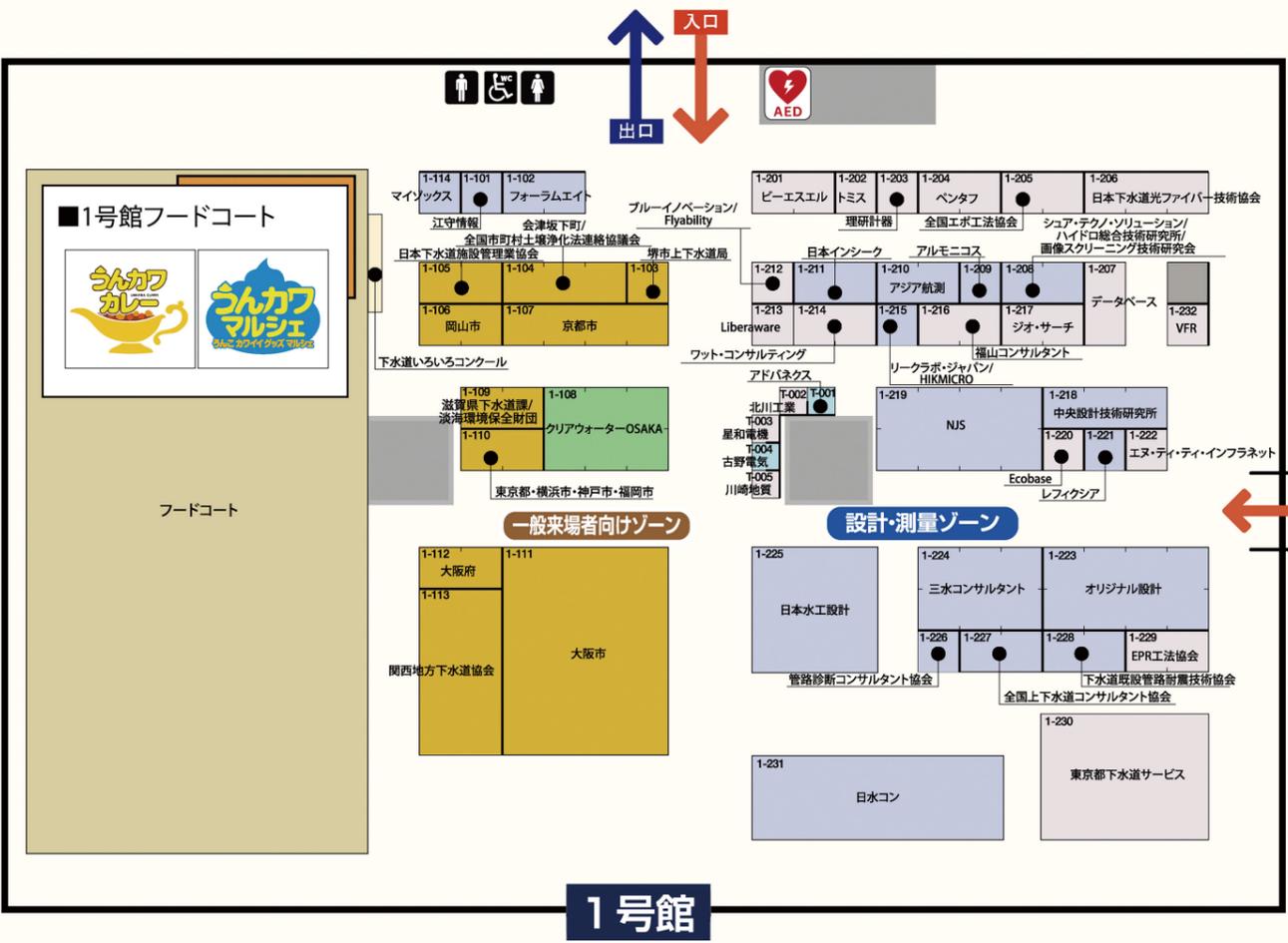
AED (自動体外式除細動器)
※各展示事務室にも設置

下水処理ゾーン その他ゾーン

管路資器材ゾーン .. 設計・計量ゾーン

維持管理ゾーン 一般来場者向けゾーン

建設ゾーン



◆下水道展 '25 大阪◆

併催行事・併催企画等のご案内

公益社団法人 日本下水道協会
総務部 展示会企画室 室長武田 裕一
Yuuichi Takeda

- ▶ 下水道技術情報研修会（ブースツアー） ▶ テクニカルツアー ▶ 第62回下水道研究発表会
- ▶ すいすいプラット相談所 ▶ 一般来場者向け企画

下水道展では、ホール内に設けられた展示ブースだけではありません。下水道研究発表会をはじめとする会議スペースでのアカデミックな講演・セミナーや、先進的施設を訪ねて回るテクニカルツアーなど、併催行事・併催企画なども目白押し。下水道のプロ・ベテランもビギナーも、一般の方々も、それぞれが実りのある1日にできるはずですから、事前チェック・事前登録はお忘れなく。これら数多くの併催行事・併催企画の中からおもな5テーマについて、日本下水道協会 展示会企画室の武田裕一室長にご紹介いただきました。

下水道展は、下水道に関する幅広い分野の最新技術・機器、サービス等の展示・紹介をする国内最大の展示会です。さらに、全国の下水道関係者の多様なニーズにお応えするため、様々な併催行事・併催企画を実施いたします。主な催しをご紹介いたしますので、多くの皆様にご来場いただきたいと存じます。

1. 下水道技術情報研修会（ブースツアー）

ブースツアーは、下水道事業において関心の高い各課題に関する複数の出展ブースへ自治体関係者をグループでご案内し、観覧後には参加者と出展者間での情報・意見交換（セッション）で相互交流の促進を図る企画です。

昨年は、地方公共団体から401名の方にご参加いただき、8割以上の参加者から「大変満足・満足」というお声をいただいております。あわせて「新たな知見が習得できた」「課題解決に繋がる知識が深まった」、また出展者からは「多くの自治体職員との人脈形成ができた」「(自治体の)課題やニーズについて情報収集できた」といったコメントをいただくなど大変ご好評をいただきました。

今年は、昨年の参加者からのご意見をふまえ、実施日を来場者の多い会期2日目と3日目に集約することでより参加しやすくすることや（2日間で計4回、昨年は4日間で計4回）、参加者と出展者の交流のさらなる促進を図るためセッションの時間を延長するなど、当ツアーが、自治体関係者と出展者にとって、さらに効果的な情報収集、情報交換の場となるよう取り組んでまいります。

2. テクニカルツアー

7月30日⑧・31日⑨の2日間にわたり、大阪市や神戸市、堺市のご協力をいただき、各都市の施設を廻るテクニカルツアーを開催します。

▶ 大阪市：「豊崎～茶屋町幹線現場」では、雨水貯留池と既設下水管を接続するための接続管きょ及び連絡管きょ並びに特殊マンホールの築造など、都市公

園内の限られた工事ヤード内で発進立坑をケーソン工法により建設している様子をご覧ください。また「グラングリーン大阪」は、自然と都市の融合をテーマに、大阪駅前で新しいまちづくりを進める「うめきたプロジェクト」において、2024年、公民連携により誕生しました。公園を中心とし、緑豊かな環境でオフィス・ホテル・商業施設等が融合する同施設へご案内いたします。

▶ 神戸市：東灘処理場では、「リン回収設備」や「消化ガスの発電、自動車燃料としての供給設備」など資源循環の取り組みに加え、下水処理の仕組みや阪神・淡路大震災からの復興の様子などについて展示されている「歩み館」をご覧ください。

▶ 堺市：「三宝水再生センター」では、担体投入型ステップ流入式3段硝化脱窒法及び急速ろ過法（凝集剤添加）により全量を高度処理しております。「災害対策センター」は、大規模災害が発生した時の広域支援として、他都市の支援隊の受け入れ拠点に位置づけられており、全国的にも珍しい施設です。災害復旧のための資材保管状況や他都市からの支援部隊の受け入れスペースなどの機能もご覧ください。

3. 第62回下水道研究発表会（オンライン併用）

7月29日⑩～31日⑪の3日間にわたり、今回で62回目となる下水道研究発表会を大阪市のATC O's南コンベンションルーム・会議室において開催します。

下水道研究発表会は、下水道事業に携わる研究者や実務者が、日頃の研究の成果、実務・事例報告の発表を通して、相互に情報交換し、交流を図ることで、下水道事業の持続・発展並びに下水道技術の進歩・向上、人材育成・技術継承等に資することを目的としています。

2日目にあたる7月30日⑩16時から、特別講演として、金沢大学名誉教授の宮島昌克氏より、「2024年能登半島地震による下水道被害から学ぶ南海トラフ地震への教訓」としてご講演をいただきます。

研究発表会では口頭発表340編（日本語334編、英語6編）、ポスター発表17編（日本語16編、英語

1編)の合計357編の発表を予定しています。

日本語口頭発表部門では、関心の高い特定課題セッションの「地球温暖化/GX」、「DX」、通常セッションの「雨水対策」、「水処理技術」、「汚泥処理技術」の発表が多く予定されています。

4. すいすいプラット相談所の開設

7月29日(火)～8月1日(金)の4日間にわたり、すいすいプラット相談所を2号館[維持管理ゾーン]2-113ブースにて開設します。

すいすいプラットは、下水道台帳管理システム標準仕様(案)・導入の手引き ver.5 に準拠したクラウド型の安価な下水道管路の台帳情報管理システムで、①GIS台帳システムとしての基本機能を保有、②維持管理情報の管理(取り込み)が可能、③災害時に迅速にデータ提供が可能、④多彩な集計機能を保有、⑤LG-WANでの利用のほか、インターネット環境を通じてどこからでも閲覧が可能といった機能を備えており、令和5年4月よりサービスの運用を開始しました。

令和9年度からは、施設情報や維持管理情報がGISを基盤としたデータベースシステムを用いて管理していることが管路施設の改築にかかる交付要件となります。また、インフラメンテナンスを適切に行うためには、管路台帳システムは必須となります。

本相談所では、地方公共団体の皆様が見つすいすいプラット導入に向けた様々な悩み等の解決に向け、個別相談やデモンストレーション等を通じて相談いただける場となりますので、お気軽にお立ち寄りください。



5. 一般来場者向け企画

大阪市をはじめとした13の自治体・団体が出展する「一般来場者向けゾーン」(同ゾーン)では、子どもを含めた、普段、下水道事業に直接関係せず、関連情報に接することも少ない一般来場者を対象に、下水

道の基本的な仕組みや役割、また下水汚泥からの再生リン回収及び肥料化など新しい取り組みについても紹介予定です。

例年ご好評をいただいている、うんこがデザインされたグッズなどを販売する「うんカワマルシェ(うんこカワイグッズマルシェ)」の内容をさらに拡大し、本年は「うんカワカレー」及び「うんカワソフト」の販売を行います。

「うんカワカレー」は、トイレの形の皿に、大阪市内のカレー専門店がこの企画のために新たに開発した新作カレーを盛りつけてお召し上がりいただけます。

「うんカワソフト」は、トイレの形をしたソフトクリームカップに、チョコレート味(色)のソフトクリームをのせて販売します(一部、数量限定で無償提供)。



あわせて大阪市が出展するブース内では下水道の謎解き企画が実施され、「うんち探偵」が皆様をご案内するなど、「うんこ」を共通のテーマとした各種の企画が同時展開されます。

子供たちを中心に多くの皆様にお楽しみいただき、これらをきっかけに、うんこが流れていく先の下水道への興味・関心を高めていただけたらと考えております。



大阪市ブース
謎解き企画案内役
「うんち探偵」

◆
この他にも多くの企画を用意して、皆様の参加をお待ちしております。

おもな 併催行事／併催企画 一覧

各企画の詳細・申し込み方法は公式HPで ▶ <https://www.gesuidouten.jp/>
(7月10日時点の情報です。すでに募集を締め切った催しもありますので、HP等で最新状況をお確かめください)

◆第62回下水道研究発表会

【主催】日本下水道協会

【日時】7月29日(火)～31日(木) (3日間)

【会場】ATC O's南 コンベンションルーム・会議室(大阪市住之江区南港北2-1-10)

【プログラム】

〈第1日〉7月29日(火)

・13:00～17:30 口頭発表セッション

〈第2日〉7月30日(水)

・10:00～15:10 口頭発表セッション

- ・10:00～17:00 ポスター掲示
 - ・12:00～14:00 ポスター発表セッション
 - ・16:00～17:00 特別講演「2024年能登半島地震による下水道被害から学ぶ南海トラフ地震への教訓」
…宮島昌克・金沢大学名誉教授
 - ・17:30～19:00 交流会
 - 〈第3日〉7月31日(木)
 - ・10:00～17:30 口頭発表セッション
 - ・10:00～15:00 ポスター掲示
- ▶プログラム詳細は20～31ページをご覧ください。

◆下水道ブルーカーボン構想 ～豊かな海と脱炭素への貢献～

【主催】 ジャパンブルーエコノミー推進研究会「ブルーカーボン促進のための栄養塩供給管理プロジェクト」
 【共催】 国土交通省大臣官房参事官（上下水道技術）付
 【日時】 7月29日㊦ 14：00～17：00
 ・14：00～15：00 ポスターセッション
 ・15：00～17：00 セミナーセッション
 【会場】 6号館ホールG
 【参加募集人数】 対面：100名、WEB参加：150名

◆FJISSセミナー「下水道事業の持続可能性への挑戦」

【演題】 下水道事業の持続可能性への挑戦
 【講師】 遠藤誠作氏（前北海道大学大学院公共政策学研究センター研究員、元福島県三春町企業局長、総務省地方公営企業経営アドバイザー）
 【主催】 持続可能な社会のための日本下水道事業連合会
 【日時】 7月30日㊦ 14：00～15：30
 【会場】 6号館ホールG
 【参加募集人数】 100名

◆テクニカルツアー（※自治体のみ参加可）

【日時】 7月30日㊦・7月31日㊦ 13：00～
 【見学場所】
 〈7/30：Aコース〉 東灘処理場、豊崎～茶屋町幹線現場（解散：大阪駅）
 〈7/31：Bコース〉 三宝水再生センター、豊崎～茶屋町幹線現場（解散：大阪駅）
 【参加募集人数】 各コース40名（先着順）

◆「下水道資源による地域循環の構築に関する共同研究」講演会

【主催】 全国上下水道コンサルタント協会
 【日時】 7月30日㊦ 9：30～11：30
 【会場】 6号館ホールG
 【参加募集人数】 対面150名、WEB参加500名

◆下水道のレジリエンス向上を目指して ～道路陥没事故から学ぶ調査機器とAI活用技術～

【主催】 管路診断コンサルタント協会
 【共催】 日本グラウンドマンホール工業会
 【日時】 7月31日㊦ 10：00～12：00
 【会場】 6号館会議室F
 【参加募集人数】 120名

◆下水道カーボンニュートラルに向けたシンポジウム

【主催】 大阪市建設局・日本下水道協会
 【日時】 7月29日㊦ 13：30～16：30
 【会場】 6号館会議室F
 【参加募集人数】 対面80～100名、WEB参加300名

◆JST未来社会創造事業「健全な社会と人を支える安全安心な水循環系の実現」特別展示

【主催】 JST未来社会創造事業田中課題
 【後援】 日本下水サーベイランス協会
 【日時】 7月30日㊦ 10：30～17：30
 【会場】 センタービル2階会議室CD
 【開催方式】 ポスター、研究内容ビデオ説明、パンフレット配布

◆「第50回優秀環境装置表彰」受賞装置発表会

【主催】 日本産業機械工業会
 【日時】 7月29日㊦ 14：00～16：00
 【会場】 センタービル2階会議室CD
 【参加募集人数】 30名

◆下水道におけるカーボンニュートラル実現に向けたシリーズ発表会

【主催】 大阪市建設局
 【日時】 7月30日㊦ 13：00～17：00
 【会場】 6号館会議室F
 【参加募集人数】 60～80名

◆W-PPPにおけるガイドライン説明と自治体等の現況

【主催】 日本下水道管路管理業協会
 【日時】 7月30日㊦ 10：00～12：00
 【会場】 センタービル2階国際会議ホール
 【参加募集人数】 196名

◆下水道の市民科学発表会

【主催】 国土交通省大臣官房参事官（上下水道技術）付
 【日時】 7月30日㊦ 13：30～16：30
 【会場】 6号館ホールH
 【参加募集人数】 対面：約20名、WEB参加：100名

◆関西・大阪圏からの下水サーベイランス社会実装に向けての発信

【主催】 日本下水サーベイランス協会
 【後援】 JST未来社会創造事業田中課題・全国下水サーベイランス推進協議会
 【日時】 7月30日㊦ 13：00～17：00
 【会場】 センタービル2階国際会議ホール
 【参加募集人数】 200名

◆まちと共存する次世代の下水処理場ができること

【主催】 大阪市建設局
 【日時】 7月31日㊦ 14：00～16：30
 【会場】 センタービル2階会議室CD
 【参加募集人数】 30名

◆第83回下水道新技術セミナー

【主催】 日本下水道新技術機構
 【日時】 7月31日㊦ 10：00～12：00
 【会場】 6号館ホールG
 【参加募集人数】 140名

◆災害時のトイレ・下水道フォーラム ～災害時のトイレ対策をきっかけに市民の下水道理解を深める～

【主催】 日本下水道協会
 【企画・運営】 日本トイレ研究所
 【日時】 7月31日㊦ 13：00～16：00
 【会場】 センタービル2階国際会議ホール
 【参加募集人数】 150名

◆令和7年度上下水道スタートアップチャレンジ

【主催】 国土交通省大臣官房参事官（上下水道技術）付
 【日時】 7月31日㊦ 13：30～16：30
 【会場】 6号館ホールH
 【参加募集人数】 50名



第62回下水道研究発表会

全357編の成果披露 産官学民の英知が一堂に

- [主催] 公益社団法人 日本下水道協会
- [期日] 令和7年7月29日(火)～31日(水)
- [会場] ATC O's南 コンベンションルーム・会議室 (大阪市住之江区南港北2-1-10)
- [日程]

| 月日 | 日程 | 会場 | オンライン | |
|--------------|-------------|-------------|---|----------------------------|
| 7月29日 (火) | 開会式(下水道展合同) | 10:00～ | (インテックス大阪) | |
| | 受付 | 11:00～ | | |
| | 日本語口頭発表部門 | 13:00～17:30 | 第1会場: コンベンションルーム1 第2会場: コンベンションルーム2 第3会場: B1会議室 第4会場: B2会議室 第5会場: B3会議室 第6会場: B8会議室 第7会場: B9会議室 | ライブ配信 |
| 7月30日 (水) | 受付 | 8:45～ | | |
| | 日本語口頭発表部門 | 10:00～15:10 | 第1会場～第7会場 | ライブ配信 |
| | 英語口頭発表部門 | 10:00～11:40 | 第5会場 | ライブ配信 |
| | ポスター発表部門 | 12:00～14:00 | B5会議室 | 発表は現地のみ。 オンラインにてポスターを掲示 |
| | 特別講演 | 16:00～17:00 | 第1会場: コンベンションルーム1 | |
| 7月31日 (木) | 交流会(有料) | 17:30～19:00 | ATC O's北 3階 ウミエールキューブ | |
| | 受付 | 8:45～ | | |
| 7月31日 (木) | 日本語口頭発表部門 | 10:00～17:30 | 第1会場～第7会場 | ライブ配信 |

【日本語口頭発表部門】

①発表内容および編数

| セッション名 | | 編数 |
|---|--|----|
| ■特定課題セッション(全9セッション) 125編 | | |
| ①アセットマネジメント(事業管理計画)／ストックマネジメント | | 8 |
| ②国際協力・海外展開、③BCP・リスクマネジメント(地震・災害時のBCP、BCPの実践・効果、被害想定など) | | 5 |
| ④震災対策(津波対策、液状化対策、放射能対応、支援対策、復興対策など) | | 8 |
| ⑤集中豪雨対策(都市浸水、内水氾濫のリスク評価とその被害軽減技術、浸水予測方法とその応用、浸水ハザードマップなど) | | 6 |
| ⑥バイオソリッドの利活用(消化ガス利用、固形燃料化、肥料化など)／りん等有用資源の回収 | | 16 |
| ⑦地球温暖化/GX(省エネ対策、N2O対策、温室効果ガス、脱炭素化、グリーン化、LCA、エネルギー利用(下水熱・水力・太陽光・風力)など) | | 32 |
| ⑧官民連携(PPP/PFI、ウォーターPPP、コンセッション方式、指定管理者制度、包括民間委託) | | 15 |
| ⑨DX(デジタル関連、AIなど) | | 35 |
| ■通常セッション(全10セッション) 208編 | | |
| ①経営・計画・広報 | | 23 |
| ②雨水対策 | | 31 |
| ③環境・水リサイクル・水系水質リスク/分析技術 | | 23 |
| ④管路(建設) | | 15 |
| ⑤ポンプ場・処理場施設(建設) | | 12 |
| ⑥管路(維持管理) | | 13 |
| ⑦ポンプ場・処理場施設(維持管理) | | 13 |
| ⑧水処理技術 | | 48 |
| ⑨汚泥処理技術 | | 30 |
| ⑩計測・制御 ※今年度の発表はありません。 | | 0 |
| 口頭発表セッション合計 333編 | | |

②発表方法

口頭による発表形式で、10分間の口頭発表と、5分間の質疑応答を行います。

[英語口頭発表部門]

①発表内容および編数

| | |
|--------------------|----|
| ■セッション（全2セッション） 6編 | |
| セッション名 | 編数 |
| ①新技術、②計画と実施事例 | 6 |

②発表方法

英語で口頭による発表形式で、10分間の口頭発表と、5分間の質疑応答を行います。

[ポスター発表セッション]

①日時・会場

| 月日 | 掲示時間 | 掲示場所 | 発表時間 |
|----------|-------------|-------|--------------------|
| 7月30日(※) | 10:00~17:00 | B5会議室 | 12:00~14:00 (会場のみ) |
| 7月31日(※) | 10:00~15:00 | | — |

②発表編数：日本語ポスター16編、英語ポスター1編

③発表方法：ポスターをあらかじめ会場に掲示し、発表時間には発表者と参加者が自由に意見交換・質疑応答を行います。オンラインではポスターの掲示のみ行います。

[特別講演] ※ホームページにて事前受付のみ。会場での申し込みはできません。

- ①日 時：7月30日(※) 16:00~17:00
- ②会 場：第1会場 コンベンションルーム1
- ③テーマ：「2024年能登半島地震による下水道被害から学ぶ南海トラフ地震への教訓」
- ④講演者：金沢大学名誉教授 宮島 昌克氏
- ⑤参加費：無料
- ⑥定 員：190名

[下水道研究発表会交流会] ※ホームページにて事前受付のみ。会場での申し込みはできません。

発表会2日目（7月30日(※)）16時からの特別講演終了後、特別講演の演者、各セッションの座長、発表者、聴講者、下水道研究発表会企画運営委員等の下水道研究発表会参加者を対象に、下水道技術等について自由に意見交換を行うための交流会を開催いたします。

- ①日 時：7月30日(※) 17:30~19:00
- ②会 場：ATC O's北3階 ウミエールキューブ
- ③参加費：3500円（税込み）※前納

■第62回下水道研究発表会 セッション一覧■

| セッション名 | | 編数 | 発表日 | 時間 | 会場 |
|------------|----------------------------|----|-------|-------------|------|
| ○特定課題セッション | | | | | |
| S-1 | アセットマネジメント/ストックマネジメント | 8 | 7月31日 | 15:20~17:30 | 第5会場 |
| S-2,3 | 国際協力・海外展開、BCP・リスクマネジメント | 5 | 7月31日 | 10:00~11:25 | 第3会場 |
| S-4 | 震災対策 | 8 | 7月30日 | 13:00~15:10 | 第2会場 |
| S-5 | 集中豪雨対策 | 6 | 7月30日 | 13:00~14:40 | 第4会場 |
| S-6-1 | バイオソリッドの利活用/りん等有用資源の回収 (1) | 8 | 7月29日 | 13:00~15:10 | 第1会場 |
| S-6-2 | バイオソリッドの利活用/りん等有用資源の回収 (2) | 8 | 7月29日 | 15:20~17:30 | 第1会場 |
| S-7-1 | 地球温暖化/GX (1) | 7 | 7月29日 | 15:20~17:15 | 第3会場 |
| S-7-2 | 地球温暖化/GX (2) | 6 | 7月31日 | 10:00~11:40 | 第7会場 |
| S-7-3 | 地球温暖化/GX (3) | 6 | 7月30日 | 13:00~14:40 | 第6会場 |
| S-7-4 | 地球温暖化/GX (4) | 7 | 7月30日 | 10:00~11:55 | 第3会場 |
| S-7-5 | 地球温暖化/GX (5) | 6 | 7月29日 | 13:00~14:40 | 第3会場 |
| S-8-1 | 官民連携 (1) | 8 | 7月31日 | 13:00~15:10 | 第5会場 |
| S-8-2 | 官民連携 (2) | 7 | 7月31日 | 10:00~11:55 | 第5会場 |
| S-9-1 | DX (デジタル関連、AIなど) (1) | 7 | 7月30日 | 10:00~11:55 | 第1会場 |
| S-9-2 | DX (デジタル関連、AIなど) (2) | 7 | 7月30日 | 13:00~14:55 | 第1会場 |
| S-9-3 | DX (デジタル関連、AIなど) (3) | 6 | 7月31日 | 10:00~11:40 | 第1会場 |
| S-9-4 | DX (デジタル関連、AIなど) (4) | 8 | 7月31日 | 13:00~15:10 | 第1会場 |
| S-9-5 | DX (デジタル関連、AIなど) (5) | 7 | 7月31日 | 15:20~17:15 | 第1会場 |
| ○通常セッション | | | | | |
| N-1-1 | 経営・計画・広報 (1) | 6 | 7月29日 | 13:00~14:40 | 第4会場 |
| N-1-2 | 経営・計画・広報 (2) | 5 | 7月31日 | 13:00~14:25 | 第6会場 |

| セッション名 | | 編数 | 発表日 | 時間 | 会場 |
|----------------|---------------------------|----|-------|-------------|-------|
| N-1-3 | 経営・計画・広報（3） | 6 | 7月29日 | 15:20～17:00 | 第4会場 |
| N-1-4 | 経営・計画・広報（4） | 6 | 7月31日 | 15:20～17:00 | 第6会場 |
| N-2-1 | 雨水対策（1） | 7 | 7月31日 | 13:00～14:55 | 第4会場 |
| N-2-2 | 雨水対策（2） | 8 | 7月31日 | 15:20～17:30 | 第4会場 |
| N-2-3 | 雨水対策（3） | 8 | 7月31日 | 10:00～12:10 | 第4会場 |
| N-2-4 | 雨水対策（4） | 8 | 7月30日 | 10:00～12:10 | 第4会場 |
| N-3-1 | 環境・水リサイクル・水系水質リスク／分析技術（1） | 7 | 7月29日 | 13:00～14:55 | 第5会場 |
| N-3-2 | 環境・水リサイクル・水系水質リスク／分析技術（2） | 8 | 7月31日 | 10:00～12:10 | 第6会場 |
| N-3-3 | 環境・水リサイクル・水系水質リスク／分析技術（3） | 8 | 7月30日 | 13:00～15:10 | 第5会場 |
| N-4-1 | 管路（建設）（1） | 7 | 7月29日 | 13:00～14:55 | 第7会場 |
| N-4-2 | 管路（建設）（2） | 8 | 7月29日 | 15:20～17:30 | 第7会場 |
| N-5-1 | ポンプ場・処理場施設（建設）（1） | 6 | 7月29日 | 15:20～17:00 | 第6会場 |
| N-5-2 | ポンプ場・処理場施設（建設）（2） | 6 | 7月30日 | 10:00～11:40 | 第6会場 |
| N-6-1 | 管路（維持管理）（1） | 6 | 7月31日 | 13:00～14:40 | 第7会場 |
| N-6-2 | 管路（維持管理）（2） | 7 | 7月31日 | 15:20～17:15 | 第7会場 |
| N-7-1 | ポンプ場・処理場施設（維持管理）（1） | 7 | 7月30日 | 10:00～11:55 | 第7会場 |
| N-7-2 | ポンプ場・処理場施設（維持管理）（2） | 6 | 7月30日 | 13:00～14:40 | 第7会場 |
| N-8-1 | 水処理技術（1） | 7 | 7月29日 | 13:00～14:55 | 第2会場 |
| N-8-2 | 水処理技術（2） | 6 | 7月30日 | 10:00～11:40 | 第2会場 |
| N-8-3 | 水処理技術（3） | 5 | 7月29日 | 15:20～16:45 | 第2会場 |
| N-8-4 | 水処理技術（4） | 7 | 7月31日 | 15:20～17:15 | 第2会場 |
| N-8-5 | 水処理技術（5） | 8 | 7月31日 | 13:00～15:10 | 第2会場 |
| N-8-6 | 水処理技術（6） | 7 | 7月30日 | 13:00～14:55 | 第3会場 |
| N-8-7 | 水処理技術（7） | 8 | 7月31日 | 10:00～12:10 | 第2会場 |
| N-9-1 | 汚泥処理技術（1） | 7 | 7月31日 | 13:00～14:55 | 第3会場 |
| N-9-2 | 汚泥処理技術（2） | 8 | 7月29日 | 15:20～17:30 | 第5会場 |
| N-9-3 | 汚泥処理技術（3） | 8 | 7月31日 | 15:20～17:30 | 第3会場 |
| N-9-4 | 汚泥処理技術（4） | 7 | 7月29日 | 13:00～14:55 | 第6会場 |
| ○英語セッション | | | | | |
| E-1、E-2 | 新技術、計画と実施事例 | 6 | 7月30日 | 10:00～11:40 | 第5会場 |
| ポスター発表（日本語、英語） | | 17 | 7月30日 | 12:00～14:00 | B5会議室 |

第62回下水道研究発表会 ポスター部門プログラム

○令和7年7月30日(水) 12:00～14:00 B5会議室

①日本語

| 発表番号 | 発表題名 | 所属 | 氏名 |
|------|--|----------------|-------|
| P-1 | A処理区におけるAI（機械学習モデル）を用いた不明水予測に関する研究 | (公財)日本下水道新技術機構 | 山本 晃裕 |
| P-2 | 管きょ更生工法（複合管）の施工時における課題 | (公財)日本下水道新技術機構 | 渡辺 太郎 |
| P-3 | 磐南浄化センターにおける土地や環境を生かした取り組み（イモ・ヤギ・ハチ） | (地共)日本下水道事業団 | 服部 智 |
| P-4 | アンモニア制御を用いた送風量の削減と処理水質の改善について | 横浜市 | 須崎 佑崇 |
| P-5 | 東京都下水道局の汚泥消化ガス発電事業 | 東京都 | 谷口 禎章 |
| P-6 | 下水汚泥消化ガス・再生水を原料としたメタネーションによる地域実証 | 東京ガス(株) | 三浦 隆弘 |
| P-7 | DHS用新型担体の開発と性能評価 | 三機工業(株) | 辻林 良祐 |
| P-8 | 下水汚泥を原料及びバイオ触媒に利用したバイオプラスチック生産に関する基礎検討 | 大阪大学 | 井上 大介 |
| P-9 | 水処理実験装置用下水採取ポンプの長期省メンテ運用への挑戦 | 東京大学 | 佐藤 弘泰 |
| P-10 | レーダーアメダス解析雨量に基づく確率雨量の空間偏在性評価の試み | 高知大学 | 岩部 幸雄 |
| P-11 | マノメトリック手法を用いたアナモックス菌付着担体の活性に及ぼす環境因子の検討 | 東洋大学 | 五月女 瞬 |
| P-12 | 下水処理場由来のリン供給ポテンシャルの推計とフロー解析 | 東北工業大学 | 鈴木 りな |
| P-13 | 活性汚泥中の細菌存在状況と活性汚泥フロック形状の関連性 | 東京大学 | 箱島 卓 |
| P-14 | 再生可能エネルギーの最大化に向けた凝集沈殿による有機物回収に関する基礎調査 | (国研)土木研究所 | 桜井 健介 |
| P-15 | RGB画像を用いたアオコ推定手法の基礎検討 | (国研)土木研究所 | 小林 伸幸 |
| P-16 | オンラインアンモニアセンサーを用いた下水処理場への有害物質流入の遠隔監視技術 | (国研)土木研究所 | 北村 友一 |

②英語

| 発表番号 | 発表題名 | 所属 | 氏名 |
|------|--|------|------------|
| PE-1 | Upgrade of biological nitrogen removal by a high-rate partial nitritation/anammox coupled with partial denitrification/anammox process | 東北大学 | YANG GUIYU |

第62回下水道研究発表会 口頭発表セッションプログラム

○令和7年7月29日(火)

| 発表番号 | 発表題名 | 所属 | 氏名 |
|---|---|---------------------|-------|
| 第1会場 (コンベンションルーム1) | | | |
| ■13:00~15:10 S-6-1 バイオソリッドの利活用/りん等有用資源の回収 (1) ... 8編 | | | |
| S-6-1-1 | 下水道資源の肥料利用拡大に向けた成分分析調査の結果について | (公財)日本下水道新技術機構 | 熊野 晋 |
| S-6-1-2 | 下水汚泥燃料化物の菌体りん酸肥料への登録について | 北九州市 | 西藤 安隆 |
| S-6-1-3 | 下水道資源の菌体りん酸肥料登録に向けた検討事例 | (公財)日本下水道新技術機構 | 飯田 裕樹 |
| S-6-1-4 | 造粒乾燥汚泥の肥料利用について | (公財)日本下水道新技術機構 | 宮崎 陸 |
| S-6-1-5 | 縦型密閉発酵槽による下水汚泥の肥料化技術に関する実証研究 | 株式会社クボタ | 立道 隆幸 |
| S-6-1-6 | 電気透析法を用いた下水汚泥分離液からの液肥生産技術の開発 | 岩手大学大学院 | 松橋 波生 |
| S-6-1-7 | 下水汚泥焼却灰の低コスト肥料化技術を用いた水稲栽培試験結果報告 | 三機工業株式会社 | 田中 信宏 |
| S-6-1-8 | MAPにより脱ろ液から効率的にリンを回収する技術に関する実証研究 | 月島JFEアクアソリューション株式会社 | 青木 順 |
| ■15:20~17:30 S-6-2 バイオソリッドの利活用/りん等有用資源の回収 (2) ... 8編 | | | |
| S-6-2-1 | 下水汚泥の有効利用先調査を踏まえた肥料化・燃料化事業について | 広島市 | 増田 敦士 |
| S-6-2-2 | 湿式炭化による下水汚泥利活用技術の開発と実証 | 株式会社神鋼環境ソリューション | 田中 裕大 |
| S-6-2-3 | 多層カーボンナノチューブ添加によるメタン発酵促進メカニズムの探索 | 中央大学 | 大山 尚也 |
| S-6-2-4 | 下水道の脱炭素化に向けた消化ガス発電の導入検討事例 | (公財)日本下水道新技術機構 | 郷野 梨夏 |
| S-6-2-5 | 電力の時間別価値を考慮した消化ガス発電の最適運転制御システムの開発 | パシフィックコンサルタンツ株式会社 | 堀尾 作人 |
| S-6-2-6 | 消化ガス中CO ₂ のin-situバイオメタネーションに関する運転安定性検証 | 大阪ガス株式会社 | 秋元 真也 |
| S-6-2-7 | ex-situ型リアクターによる消化ガスのバイオメタネーション | 荏原実業株式会社 | 川上 裕史 |
| S-6-2-8 | 下水汚泥消化ガスのEx-situ型バイオメタネーションフィールド試験 | カナデビア株式会社 | 高木 玄 |
| 第2会場 (コンベンションルーム2) | | | |
| ■13:00~14:55 N-8-1 水処理技術 (1) ... 7編 | | | |
| N-8-1-1 | 能力増強型水処理システムと標準活性汚泥法の硝化性能の比較 | 荏原実業株式会社 | 長谷川 司 |
| N-8-1-2 | 1槽型アナモックス法の負荷変動による処理性能調査 | 大阪市 | 大橋 秀伍 |
| N-8-1-3 | 脱窒速度を用いた脱窒槽の最適容積の検討 | 札幌市 | 岡田 直樹 |
| N-8-1-4 | 芝浦水再生センター東系における窒素除去率向上に関する取り組み | 東京都 | 横田 智之 |
| N-8-1-5 | 独立栄養細菌の一般的性質と循環式硝化脱窒法に関する一考察 | (地共)日本下水道事業団 | 栗田 毅 |
| N-8-1-6 | ライザーバルブの開度調節による処理水窒素濃度の低減 | 東京都 | 宮崎 麻衣 |
| N-8-1-7 | 加瀬水処理センター反応タンクにおける混合特性試験 | 川崎市 | 中谷 渉吾 |
| ■15:20~16:45 N-8-3 水処理技術 (3) ... 5編 | | | |
| N-8-3-1 | 揺動式高速MBRによる下水からの有機物回収 | 月島JFEアクアソリューション株式会社 | 橋本 悠司 |
| N-8-3-2 | MBRシステムの性能評価 | 大阪市 | 久末 高弘 |
| N-8-3-3 | 好気性グラニュールとMBRを組み合わせた水処理技術の検証 | 株式会社クボタ | 佐藤 沙耶 |
| N-8-3-4 | XDLVO理論を用いたMBRにおける膜ファウリング発生機構の考察 | 北海道大学大学院 | 松元 大地 |
| N-8-3-5 | ナノバブルMBRを用いた都市下水処理における医薬品の動態 | 北海道大学大学院 | 橋本 駿 |
| 第3会場 (B1会議室) | | | |
| ■13:00~14:40 S-7-5 地球温暖化/GX (5) ... 6編 | | | |
| S-7-5-1 | 広島市西部水資源再生センターカーボンニュートラル地域モデル処理場計画について | 広島市 | 久岡 正直 |
| S-7-5-2 | MBRシステムにおけるバイオマス回収性能と温室効果ガス発生量について | 大阪市 | 谷 順二 |
| S-7-5-3 | 下水道施設の戦略的設備改築による温室効果ガス排出量削減効果の最大化 | 名古屋市 | 佐野 嘉彦 |
| S-7-5-4 | 新技術等及び温室効果ガス排出量削減技術の導入に関する一考察 | (地共)日本下水道事業団 | 宮川 裕太 |
| S-7-5-5 | 浸漬型熱交換器を用いた塩素混和池からの下水熱回収条件の検討 | 長岡技術科学大学 | 大迫 尚椰 |
| S-7-5-6 | ヒートポンプレスでの下水熱ロードヒーティングに関する検討 | 札幌市 | 野田 萌 |
| ■15:20~17:15 S-7-1 地球温暖化/GX (1) ... 7編 | | | |
| S-7-1-1 | オキシデーションディッチ法における一酸化二窒素排出量の調査方法に関する検討 | 国土技術政策総合研究所 | 石井 淑大 |
| S-7-1-2 | 下水処理場におけるN ₂ Oガス発生に関する調査 | 名古屋市 | 尾関紗千子 |
| S-7-1-3 | 標準活性汚泥法におけるN ₂ O排出挙動とマテリアルバランスについて | 横浜市 | 岩崎 章展 |
| S-7-1-4 | 下水処理工程からの一酸化二窒素排出量の実態調査 (3) | 京都市 | 浅沼 聡史 |
| S-7-1-5 | 硝化抑制運転によるN ₂ O排出抑制効果とN ₂ O排出係数の実測について | 横浜市 | 毛利 崇希 |
| S-7-1-6 | 下水処理場流入水質の連続計測と運転管理への活用の検討 (その4) | メタウォーター株式会社 | 福嶋 俊貴 |
| S-7-1-7 | 水処理工程におけるDO制御がN ₂ O発生に及ぼす影響 | (公財)日本下水道新技術機構 | 幸田 直也 |

| 発表番号 | 発表題名 | 所属 | 氏名 |
|--|--|--------------------|-------|
| 第4会場（B2会議室） | | | |
| ■13:00~14:40 N-1-1 経営・計画・広報（1）…6編 | | | |
| N-1-1-1 | 大阪市下水道事業経営戦略の改定 | 大阪市 | 齋藤菜々子 |
| N-1-1-2 | 使用済マンホール蓋販売を入札形式に！ ～歳入増加への取り組み | 豊橋市 | 佐藤 洋介 |
| N-1-1-3 | 管路施設における健全度推移確率の見直し | 川崎市 | 時田 裕司 |
| N-1-1-4 | 高校生と下水道のプレゼンス向上を考える ～へちまプロジェクトで学び発信～ | 岡崎市 | 富田 治仁 |
| N-1-1-5 | 活性汚泥微生物を活用した広報活動の取組 | 池田市 | 尾之上直輝 |
| N-1-1-6 | 人流分析を用いたマンホールカードによる周遊効果 | 横須賀市 | 植松 大地 |
| ■15:20~17:00 N-1-3 経営・計画・広報（3）…6編 | | | |
| N-1-3-1 | 上下水道分野の持続発展に資する人材確保のためには | 月島JFEアクアソリューション(株) | 渡邊莉苑奈 |
| N-1-3-2 | 下水道事業会計における財務・会計事務の効率化検討について | 堺市 | 仲谷 賢将 |
| N-1-3-3 | 京（みやこ）の下水道新技術ミーティング2024について | 京都市 | 太田 人平 |
| N-1-3-4 | 映像教材の改善プロセスによる暗黙知継承の試行 | クリアウォーターOSAKA(株) | 荻野 剛盛 |
| N-1-3-5 | エンゲージメント向上策 ～CW0コーポレートアカデミー3年間の実施と成果～ | クリアウォーターOSAKA(株) | 杉上 陸 |
| N-1-3-6 | 産学連携による下水道施設の維持管理を支えるデジタル人材育成の取組 | 東京都下水道サービス(株) | 遠藤 義享 |
| 第5会場（B3会議室） | | | |
| ■13:00~14:55 N-3-1 環境・水リサイクル・水系水質リスク/分析技術（1）…7編 | | | |
| N-3-1-1 | ISO/TC282再生水利用国際規格の2013~2024年の開発状況について | 国土技術政策総合研究所 | 山下 洋正 |
| N-3-1-2 | 下水再生水利用拡大に向けた一考察 | (公財)日本下水道新技術機構 | 横森 慶 |
| N-3-1-3 | 三次元蛍光分析を用いた下水処理水の海洋拡散状況の測定手法に関する基礎的検討 | (国研)土木研究所 | 水野 健太 |
| N-3-1-4 | 横浜港の赤潮と水質 | | 米本 豊 |
| N-3-1-5 | オイルマットを用いた水質事故調査について | 川崎市 | 渡部 純一 |
| N-3-1-6 | 下水処理場における水質事故対応の取組 | 京都市 | 青柳 風香 |
| N-3-1-7 | 将来の気候変動及び人口減少が下水処理水の河川水希釈率へ及ぼす影響 | (株)日水コン | 村田 道拓 |
| ■15:20~17:30 N-9-2 汚泥処理技術（2）…8編 | | | |
| N-9-2-1 | 余剰汚泥のみを用いた高温消化の立上げに関する調査について | 東京都下水道サービス(株) | 高橋 叶実 |
| N-9-2-2 | 中小規模向けユニット式下水汚泥消化システムの組立及び冬季の汚泥消化の状況 | (株)日立プラントサービス | 中山 善雄 |
| N-9-2-3 | 中小規模向けユニット式下水汚泥消化システムの汚泥前処理技術の検討 | (株)日立プラントサービス | 大塚 真之 |
| N-9-2-4 | 嫌気性消化における高効率加温設備（可溶性装置）の運転状況について | 三菱化工機(株) | 栗原 元 |
| N-9-2-5 | 集中加温型高速中温消化システムによる消化日数短縮効果の実証 | メタウォーター(株) | 藤原 雅人 |
| N-9-2-6 | 嫌気性消化に関する下水道研究発表会での発表動向および今後の展望 | 京都大学 | 日高 平 |
| N-9-2-7 | 下水汚泥消化槽における高濃度汚泥に適した機械攪拌の導入効果 | 大阪市 | 松宮 雅典 |
| N-9-2-8 | 下水汚泥のメタン発酵におけるアンモニア窒素阻害とそのモニタリング指標の検討 | 東北大学大学院 | 王 旭 |
| 第6会場（B8会議室） | | | |
| ■13:00~14:55 N-9-4 汚泥処理技術（4）…7編 | | | |
| N-9-4-1 | 下水処理場全体の運転管理が嫌気性消化に与える影響に関する調査 | (地共)日本下水道事業団 | 熊越 瑛 |
| N-9-4-2 | 混合嫌気性消化における下水汚泥に対する生ごみ投入負荷の影響 | 長岡技術科学大学 | 谷川 朋弥 |
| N-9-4-3 | 水処理・脱水・消化における初沈汚泥の投入効果について | 神戸市 | 上城 博宣 |
| N-9-4-4 | 大阪南下水汚泥広域処理事業における送泥管複条化の取組みについて | 大阪府 | 遠藤 和也 |
| N-9-4-5 | し尿処理施設における腐植土を用いた活性汚泥法の余剰汚泥削減効果について | 松戸市 | 青木 駿典 |
| N-9-4-6 | 新丸亀市浄化センター/汚泥処理設備における先進的脱炭素化技術群の導入事例 | (株)石垣 | 岩月保乃歌 |
| N-9-4-7 | 札幌市下水道終末処理場（水再生プラザ）における濃縮汚泥中の重金属類含有量調査 | 札幌市 | 池田真由子 |
| ■15:20~17:00 N-5-1 ポンプ場・処理場施設（建設）（1）…6編 | | | |
| N-5-1-1 | ポンプ場再構築優先順位の合理的設定方法 | (株)東京設計事務所 | 新田 佳樹 |
| N-5-1-2 | 狭隘な用地における下水処理場の再構築検討事例 | 日本水工設計(株) | 井野上祐太 |
| N-5-1-3 | 水処理施設改築事業に伴う新たな耐震診断フローの提案事例 | (株)東京設計事務所 | 鈴木 遥斗 |
| N-5-1-4 | 下水道施設の既設構造物に対するレベル1地震動への非線形解析適用の推進 | (株)中央設計技術研究所 | 連 亮也 |
| N-5-1-5 | 耐震診断評価により実現したPC構造物の鉄骨水平ブレースによる耐震補強の一事例 | (株)東京設計事務所 | 井上 真法 |
| N-5-1-6 | 大規模ポンプ場の供用開始について | 堺市 | 山内 清司 |

| 発表番号 | 発表題名 | 所属 | 氏名 |
|---|---------------------------------------|------------------|--------|
| 第7会場 (B9会議室) | | | |
| ■13:00~14:55 N-4-1 管路(建設)(1) …7編 | | | |
| N-4-1-1 | 名駅南雨水幹線のセグメント布設工における凍結工の留意事項について | 名古屋市 | 安田 拓馬 |
| N-4-1-2 | シールド工事における課題への対策事例について | 川崎市 | 関根 和樹 |
| N-4-1-3 | 大深度かつ長距離推進工法の設計段階におけるリスク予測と回避策 | 横浜市 | 五十嵐 瞭介 |
| N-4-1-4 | 軟弱地盤や連続急曲線区間等の施工条件下における雨水幹線整備の検討について | (公財)東京都都市づくり公社 | 阿部 寛乃 |
| N-4-1-5 | 幹線道路下における急曲線推進工法の設計事例について | 川崎市 | 三澤 功人 |
| N-4-1-6 | 市街地における泥水式シールド工法による長距離・急曲線施工とその対策 | 東京都 | 都築 弘晃 |
| N-4-1-7 | 泥土圧シールドによる下水道幹線工事の近接施工事例について | 札幌市 | 伊藤 潤哉 |
| ■15:20~17:30 N-4-2 管路(建設)(2) …8編 | | | |
| N-4-2-1 | 周辺環境に配慮した分水施設の縮小化について | 吹田市 | 南野 勇治 |
| N-4-2-2 | I市における汚水支線実施設計の事例報告 | パシフィックコンサルタンツ(株) | 齋藤 孟 |
| N-4-2-3 | 長大伏せ越し構造における水理現象に関する調査研究 | (公財)日本下水道新技術機構 | 山下 和也 |
| N-4-2-4 | 横浜駅周辺浸水対策事業の事業手法について | 横浜市 | 古山 貴之 |
| N-4-2-5 | 高温・薬品環境下における管きよ更生管のクリープ挙動 | (国研)土木研究所 | 中河 礼 |
| N-4-2-6 | 防食被覆工法「エコロガード工法」の活用事例と今後の課題・展望についての考察 | 東京都下水道サービス(株) | 長島 賢治 |
| N-4-2-7 | 管きよの改築・耐震化工事におけるデザインビルド方式の効果検証について | 堺市 | 薦田 圭史 |
| N-4-2-8 | 東京都都市づくり公社における「安全管理の見える化」の取組み | (公財)日本下水道新技術機構 | 木下 貴正 |

○令和7年7月30日(水)

| 発表番号 | 発表題名 | 所属 | 氏名 |
|--|--|------------|--------------|
| 第1会場 (コンベンションルーム1) | | | |
| ■10:00~11:55 S-9-1 DX(デジタル関連、AIなど)(1) …7編 | | | |
| S-9-1-1 | 下水道台帳管理システムを利用した災害調査情報の効果的な蓄積手法について | 京都市 | 谷尻 和貴 |
| S-9-1-2 | 上下水道管路施設情報の一元管理に向けたクラウドサービス活用の有用性について | 国際航業(株) | 費 健航 |
| S-9-1-3 | 区画割平面図のGIS化に伴う留意点 | (株)東京設計事務所 | 黒澤 拓未 |
| S-9-1-4 | システム構築による業務効率化へ向けた発注者としての取組(開発審査の事例) | 横浜市 | 林 里美 |
| S-9-1-5 | 高画質カメラ撮影画像のAI判定を活用した管内調査の効率化に関する研究 | 京都市 | 木上亮太郎 |
| S-9-1-6 | 下水道管路調査のための画像認識AI開発 | (株)Rist | 石 圭一郎 |
| S-9-1-7 | 下水管渠スクリーニング調査におけるAI異常判定支援アプリの実装に向けた取組み | (株)日水コン | 浦部 幹夫 |
| ■13:00~14:55 S-9-2 DX(デジタル関連、AIなど)(2) …7編 | | | |
| S-9-2-1 | MMS画像とAIを活用したマンホール蓋の効率的な維持管理手法の検証 | 日之出水道機器(株) | 山口 竜也 |
| S-9-2-2 | 機械学習を用いた下水道管における地域レベルの健全性推定モデルの構築 | 管清工業(株) | 亀田 瞬 |
| S-9-2-3 | 下水管渠内水位データを用いたAIと疑似流出解析の融合による水位予測手法の開発 | 東芝 | 山中 理 |
| S-9-2-4 | 水再生センターにおける定常業務のDX化検討について | 横浜市 | 川上 大介 |
| S-9-2-5 | タブレットを使用した点検の実施について | 堺市 | 河内 慶太 |
| S-9-2-6 | 施設台帳管理システムにおける対話型AIを活用したマネジメント支援の検討 | (株)NJS | 鈴木 陸馬 |
| S-9-2-7 | IPコンバーターを使用したアナログ専用線テレメーターのIP通信網への移行検証 | 静岡市 | 寺田 之翁 |
| 第2会場 (コンベンションルーム2) | | | |
| ■10:00~11:40 N-8-2 水処理技術(2) …6編 | | | |
| N-8-2-1 | 担体利用酸素循環式硝化脱窒法の性能評価及び省エネ可能性に関する調査 | 川崎市 | 栗原 知之 |
| N-8-2-2 | 嫌気槽に散気管を用いた反応槽のりん処理性能評価 | 東京都 | 池上 雄紀 |
| N-8-2-3 | 山崎水処理センターのりん処理状況の変遷とPAC注入量の適正化について | 名古屋市 | 野口 純樹 |
| N-8-2-4 | 省エネ型深槽曝気技術の実規模実証実験における省エネ効果および処理性能 | 前澤工業(株) | 中町 和雄 |
| N-8-2-5 | 省エネ型深槽曝気技術における過飽和ガス濃度測定による脱気効果の定量化 | 前澤工業(株) | ガンバト ゾルザヤ |
| N-8-2-6 | 省エネ型深槽曝気技術におけるオフガス測定方法の改良とその効果 | 前澤工業(株) | 石川 岳学 |

| 発表番号 | 発表題名 | 所属 | 氏名 |
|--|---|------------------|----------------------|
| ■13:00~15:10 S-4 震災対策…8編 | | | |
| S-4-1 | 2024年能登半島地震における下水道管路の被災状況 | 国土技術政策総合研究所 | 濱田 知幸 |
| S-4-2 | 令和6年能登半島地震の災害査定の効率化に向けた取組事例 | ㈱日水コン | 蝶名林郁也 |
| S-4-3 | 能登半島地震における下水道復旧支援活動 | 東京都下水道サービス㈱ | 佐藤 慶幸 |
| S-4-4 | 能登半島地震における当社災害復旧支援活動のノウハウ継承面からの評価 | クリアウォーターOSAKA㈱ | 池田健太郎 |
| S-4-5 | 令和6年能登半島地震の支援活動で得られた知見に基づく災害対応力向上の取組 | 東京都下水道サービス㈱ | 塚田 優人 |
| S-4-6 | 能登半島地震を踏まえた大阪市上下水道耐震化計画の策定について | 大阪市 | 松本 武士 |
| S-4-7 | 水管橋の耐震化における河川堤防への影響評価と対策工法について | 横浜市 | 小橋 江里 |
| S-4-8 | 災害時のトイレ問題におけるマンホールトイレの役割について | 北九州市 | 荒木 愛琴 |
| 第3会場 (B1会議室) | | | |
| ■10:00~11:55 S-7-4 地球温暖化/GX(4)…7編 | | | |
| S-7-4-1 | 低炭素型高機能コンクリートの耐硫酸性 | 日本ヒューム㈱ | 武藤あかね |
| S-7-4-2 | バイオマス燃料を用いたキュボラのカーボンニュートラルへの取組 | ㈱栗本鐵工所 | 太田 慧 |
| S-7-4-3 | 下水放流水が海藻類の成長に与える効果から試算したCO ₂ 削減量 | ㈱東京設計事務所 | 陳 芸澤 |
| S-7-4-4 | 下水処理場放流水に含まれる栄養塩類の海域への供給効果評価手法の検討 | ㈱東京設計事務所 | 高橋 真澄 |
| S-7-4-5 | 数値モデルによる栄養塩類のブルーカーボン生態系への影響評価システム | ㈱日立製作所 | 三宮 豊 |
| S-7-4-6 | 下水放流水成分による海藻生育への影響評価とモデル化 | ㈱日立製作所 | KENNETH TEOSZEKAI |
| S-7-4-7 | 実海域の栄養塩が海藻のブルーカーボン炭素固定に与える影響のモデル化 | ㈱日立製作所 | 陰山 晃治 |
| ■13:00~14:55 N-8-6 水処理技術(6)…7編 | | | |
| N-8-6-1 | UV-LEDによる下水処理水中のファージと大腸菌に関する不活化効果 | (国研)土木研究所 | 諏訪 守 |
| N-8-6-2 | 雨天時活性汚泥処理法(3W処理法)技術導入マニュアルの策定 | クリアウォーターOSAKA㈱ | 吉田 彩子 |
| N-8-6-3 | アンモニアセンサーを活用した循環式硝化脱窒法のHybrid ODEモデル解析 | 茨城大学 | 藤田 昌史 |
| N-8-6-4 | 流入停止時における処理能力維持を目指した曝気パターンの最適化と菌叢解析の活用 | 京都市 | 安倉 直希 |
| N-8-6-5 | 嫌気性正浸透法による下水濃縮過程での有機物動態 | 京都大学大学院 | 野村 洋平 |
| N-8-6-6 | ゼオライトを用いた下水処理水中のカビ臭物質の吸着とウナギ育成への活用 | 東京大学大学院 | 河内浩史朗 |
| N-8-6-7 | し尿・浄化槽汚泥無希釈投入実証実験による下水処理場への影響評価 | ㈱NJS | 青木 稜 |
| 第4会場 (B2会議室) | | | |
| ■10:00~12:10 N-2-4 雨水対策(4)…8編 | | | |
| N-2-4-1 | 地上設備を要しない下水道幹線流入量計測設備の設計について | 大阪市 | 松本 崇 |
| N-2-4-2 | 横越流堰直下流に設置した支柱の形状による分水機能の違い | 日本大学大学院 | 福島 健琉 |
| N-2-4-3 | 横越流堰下流端に設置した支柱形状が調整池内の気泡混入領域に与える影響 | 日本大学大学院 | 山崎龍之介 |
| N-2-4-4 | 雨水貯留管の合流改善との併用のための類型化降雨の発生頻度に基づく堰高運用方法 | ㈱NJS | 荻島 晃 |
| N-2-4-5 | 水防法に基づく内水ハザードマップの公表に向けた市町村支援の取組について | 大阪府 | 岡本 侑也 |
| N-2-4-6 | 簡易版中央監視クラウドシステムの導入と集中豪雨時等における効果について | 尼崎市 | 北浦 崇 |
| N-2-4-7 | 蓄電池等を用いた樋門の電動化・遠隔化技術に関する研究 | (公財)日本下水道新技術機構 | 中原 伸広 |
| N-2-4-8 | 蓄電池を用いた樋門の電動化・遠隔化システムの実証実験 | 荏原実業㈱ | 原田 典明 |
| ■13:00~14:40 S-5 集中豪雨対策…6編 | | | |
| S-5-1 | 汎用的な内水氾濫解析に向けた道路網をもとにした仮想下水道網の構築 | 京都大学大学院 | 松井 春樹 |
| S-5-2 | フルモデルと簡易モデルの解析結果を統合した内水浸水想定区域図作成事例 | 日本水工設計㈱ | 渡邊 優作 |
| S-5-3 | 3D都市モデルを用いた内水浸水想定取組事例紹介 | ㈱日水コン | 片山 知哉 |
| S-5-4 | 降灰後の豪雨を想定した下水管渠への細砂の流入が内水氾濫に及ぼす影響 | 早稲田大学 | 富山 陽向 |
| S-5-5 | 集中豪雨時におけるポータブル機材を駆使した、管路施設の動体・複合的監視 | ペンタフ㈱ | 土師 寛之 |
| S-5-6 | SAR衛星を活用した浸水検知の取組み事例紹介 | ㈱日水コン | 松本 幹太 |
| 第5会場 (B3会議室) | | | |
| ■10:00~11:40 E-1・E-2 新技術、計画と実施事例…6編 | | | |
| E-1、2-1 | Profiles of bacterial community and antibiotic resistance genes in hyperthermophilic composting method from sewage sludge | Kyoto University | Minh Ngoc PHAM |

| 発表番号 | 発表題名 | 所属 | 氏名 |
|--|--|--|-------------------|
| E-1、2-2 | A pilot-scale hybrid MABR study for enhanced nitrogen removal performance | National Taiwan University | Hsin-Chieh Lin |
| E-1、2-3 | Removing Earthy and Musty Odors in Secondary Effluent Using Ozone and Zeolite for Culturing Plecoglossus altivelis | The University of Tokyo | Viet-Dung Pham |
| E-1、2-4 | Management challenge practices and future prospects by separating public sewerage administration in Osaka City | クリアウォーターOSAKA(株) | 城居 宏 |
| E-1、2-5 | Overcoming the Challenges of Sewer Rehabilitation Work at Central Part of Singapore | PUB, Singapore's National Water Agency | Loh Wan Jing |
| E-1、2-6 | Investigating the Role of Functional Groups in Attachment to Activated Sludge via Gold Nanoparticle Models | Hokkaido University | Uthpala Kaushalya |
| ■13:00~15:10 N-3-3 環境・水リサイクル・水系水質リスク/分析技術(3) ... 8編 | | | |
| N-3-3-1 | 下水再生水が流れる河川中の大腸菌の挙動 | 北海道大学 | 佐藤 久 |
| N-3-3-2 | 大阪府流域下水道の処理場における大腸菌数と大腸菌群数との関係について | 大阪府 | 西本 尚矢 |
| N-3-3-3 | 排水基準の変更(大腸菌群数から大腸菌数)に係る自主管理基準設定の取り組み | クリアウォーターOSAKA(株) | 岸本 孝廣 |
| N-3-3-4 | 琵琶湖流域河川での薬剤耐性大腸菌及び耐性遺伝子の存在実態と大腸菌負荷源の検討 | 京都大学大学院 | 森野 暉康 |
| N-3-3-5 | モバイルリアルタイムPCRを用いた下水中薬剤耐性遺伝子の迅速検出法の開発 | 山梨大学大学院 | 平井聡一郎 |
| N-3-3-6 | 実下水処理場内の汚泥も含めたウイルス挙動の測定 | 国土技術政策総合研究所 | 松橋 学 |
| N-3-3-7 | 山梨県内におけるSARS-CoV-2等を対象とした下水疫学調査 | 山梨県 | 柳本 恵太 |
| N-3-3-8 | 札幌市における下水サーベイランスの取組事項について | 札幌市 | 太田 輝之 |
| 第6会場 (B8会議室) | | | |
| ■10:00~11:40 N-5-2 ポンプ場・処理場施設(建設)(2) ... 6編 | | | |
| N-5-2-1 | 処理能力に迫る流入量を抱える下水処理場の更新について | 日本水工設計(株) | 池田 佳祐 |
| N-5-2-2 | 反応タンク設備工事における処理能力確保のための検討事例 | 日本水工設計(株) | 川口 昭範 |
| N-5-2-3 | 狭小地における非常用発電設備・特高受変電設備を有する建築建屋の改築事例紹介 | 日本水工設計(株) | 上石 裕也 |
| N-5-2-4 | 三次元空間を活用した下水道施設設計の効率化事例報告 | 株NJS | 塩出 悠真 |
| N-5-2-5 | 新規に開発した技術の事後評価について ~先行待機形雨水ポンプを事例に~ | 東京都 | 豊田 晃徳 |
| N-5-2-6 | 吾嬭ポンプ所における設備工事の施工事例 | 東京都 | 小林 洋平 |
| ■13:00~14:40 S-7-3 地球温暖化/GX(3) ... 6編 | | | |
| S-7-3-1 | 主ポンプ定格運転と市場運動型電力プランによる省エネ・コスト削減の取組 | (公財)三重県下水道公社 | 中瀬 知佑 |
| S-7-3-2 | 処理場における太陽光発電をはじめとしたエネルギー最適利用の検討と効果 | 岡崎市 | 神谷 一樹 |
| S-7-3-3 | 下水処理場における省エネルギー型送風機および高効率散気装置導入検討事例 | (公財)日本下水道新技術機構 | 山本 真幸 |
| S-7-3-4 | 富士市西部浄化センターにおける自動制御と運転の最適化検討による省エネ化 | 株ウォーターエージェンシー | 池畑 将樹 |
| S-7-3-5 | 入江崎水処理センター西系における省エネに資する運転管理手法に関する調査 | 川崎市 | 小倉 勝己 |
| S-7-3-6 | 下水処理場における放流水質と消費エネルギーを考慮した最適な運転条件の検討 | 国土技術政策総合研究所 | 原田 美冬 |
| 第7会場 (B9会議室) | | | |
| ■10:00~11:55 N-7-1 ポンプ場・処理場施設(維持管理)(1) ... 7編 | | | |
| N-7-1-1 | 勝田沈砂池の作業環境改善と設備劣化対策に向けた硫化水素ガス発生原因調査 | 茨城県 | 小室真理子 |
| N-7-1-2 | マンホールポンプ運転監視システムを活用した不明水流入への取り組み | 堺市 | 南 風太 |
| N-7-1-3 | 消化汚泥脱水ろ液配管における閉塞抑制対策について | 福岡市 | 栗田 新也 |
| N-7-1-4 | 流入事故に備えた川崎市4水処理センターにおける流入水質の時間変動の基礎調査 | 川崎市 | 佐田 麻紀 |
| N-7-1-5 | 流入原水採水ポンプのし渣詰まり推定方法の確立による作業負荷低減 | メタウォーターサービス(株) | 大澤紘一郎 |
| N-7-1-6 | 下水道施設の管理台帳デジタル化による作業効率向上の提案 | 株パスコ | 岡本龍太郎 |
| N-7-1-7 | りん酸濃度計の不具合対策について | 東京都下水道サービス(株) | 竹谷 晃一 |
| ■13:00~14:40 N-7-2 ポンプ場・処理場施設(維持管理)(2) ... 6編 | | | |
| N-7-2-1 | 調査困難箇所(管)の調査手法に関する研究(主に処理場・ポンプ場での水中調査技術) | (公財)日本下水道新技術機構 | 吉田 聡 |
| N-7-2-2 | 画像センサーの活用による最終沈殿池の汚泥堆積状況の可視化 | 東京都下水道サービス(株) | 梶原 大聖 |
| N-7-2-3 | ドローンを用いた処理場維持管理の効率化について | 株パスコ | 戸嶋 亮 |
| N-7-2-4 | 点群データを用いた構造物の維持管理に関する検討事例 | 株東京設計事務所 | 望月 康平 |
| N-7-2-5 | プラントセキュリティに対する包括的な取り組みについて | 横河ソリューションサービス(株) | 伊豆 隆磨 |
| N-7-2-6 | 下水道施設における金属部材の点検及び腐食劣化の実態について | (国研)土木研究所 | 宮本 豊尚 |

○令和7年7月31日(木)

| 発表番号 | 発表題名 | 所属 | 氏名 |
|--|--|--------------------|-------|
| 第1会場 (コンベンションルーム1) | | | |
| ■10:00~11:40 S-9-3 DX (デジタル関連、AIなど) (3) …6編 | | | |
| S-9-3-1 | ロボットを用いた自動走行技術による下水道施設の巡回点検効率化 | 月島JFEアクアソリューション(株) | 山崎 健太 |
| S-9-3-2 | Lasso回帰と力学系理論による降雨予測情報を用いない流入量予測モデルの実証 | メタウォーター(株) | 中川 智仁 |
| S-9-3-3 | 改良型LSTMを用いた流入水量及び流入アンモニア負荷量の予測モデルの有効性 | 水ing(株) | 齊藤礼勇功 |
| S-9-3-4 | 日本下水道事業団が取り組む建設DXについて (1) ~BIM/CIM~ | (地共)日本下水道事業団 | 山田 裕史 |
| S-9-3-5 | 下水道施設におけるDX技術を活用した業務効率化について | 横浜市 | 黒田 双葉 |
| S-9-3-6 | 深層学習を用いた施設状況の空間再現と状態把握における復元手法の検討 | (株)フソウ | 相谷 明宏 |
| ■13:00~15:10 S-9-4 DX (デジタル関連、AIなど) (4) …8編 | | | |
| S-9-4-1 | クラウドを活用した下水処理場の省エネ実証試験 | 横河ソリューションサービス(株) | 川田 美香 |
| S-9-4-2 | 多因子最適化を用いた複数条件による運転計画を提示可能な揚水量ガイドダンス | 三菱電機(株) | 梅田 拓 |
| S-9-4-3 | 機械学習を用いた脱水機の運転支援システムの検証 | 水ing(株) | 飯倉 智弘 |
| S-9-4-4 | AIによる曝気風量自動制御において未学習条件が制御の挙動に及ぼす影響 | (地共)日本下水道事業団 | 山本 明広 |
| S-9-4-5 | AIを用いた雨水ポンプ場への雨水流入量の予測 | (株)日立製作所 | 崎村 茂寿 |
| S-9-4-6 | サーモカメラによるバイオガスエンジン異常検知システムの研究実証事例報告 (第2報) | 月島JFEアクアソリューション(株) | 大塚 晃司 |
| S-9-4-7 | AIを活用した下水処理場への流入量予測技術による雨水ポンプの運転支援 | (株)明電舎 | 徐 鄭 |
| S-9-4-8 | 下水道光ファイバーを活用したシアンモニター装置の開発 | (株)日立製作所 | 長谷川 匠 |
| ■15:20~17:15 S-9-5 DX (デジタル関連、AIなど) (5) …7編 | | | |
| S-9-5-1 | 横浜下水道DX戦略の取組みについて | 横浜市 | 藤田 匡 |
| S-9-5-2 | ドローン及び3D測量技術を活用した下水道施設の工事出来形検査への導入に向けて | 東京都 | 高山 章大 |
| S-9-5-3 | 横浜市における排水設備業務及び市民向け助成制度のDX推進に向けた取組み | 横浜市 | 山口 雄大 |
| S-9-5-4 | 池田市における会計システム電子決裁連携を中心としたDX推進 | 池田市 | 小林 洋治 |
| S-9-5-5 | クラウドサービス活用と広報活動による情報共有で受益者負担金事務の新たな次元 | 岡崎市 | 浮貝 悟 |
| S-9-5-6 | 排水管理教育の革新 ~資格認定講習会の効率化で未来を切り拓く~ | 神戸市 | 岸本 紘尚 |
| S-9-5-7 | 日本下水道事業団が取り組む建設DXについて (2) ~遠隔臨場~ | (地共)日本下水道事業団 | 奥泉 佳之 |
| 第2会場 (コンベンションルーム2) | | | |
| ■10:00~12:10 N-8-7 水処理技術 (7) …8編 | | | |
| N-8-7-1 | 腐植質添加が活性汚泥の性状および処理水質に与える影響 | 東京大学 | 宍戸 友哉 |
| N-8-7-2 | 塩分馴致した活性汚泥の高濃度塩分環境下での排水処理能力および菌叢解析 | 日本大学 | 土井 和希 |
| N-8-7-3 | 深芝処理場におけるベンゼン除去挙動の調査 | 茨城県 | 横山 秀樹 |
| N-8-7-4 | 微細オゾンを利用した色度除去技術の調査研究 | 京都市 | 今井 隆太 |
| N-8-7-5 | 回転繊維ユニットRBCを用いた下水処理システムに関するインドでの実証実験 | (株)NJS | 甘 長准 |
| N-8-7-6 | 膜処理を活用した下水中有機物/アンモニアの直接回収: N ₂ O発生の根絶 | 北海道大学大学院 | 木村 克輝 |
| N-8-7-7 | 模擬初沈越流水を対象としたファインバブル併用によるセラミック膜ろ過の運転評価 | メタウォーター(株) | 山崎 正志 |
| N-8-7-8 | 下水処理場における運転条件と活性汚泥中の微生物菌叢 | 三菱ケミカル(株) | 川岸 朋樹 |
| ■13:00~15:10 N-8-5 水処理技術 (5) …8編 | | | |
| N-8-5-1 | 最終沈殿池の処理能力向上技術の長期実証 - 低水温期における処理性能 - | (地共)日本下水道事業団 | 高田 祥暉 |
| N-8-5-2 | 最終沈殿池の処理能力向上技術の長期実証 - 量的・質的向上効果の両立 - | メタウォーター(株) | 五味 菜尋 |
| N-8-5-3 | 実下水を処理するMABR併用型活性汚泥法の立ち上げ状況 | 三機工業(株) | 松本 祐典 |
| N-8-5-4 | 2階層式最終沈殿池の常時流量増加における傾斜板ユニットの実証 | (株)日立プラントサービス | 浅見 匠洋 |
| N-8-5-5 | 横流式最終沈殿池の効率的運用に向けた一考察 | クリアウォーター-OSAKA(株) | 笹本 琢士 |
| N-8-5-6 | 最終沈殿池上澄水中の懸濁物質の沈降特性解析 | 北海道大学 | 信時 圭 |
| N-8-5-7 | 担体投入型活性汚泥法による既存水処理系列の能力増強について | 横浜市 | 猿橋 隆司 |
| N-8-5-8 | 担体を利用した脱炭素型水処理プロセスに関する実証研究 | 月島JFEアクアソリューション(株) | 馬場 圭 |

| 発表番号 | 発表題名 | 所属 | 氏名 |
|--|--|------------------|-------|
| ■15:20~17:15 N-8-4 水処理技術(4)…7編 | | | |
| N-8-4-1 | パイロットプラントを用いた処理水質とエネルギー消費量の最適化に関する検討 | 国土技術政策総合研究所 | 外川 弘典 |
| N-8-4-2 | 栄養塩管理下における冬季硝化抑制運転がもたらす水質と活性汚泥微生物群集の応答 | (国研)土木研究所 | 對馬 育夫 |
| N-8-4-3 | 下水処理の硝化抑制運転による省エネ効果の試算及びリン除去率の評価 | ㈱データベース | 内藤 稚菜 |
| N-8-4-4 | 通年硝化抑制運転が海域に及ぼす影響に関して | 明石市 | 増田 晴樹 |
| N-8-4-5 | 一槽式部分脱窒とアナモックスプロセスの迅速なスタートアップと窒素・リンの除去 | 東北大学大学院 | 陳 玉潔 |
| N-8-4-6 | 単槽型硝化脱窒プロセスにおける複数池一括制御の長期実証 | メタウォーター㈱ | 中 大輔 |
| N-8-4-7 | 統合演算制御システムによるアンモニア計を用いた曝気風量制御の検証 | メタウォーター㈱ | 堀野 太郎 |
| 第3会場 (B1会議室) | | | |
| ■10:00~11:25 S-2・S-3 国際協力・海外展開、BCP・リスクマネジメント…5編 | | | |
| S-2、3-1 | 国際事業の効果発現に向けたJICA事業の活用 | 川崎市 | 和地 妙 |
| S-2、3-2 | ウランバートル市上下水道公社での下水道管の維持管理・更新に係る人材育成の取組 | 東京都下水道サービス㈱ | 田淵 真也 |
| S-2、3-3 | カンボジア国プノンペン都で初となる公共下水処理場の整備と運転・維持管理支援 | 北九州市 | 住吉 薫 |
| S-2、3-4 | ロールプレイング方式図上訓練による下水道BCP向上効果に関する研究 | (公財)日本下水道新技術機構 | 古屋 勇治 |
| S-2、3-5 | 洪水時における病院のタイムライン検討 | ㈱日水コン | 富永 昌伸 |
| ■13:00~14:55 N-9-1 汚泥処理技術(1)…7編 | | | |
| N-9-1-1 | 小型ベルトプレス脱水機を用いたOD汚泥と草本系バイオマスの混合脱水特性 | (国研)土木研究所 | 高橋 啓太 |
| N-9-1-2 | 草本系バイオマスを活用した汚泥脱水性向上技術のOD法処理場への導入効果検討 | 国土技術政策総合研究所 | 青葉 隆仁 |
| N-9-1-3 | 同軸差動式スクリープレス脱水機による消化汚泥の脱水処理性能 | 水ingエンジニアリング㈱ | 鈴木真祐子 |
| N-9-1-4 | 奈良市平城浄化センターにおけるスクリープレス脱水機の自動制御システムの検証 | ㈱クボタ | 東 隆司 |
| N-9-1-5 | 消化汚泥の希釈加温脱水法によるポリ硫酸第二鉄の削減 | 月島JFEアクアソリューション㈱ | 宇田川諒太 |
| N-9-1-6 | 広域化・共同化に伴うし尿汚泥等受入後の低動力型高効率遠心脱水機による脱水事例 | 巴工業㈱ | 香川 直樹 |
| N-9-1-7 | プラチナシステムを導入した処理場における運転実績調査報告 | (公財)日本下水道新技術機構 | 沖口 裕真 |
| ■15:20~17:30 N-9-3 汚泥処理技術(3)…8編 | | | |
| N-9-3-1 | ストーカ式下水汚泥焼却炉の熱流体解析 | カナデビア㈱ | 田島 潤一 |
| N-9-3-2 | 焼却炉の安定稼働に向けた取組について | 東京都下水道サービス㈱ | 田邊 徹 |
| N-9-3-3 | 下水汚泥焼却炉の焼結対策 | 月島JFEアクアソリューション㈱ | 富田 遼 |
| N-9-3-4 | 消石灰添加による汚泥焼却炉の煙道閉塞抑制効果等の検証 | (公財)愛知水と緑の公社 | 畔柳 裕充 |
| N-9-3-5 | 面積収縮率を評価方法としたアルミニウム添加による煙道閉塞防止に向けた机上検証 | 東京都下水道サービス㈱ | 佐野 巧真 |
| N-9-3-6 | 焼却炉煙道閉塞防止対応について | 東京都下水道サービス㈱ | 小野 翔吾 |
| N-9-3-7 | 浅川水再生センターにおけるアルミニウム含有鉄剤の注入調査について | 東京都 | 河野 里名 |
| N-9-3-8 | 汚泥焼却炉の煙道閉塞に関する調査 ～下水汚泥成分等が及ぼす影響について～ | 東京都 | 島田 祐介 |
| 第4会場 (B2会議室) | | | |
| ■10:00~12:10 N-2-3 雨水対策(3)…8編 | | | |
| N-2-3-1 | 再度災害防止のための効率的な雨水対策施設に関する調査研究 | (公財)日本下水道新技術機構 | 関谷 大河 |
| N-2-3-2 | 水理模型実験と流出解析シミュレーションを併用した分水構造検討 | 東京都 | 青池 大介 |
| N-2-3-3 | データを活用した事前防災による浸水対策 ～横浜市下水道浸水対策プラン～ | 横浜市 | 堀田 誠治 |
| N-2-3-4 | 豪雨による浸水被害要因の検証と現状の雨水排水施設及び雨水対策の課題整理 | ㈱中央設計技術研究所 | 須藤 勢 |
| N-2-3-5 | 非定常な降雨資料を用いた水文頻度解析の事例 | 国土技術政策総合研究所 | 山本 拓也 |
| N-2-3-6 | 海外における雨水流出抑制施設の活用状況等に関する調査 | 国土技術政策総合研究所 | 松浦 達郎 |
| N-2-3-7 | 大都市東京の良好な水環境を実現する合流式下水道の改善(下水道法施行令対応) | 東京都 | 日高ちはる |
| N-2-3-8 | 合流式下水道の改善に向け下水処理場に導入した高速ろ過設備の運用について | 北九州市 | 川島 隼 |
| ■13:00~14:55 N-2-1 雨水対策(1)…7編 | | | |
| N-2-1-1 | 関連市町と連携したA流域下水道における雨天時浸入水対策計画の策定事例 | (公財)日本下水道新技術機構 | 寺地 裕康 |
| N-2-1-2 | 管路施設の雨天時浸入水対策実施計画に関する検討 | 神戸市 | 梶谷 友美 |
| N-2-1-3 | 雨天時浸入水に関する調査研究 | (公財)日本下水道新技術機構 | 佐藤 弘輔 |

| 発表番号 | 発表題名 | 所属 | 氏名 |
|---|--|------------------|--------|
| N-2-1-4 | 低コスト水位計を用いた雨天時浸入水調査について | 京都市 | 山本 耕平 |
| N-2-1-5 | ラインスクリーニングと浸入水検出AIによる雨天時浸入水の絞り込み調査の一事例 | 日本水工設計(株) | 今井 聡 |
| N-2-1-6 | 水位計と絞り込みAIによる絞り込み技術を用いた雨天時浸入水調査 | 日本水工設計(株) | 増子 宙 |
| N-2-1-7 | 合流式下水道の雨天時浸入水量の推定 | 中日本建設コンサルタント(株) | 山田 功雅 |
| ■15:20~17:30 N-2-2 雨水対策(2) …8編 | | | |
| N-2-2-1 | 低コスト水位計を用いた雨天時浸入水調査に関する研究 | (公財)日本下水道新技術機構 | 荒生 靖大 |
| N-2-2-2 | 雨天時浸入水中に存在する溶存有機物マーカー特定を試み | 北海道大学 | 森 秀俊 |
| N-2-2-3 | 分流式下水処理場における雨天時浸入水対策としてのポリマー利用に関する一考察 | (株)日水コン | 野田 慎治 |
| N-2-2-4 | 最終沈殿池能力の常時監視による浸入水対策 一汚泥界面沈降速度測定装置の開発一 | (株)日水コン | 小林 風太 |
| N-2-2-5 | 雨水管理方針におけるAHPに基づく重みづけ及び評価値に関する一考察 | (株)NJS | 新井 広基 |
| N-2-2-6 | 仙台市における流域治水推進の取り組み | 仙台市 | 田村 典大 |
| N-2-2-7 | 気候変動を踏まえた「大阪市下水道浸水対策計画2025」の策定について | 大阪市 | 大島 寛平 |
| N-2-2-8 | 分流地区における既存水路の施設再編を活用した雨水計画見直しへの取り組みについて | 尼崎市 | 田中 知樹 |
| 第5会場 (B3会議室) | | | |
| ■10:00~11:55 S-8-2 官民連携(2) …7編 | | | |
| S-8-2-1 | 下水道管路施設の調査から修繕までのマネジメントサイクルに関する一考察(3) | (株)ヤマソウ | 大淵 雄矢 |
| S-8-2-2 | 下水道管路維持管理包括委託における業務合理化を目指した取り組み事例 | 日本工営(株) | 押見 篤 |
| S-8-2-3 | 西遠コンセッション事業における第1期改築事業の振り返りについて | 浜松市 | 加藤 広康 |
| S-8-2-4 | アクアパークみずほの包括的民間委託による維持管理体制の構築について | 瑞穂市 | 工藤 浩昭 |
| S-8-2-5 | 下水道事業におけるバンドリング効果についての考察 | (株)日水コン | 松橋 勇輝 |
| S-8-2-6 | 下水道事業における生産性向上に向けた国際比較 一日本とフランスの事例研究一 | (株)NJS | 増本 天翔 |
| S-8-2-7 | 管路管理の包括的委託の導入事例を踏まえた多様な官民連携方式の推進に関する研究 | (公財)日本下水道新技術機構 | 愛甲 秀行 |
| ■13:00~15:10 S-8-1 官民連携(1) …8編 | | | |
| S-8-1-1 | 下水道管路管理業務における効果的な業務指標の設定方法 | (株)NJS | 武井 温社 |
| S-8-1-2 | 下水道管路における官一民一地域の連携によるウォーターPPPのあり方について | 管清工業(株) | 布施 京悟 |
| S-8-1-3 | 大分市WPPP検討におけるマーケットサウンディング調査結果に関する一考察 | 大分市 | 竹中 裕基 |
| S-8-1-4 | PPPによる小規模下水道事業体の経営支援方策に関する研究 | (株)クボタ | 那須 基 |
| S-8-1-5 | 既存包括事例を踏まえたウォーターPPP導入時に必要となる論点事項の整理と考察 | クリアウォーターOSAKA(株) | 伊藤 優一 |
| S-8-1-6 | 下水処理場の包括的管理業務における運営管理評価の取り組み成果と今後の展望 | クリアウォーターOSAKA(株) | 高橋 幸二 |
| S-8-1-7 | 海老江下水処理場3系I期水処理施設にハイブリッド方式を導入したことによる成果 | 大阪市 | 中島 拓郎 |
| S-8-1-8 | 持続可能な上下水道事業に向けたウォーターPPPの有効性と課題の考察 | 日本水工設計(株) | 田邊 義隆 |
| ■15:20~17:30 S-1 アセットマネジメント/ストックマネジメント…8編 | | | |
| S-1-1 | 下水道管きょ劣化データベースの拡充及びこれを用いた健全率予測式の精度向上に関する検討 | 国土技術政策総合研究所 | 富田 涼 |
| S-1-2 | 管渠の新たな調査判定基準 | オリジナル設計(株) | 青柳 武浩 |
| S-1-3 | 管渠の緊急度判定に代わる新たな健全度評価 | (株)NJS | 安齋 功樹 |
| S-1-4 | 管渠の新たな調査判定基準・健全度評価に基づく対策方法の選定 | (株)NJS | 岡田 一郎 |
| S-1-5 | ICTを活用し維持管理を起点としたストックマネジメント計画策定システムの構築 | 池田市 | 武内 裕哉 |
| S-1-6 | 長期的な再構築計画期間における劣化状況を踏まえた修繕・改築計画策定の一事例 | (株)東京設計事務所 | 中原 健太 |
| S-1-7 | 札幌市下水道改築基本方針の改定について | 札幌市 | 樋口 諒 |
| S-1-8 | PI指標を用いたイギリスOfwatのPR24における水会社の目標設定について | (株)日水コン | 山本 整 |
| 第6会場 (B8会議室) | | | |
| ■10:00~12:10 N-3-2 環境・水リサイクル・水系水質リスク/分析技術(2) …8編 | | | |
| N-3-2-1 | 実験施設排水を対象としたマイクロブズムWETと単一種WETの比較 | 千葉工業大学 | 村上 和仁 |
| N-3-2-2 | 下水道サンプルからの16S細菌叢解析 | 日本大学 | 平井 悦子 |
| N-3-2-3 | 活性汚泥のアンモニア酸化細菌量と硝化活性の関係について | 京都市 | 加々爪 郁子 |
| N-3-2-4 | シアン分析における妨害の発生と対策について | 福岡市 | 下田 佳裕 |
| N-3-2-5 | 消化ガス発生量の回分式試験方法の確立 | 大阪市 | 林 杏亮 |

| 発表番号 | 発表題名 | 所属 | 氏名 |
|--|--|-----------------------|--------|
| N-3-2-6 | ガスクロマトグラフ質量分析法における窒素ガスの適用可能性について | 大阪市 | 米倉 百音 |
| N-3-2-7 | 下水中の人工甘味料濃度による不明水の浸入箇所 の推定手法の検討 | 埼玉県環境科学国際センター | 竹峰 秀祐 |
| N-3-2-8 | Pythonによる事業場水質検査データの可視化を活用した事業場指導の推進 | 北九州市 | 池田 隆史 |
| ■13:00~14:25 N-1-2 経営・計画・広報(2) … 5編 | | | |
| N-1-2-1 | し尿処理共同化における、し尿受入手法の検討と課題について | 静岡市 | 高井 智紀 |
| N-1-2-2 | 水処理設備に投入したし尿・浄化槽汚泥が汚泥処理設備に与える影響 | 株式会社 | 赤阪 勇哉 |
| N-1-2-3 | 広域化の取組及びその効果について | 大分市 | 佐藤 一之 |
| N-1-2-4 | フランスにおける広域連携の動向と効果についての調査報告 | 株式会社 | 衛藤 匠吾 |
| N-1-2-5 | 管路台帳データを反映した枝線区画割及び枝線流量計算表の再設定 | 株式会社 | 紅露 雪江 |
| ■15:20~17:00 N-1-4 経営・計画・広報(4) … 6編 | | | |
| N-1-4-1 | クリアウォーター-OSAKAにおける技術開発・共同研究の取組方針について | クリアウォーター-OSAKA(株) | 岡本誠一郎 |
| N-1-4-2 | 「東京都都市づくり公社下水道部発足50周年」の歩み ～半世紀の実績と強み～ | (公財)東京都都市づくり公社 | 大脇 成史 |
| N-1-4-3 | 有機系廃棄物の水系処理による最適化 – 生ごみ減量機器としてのDPの評価 – | 東京農業大学 | 吉田 綾子 |
| N-1-4-4 | 有機系廃棄物の水系処理による最適化 – 資源循環へのDPの役割 – | 日本大学 | 森田 弘昭 |
| N-1-4-5 | 有機系廃棄物の水系処理による最適化 – 地域タイプによるDP導入効果の比較評価 – | 株式会社 | 鶴巻 峰夫 |
| N-1-4-6 | 地方公営企業法適用初年度における新設法人の納税義務の免除の特例規定について | 南毅治公認会計士・税理士事務所 | 南 毅治 |
| 第7会場 (B9会議室) | | | |
| ■10:00~11:40 S-7-2 地球温暖化/GX(2) … 6編 | | | |
| S-7-2-1 | 千葉市南部浄化センター汚泥焼却炉4号におけるN ₂ O削減技術実証試験 | 月島JFEアクアソリューション(株) | 浦部 雅総 |
| S-7-2-2 | エネルギー供給型焼却炉の導入に向けて | 東京都 | 橘 彩 |
| S-7-2-3 | 廃熱回収型高効率発電技術の自動制御システムに関する検証 | 川崎市 | 小泉 志郎 |
| S-7-2-4 | 都市屋上空間の太陽電池アレイの配置最適化 | 東京都 | 前迫 恒宏 |
| S-7-2-5 | 中・小規模処理場の太陽光発電設備の温室効果ガス削減ポテンシャルの検討 | (公財)日本下水道新技術機構 | 富田 麻未 |
| S-7-2-6 | 下水処理場遊休地でのPPA事業と下水熱利用植物栽培事業の経済性、環境性の評価 | 長岡技術科学大学 | 山本 温人 |
| ■13:00~14:40 N-6-1 管路(維持管理)(1) … 6編 | | | |
| N-6-1-1 | 「下水道管路調査機器カタログ」の更新及び調査機器の性能確認実験について | 国土技術政策総合研究所 | 細井 遵敬 |
| N-6-1-2 | 大口径管等の調査困難箇所(気相部)における劣化調査及び調査技術の適用性検証 | (公財)日本下水道新技術機構 | 小和田裕一 |
| N-6-1-3 | 大阪府安威川流域下水道における圧送管路の硫酸腐食調査事例について | 大阪府 | 鈴木 綾人 |
| N-6-1-4 | 管清掃とあわせたノズルカメラによる効率的なスクリーニング調査 | 横浜市 | 勅使川原朋宏 |
| N-6-1-5 | 下水道用カプセルカメラおよびスマートフォンを用いた管口カメラ調査方法の検討 | はるひ建設(株) | 平井 宏実 |
| N-6-1-6 | 老朽化した下水管の破損部分から浸入する土壌由来の蛍光性溶存有機物成分の特定 | 北海道大学大学院 | 中屋 佑紀 |
| ■15:20~17:15 N-6-2 管路(維持管理)(2) … 7編 | | | |
| N-6-2-1 | 下水道コンクリート構造物へ適用可能な耐食性自己修復コンクリートの曝露試験 | 株式会社 | 根岸 敦規 |
| N-6-2-2 | マンホール更生工法の課題と表面部材の要求性能の考察 | (公財)日本下水道新技術機構 | 河岸 岳人 |
| N-6-2-3 | 豪雨時におけるマンホール蓋の衝撃性能評価 ～落錘衝撃試験機による基礎的研究～ | 株式会社 | 柴田 章兵 |
| N-6-2-4 | 流出解析モデルを活用した管路腐食ポテンシャルの推定と道路陥没リスクの検討 | 株式会社 | 遠藤 雅也 |
| N-6-2-5 | 施設番号を座標と紐づけることによる精度の高いリスク管理手法について | クリアウォーター-OSAKA(株) | 池浦 友成 |
| N-6-2-6 | 重車両交通環境下での設計供用期間60年を目標としたマンホール蓋の検証事例 | 次世代型高品位グラウンドマンホール推進協会 | 橋本 徹 |
| N-6-2-7 | 下水道管路施設を対象とした劣化予測および評価手法に関する共同研究成果について | 大阪市 | 岡田 和貴 |



第39回下水道都道府県セミナー

都道府県職員を対象 下水道の理解促進と交流の場に

[主催] 公益社団法人 日本下水道協会（都道府県委員会）

[後援] 流域下水道都道府県協議会

[日時] 令和7年7月31日[Ⓟ] 13:30～16:40、8月1日[Ⓟ] 9:10～11:45

[場所] インテックス大阪 6号館 5階 ホールG

[テーマ] 官民連携推進（ウォーターPPP）※広域化・共同化を含む

[日程]

| 時間 | 項目 | 講師 |
|-------------|--|--|
| 13:15～13:30 | 受付 | |
| 13:30～13:35 | 開会（挨拶・概要説明） | |
| 13:35～14:30 | 講演① 下水道分野のウォーターPPPの推進について | 国土交通省 水管理・国土保全局 上下水道企画課 管理企画指導室 （上下水道審議官グループ） 官民連携推進係長 岸本健嗣 |
| 14:30～15:25 | 講演② 宮城県上工下一体官民連携運営事業について | 宮城県 企業局 水道経営課 水道事業推進専門監 佐々木健志 |
| 15:25～15:35 | 休憩 | |
| 15:35～16:30 | 講演③ 葉山町下水道事業ウォーターPPPの取り組みについて | 葉山町 環境部 下水道課 主査 秋本圭介 |
| 16:30～16:40 | 情報提供 （仮）日本下水道協会の取り組みについて | 公益社団法人 日本下水道協会 |
| 16:40 | 閉会 | |
| 9:00～9:10 | 受付 | |
| 9:10～9:20 | 開会（事務連絡等） | |
| 9:20～11:20 | グループディスカッション テーマ…官民連携の推進に資する都道府県の役割 ・各団体における取り組みの共有 ・官民連携の推進にあたっての課題 ・課題解決に向け必要な取り組み（アイデア） | 公益社団法人 日本下水道協会 |
| 11:20～11:45 | 意見発表（グループごとの発表を想定） | |
| 11:45 | 閉会 | |

Technologies & Products, etc

●下水道展 '25大阪 本紙が注目する今回必見の技術・製品等●

2025

誰もが知る定番商品や満を持してリリースの新製品、時代の変化に則した最先端の技術など、民間企業・団体が誇る製品・技術、提供サービス等がズラリと揃い、各社がPRを競う下水道展。限られた時間を有効にお使いいただけるよう、今年も本紙注目の出展アイテムをピックアップしてご紹介します。見学の準備をスマートに整えて、各ページ左下に記載した展示ブースをぜひお訪ねください。

- ③4 阿南電機(株) ウルトラパッチ (FRPシート)
- ③5 阿南電機(株) ウルトラワックステープ
- ③6 (株)石垣 ハイブリッド型圧入式スクリュープレス ISGK V
- ③7 稲畑産業(株)／(株)片岡バイオ研究所／小松マテール(株) “Bellefomer®”で余剰汚泥を最大100%削減!
- ③8 ヴェオリア・ジェネッツ(株) 下水汚泥肥料化のパッケージソリューション
- ③9 ヴェオリア・ジェネッツ(株)／(株)西原環境 「リンポープロセス」「MBBR Pack」
- ④0 SDライナー工法協会 管きよ更生工法 ～都市再生の礎～
- ④1 FFT工法協会 光硬化 ハイレイズ工法
- ④2 (株)NJS Connected Collector【コネクテッドコレクター】
- ④3 (株)NJS IoT型マンホールセンサーシステム SkyManhole®
- ④4 (株)NJS 統合型インフラ管理システム SkyScraper®
- ④5 (株)NJS 水中ドローン WATERi®と Water Slider®
- ④6 荏原実業(株) Eba-Pras (エバプラス)／Eba-Pras S
- ④7 北川工業(株) 目視型腐食センサ Silver Scale™
- ④8 クリスタルライニング工法協会 クリスタルライニング工法
- ④9 (株)三水コンサルタント 三水コンサルタントの下水道維持管理システム
- ⑤0 三洋貿易(株) 非破壊光学式溶存酸素計 OXY-1 SMA
- ⑤1 新明和工業(株) ポンプ場クラウド監視システム
- ⑤2 水ing(株)／水ingエンジニアリング(株) 同軸差動式スクリュープレス脱水機
- ⑤3 スズテック(株) SUZUTECHの3Dソリューション
- ⑤4 (一社)セイフティーフラット工法協会 セーフティーフラット工法
- ⑤5 積水化学工業(株) SPR-SE工法エキスパンダタイプ
- ⑤6 大同特殊鋼(株) 下水汚泥の超高温炭化システム
- ⑤7 大太平洋機工(株)／ラサ商事(株) SUPER BETSY
- ⑤8 (株)タクミナ 下水処理場用スムーズフローポンプ
- ⑤9 (株)中央設計技術研究所 給排水オンライン申請システム
- ⑥0 月島JFEアクアソリューション(株) 事業統合によるシナジーの創出
- ⑥1 月島ジェイテクノメンテサービス(株) ロタカット®
- ⑥2 東亜グラウト工業(株) 東亜グラウト工業が上下水道管路の維持管理を支える
- ⑥3 DO-Jet工法研究会 DO-Jet工法
- ⑥4 巴工業(株) 低動力型高効率遠心脱水機 HED型
- ⑥5 巴工業(株) 自動薬注制御システム
- ⑥6 (株)日水コン クラウドサービス Blitz (ブリッツ)
- ⑥7 (株)日水コン AIを活用した下水道管路管理
- ⑥8 日本SPR工法協会 SPR工法
- ⑥9 日本水工設計(株) 新しい「業務効率化」のカタチ
- ⑦0 パルテム技術協会 パルテム・フローリング工法
- ⑦1 パルテム技術協会 パルテムSZ工法
- ⑦2 ブルーイノベーション(株)／Flyability SA 「ELIOS 3」を活用した下水道点検技術
- ⑦3 兵神装備(株) インライン型破砕機 モーノカッター
- ⑦4 前澤工業(株) アトラスコプロZSブロワ／ミライエ堆肥化プラント
- ⑦5 (株)明電舎 高効率最初沈殿池による下水エネルギー回収技術
- ⑦6 安原環境テクノロジー(株) 重力式酸素溶解器 DO-MAX Falls (ディーオーマックス フォールズ)
- ⑦7 横河ソリューションサービス(株) 最適操業支援サービス DDMOnEX
- ⑦8 (株)ワット・コンサルティング ドローン点検と3Dデータ活用

※各ページ上・品目名左側の      等の各アイコンは、出展会社・団体の展示ブースが置かれた業種別ゾーンを示すもので、本コーナーでご紹介している技術・製品等の性格とは必ずしも一致しません。

出展ゾーン

維持
管理

ウルトラパッチ (FRPシート)

「水漏れ」「エア漏れ」「老朽配管長寿命化」

『ウルトラパッチ』は、ゴムのように柔らかいFRPシートが太陽光などの紫外線に触れることにより施工対象物に強力に接着しながら強固に硬化し、腐食部・欠損部の補修を可能にしました。

当社で扱っているフィックスオールパテ（止水パテ）・アクリル系シーリング剤等を併用する事で運転中の漏水補修などのより高度な補修ができます。当社による工事も承ります。

機械棟返送汚泥配管 延命工事



下水管渠(水管橋) 欠損部 補修工事



【補修例】

(下水) 汚泥配管、曝気管、下水水管橋、脱臭ダクト、マイスト水移動配管、脱水ケーキ定量フィーダ、沈砂コンベヤ、スカム槽ダクト 他

(浄水) 水管橋外面被覆、空気弁根本、取水配管地際部、浄水場内配管・タンク、欠損部の復旧（内面更生工事の前処置として） 他

【特長】

- 簡単施工かつ均一な仕上がり
- 鉄、鋳鉄、塩ビ、ステンレス、FRP、コンクリートなど施工対象物を選ばず補修が可能
- 配管耐圧 12kg/cm² (試験値)
- 施工後には、各種塗装も可能
- 「水道用資機材浸出試験 (JWWA Z 108)」、「食品衛生法、食品添加物の規格基準」に適合

浄化センター脱硫塔 腐食穴補修工事



【実績】

- 当社による工事実績：約720件
- 材料販売：多数

小間番号

■ 2号館 ■

2-114

【出展者】 阿南電機(株)

【所在地】 〒530-0041 大阪市北区天神橋3-6-26 扇町パークビル

【連絡先】 TEL: 06-6353-6640 Eメール: info@anandenki.co.jp

担当部署: 営業3部

出展ゾーン

維持
管理

ウルトラワックステープ

環境遮断型テープ (素地調整は浮き錆除去のみでOK)

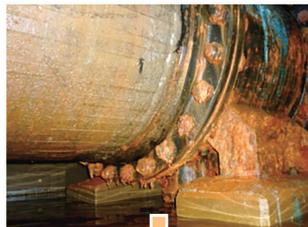
【ウルトラワックステープの特徴】

- 期待耐用年数40年
- 世界最高水準の防食性 (ISO 12944-2に定める過酷な複合サイクル試験を4200時間も実施)
- マイクロクリスタリン (JIS K2235石油系ワックス) を主成分とした防食剤を不織布に含浸させた新技術です。
- 手工具 (ワイヤーブラシ等) による錆び落としでOK
- 粘土のように成形性が良く、フランジなど複雑な形状への施工が簡単
- 基本的にマスチック (パテ) は不要
- 専用プライマー塗布 → ワックステープ貼付の2工程のみ
- 耐候性・耐薬品性あり

【用途】

- ・基部 (照明柱、パンザーマスト、鉄塔など)
- ・プラント設備の配管、バルブ、フランジ
- ・埋設管、水管橋
- ・橋梁、鉄道構造物
- ・タンク
- ・海洋構造物 その他

23年経過後も状態良好



ウルトラワックステープ



鋼管600A 水管橋70m長
(管体及び漏水補修金具への施工)



小間番号

■ 2号館 ■

2-114

【出展者】 阿南電機(株)

【所在地】 〒530-0041 大阪市北区天神橋3-6-26 扇町パークビル

【連絡先】 TEL: 06-6353-6640 Eメール: info@anandenki.co.jp

担当部署: 営業3部

出展ゾーン



ハイブリッド型圧入式スクリーンプレス ISGK V

圧倒的な実績 イシガキのスクリーンプレスシリーズ

【概要】

下水処理施設は「資源・エネルギー循環形成」の拠点としての役割が期待され、処理により発生する汚泥の脱水ケーキの低含水率化も重要なファクターとなっておりつつあります。

圧入式スクリーンプレス脱水機は優れた脱水能力に加えて省エネ性、維持管理の容易性が評価され、シリーズ総計の全国の下水処理場での納入台数が累計600台以上となりました。

イシガキのスクリーンプレスシリーズの中核となる「ハイブリッド型圧入式スクリーンプレス脱水機ISGK V」は低含水率化だけでなく、安定運転を可能にしたことで、下水汚泥の「資源・エネルギー化に貢献します。

【構造】

従来の圧入式スクリーンプレス脱水機では一体化させていた脱水機構を、濃縮部と脱水部に分離・独立させており、それぞれに最適制御が可能な運転を実現しました。



圧入式スクリーンプレス ISGK V

特に濃縮部の独立制御は安定運転には欠かせず、汚泥性状の変動にも強みを発揮することが可能となりました。

【特長】

①多様なアプリケーション

当社の最新技術、下水汚泥由来繊維利活用システム（プラチナシステム）との連携、無機凝集剤後添加方式を採用した二液調質など、含水率低減・脱水効率向上のための多様なアプリケーション技術が提供できます。

②低含水率化で汚泥処分費を低減

単体のスクリーンプレスとして従来機種よりも低含水率化が可能（当社従来比 -2ポイント）で、さらに汚泥処分費を削減出来ます。

③従来の圧入式スクリーンプレス脱水機の優れた特長を継承

- ・消費電力が少ない
- ・騒音、振動の心配が無い
- ・金属スクリーンを採用（部品長寿命）
- ・密閉構造である（臭気対策が容易）

なお、イシガキのスクリーンプレスISGKシリーズは、一般社団法人日本産業機械工業会が主催する優秀環境装置表彰事業において、第40回、第44回の会長賞を得るなど、各方面で高い評価をいただいています。

ハイブリッド型圧入式スクリーンプレス脱水機
製品説明動画

小間番号

■ 3号館 ■

3-121

【出展者】(株)石垣

【所在地】〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-5

【連絡先】TEL：03-6848-7821 Eメール：spokes@ishigaki.co.jp

担当部署：環境機械事業部 事業推進本部 管理部

出展ゾーン

下水
処理

“Bellefomer[®]”で余剰汚泥を最大100%削減！

「排水処理に余剰汚泥は付きもの」の常識を覆し、未来を変えるバイオ製剤

1. はじめに

人々の生活、企業の生産活動をおこなう上で排水処理場は必要不可欠です。しかし、排水処理をおこなうと大量の余剰汚泥が排出され、多大な労力・費用をかけて産業廃棄物として処分されています。

Bellefomer[®]は処理水質を良好に維持したまま、これまで当たり前とされてきた余剰汚泥の大量発生をなくし、排水処理の未来を変える画期的な技術です。



図1 バイオ製剤 Bellefomer[®]

2. 概要

Bellefomer[®]は汚泥分解酵素を分泌する微生物群で構成された製剤です。排水処理場の曝気槽などに投入して適切な運転管理をおこなうことで、効率的に分解酵素を分泌します。この分解酵素が汚泥中の死菌に対し選択的にはたらき、分解することで余剰汚泥の発生を最大で100%削減します。

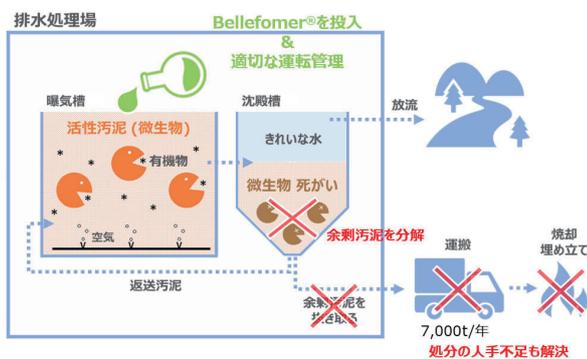


図2 バイオ製剤投入による効果

3. 特長

①排水処理に合わせたオリジナルブレンド

排水処理は処理方式・設備・排水種など多種多様です。お客様の排水と活性汚泥を用いたバッチ試験により、効果の高いブレンドを選定し提供します。

②豊富な技術サポート

排水データの分析・活性汚泥の顕微鏡観察などをおこない Bellefomer[®]の汚泥減容効果が最大限発揮される環境づくりの運転管理フォローを行います。

③高い安全性

Bellefomer[®]にブレンドされている微生物は遺伝子組換えをおこなっていない安全な微生物です。生菌は残し死菌を選択的に分解するため処理水へ影響を与えません。

④設備投資不要

曝気槽などに Bellefomer[®]を直接投入することで運用可能なため、新規設備や設備改造は不要です。

4. おわりに

Bellefomer[®]は産業廃棄物の削減、環境負荷の低減だけでなく、コスト削減、処分に関わる人手不足の解消にも貢献する技術です。私たちは Bellefomer[®]でこれまで当たり前とされてきた余剰汚泥の大量発生をなくし、排水処理の未来を変えていきます。

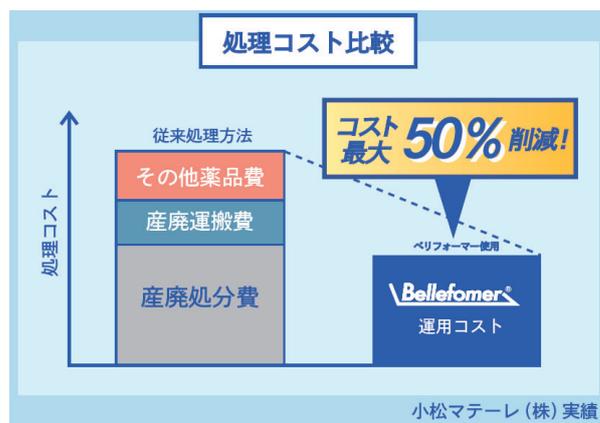


図3 コスト削減効果例

小間番号

■ 3号館 ■

3-114

【出展者】 稲畑産業(株) / (株)片岡バイオ研究所 / 小松マテーレ(株)

【所在地】 〒103-8448 東京都中央区日本橋室町2-3-1

【連絡先】 TEL: 080-8923-0381 Eメール: fukuda.shogo@inabata.com

担当部署: 生活産業本部 食品部 第二開発課

出展ゾーン

下水
処理

下水汚泥肥料化のパッケージソリューション

安全で良質な下水汚泥肥料を生産し、持続可能な社会に貢献

下水処理場から資源工場へ ヴェオリアの“エコファクトリー”構想

ヴェオリアグループは下水処理場を単なる汚水処理施設から資源を生み出す工場“エコファクトリー”へとその価値を高めることを目指し、世界中で活動しています。なかでも下水汚泥の肥料利用は重要な取り組みの一つで、日本においてもこのたび「木更津市下水汚泥堆肥化施設整備事業」を受注し、4月より事業を開始しました。

汚泥肥料化事業のトップランナー Veolia Agriculture France

当社グループは長年にわたり、この分野におけるノウハウを蓄積しています。ヴェオリアのグループ企業である Veolia Agriculture France は、フランス国内で30年以上にわたり下水汚泥の肥料化事業に取り組んできました。現在はフランス各地で汚泥肥料化施設を運営し、年間360万トン以上の有機廃棄物を肥料化、全量が農業利用されています。同社では「利用者目線の肥料製造」「安全・安心を担保する品質管理体制」「肥料製造から農地利用までの全過程を見える化するトレーサビリティシステムの構築・運用」を肥料化事業継続のための重要なファクターと捉えています。

良質な肥料は、良質な汚泥から HUBGRADE™ SMART Bio-P

りん除去に特化した技術も有しています。「HUBGRADE SMART Bio-P」は、流入負荷変動に応じたばっ気風量や返送汚泥量等、複数の運転パラメーターをリアルタイムに制御する運転管理ソフトです。OD法や標準活性汚泥法でも生物学的りん除去を促進し、汚泥中のりん濃度を向上させることで、汚泥肥料の品質向上を実現します。

下水汚泥の肥料化を通じて、地域に貢献 木更津市下水汚泥堆肥化施設整備事業

【事業の概要】

- ・事業目的：下水汚泥の全量有効利用による未利用資源の有効利用
下水汚泥堆肥化物の緑農地利用による「オーガニックなまちづくり」の構築
- ・事業場所：木更津下水処理場内
- ・事業期間：2025年4月1日～2047年3月31日
- ・設計・建設期間：2025年4月1日～
2027年3月31日
- ・維持管理期間：2027年4月1日～
2047年3月31日
- ・処理能力：年8650.5トン（脱水汚泥）
- ・事業者：きさらづ地域資源共生アライアンス
（代表企業：株式会社西原環境）

【提案の特長】

- ・つくる：安全安心で高品質なコンポスト製造と脱炭素を両立
- ・つなげる：地域での肥料利用促進と地域貢献
- ・ひろめる：木更津市の掲げる「オーガニックなまちづくり」をともに推進



小間番号

■ 3号館 ■

3-216

【出展者】 ヴェオリア・ジェネッツ(株)

【所在地】 〒108-0022 東京都港区海岸3-20-20 ヨコソーレインボータワー

【連絡先】 TEL：03-6858-3300 Eメール：jp.adm.bd-contacts.int.groups@veolia.com

担当部署：官需事業開発本部

出展ゾーン

下水
処理

「リンポープロセス」 「MBBR Pack」

下水処理施設の効率的な再構築を実現する2つの担体技術

担体投入活性汚泥法「リンポープロセス」

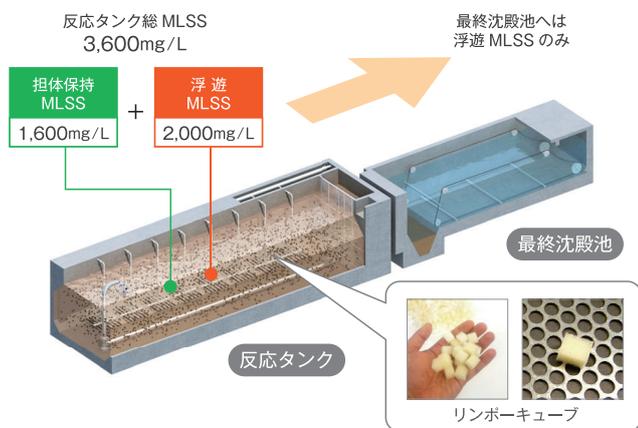
#処理量アップ #既存施設の活用 #コスト縮減

仮設污水处理ユニット「MBBR Pack」

#仮設污水处理 #コスト縮減

【技術の概要】

「リンポープロセス」は微生物を保持した担体（リンポーキューブ）を標準活性汚泥法の反応タンクに投入し、水処理機能を向上させる技術です。



【特長】

- ・同じ水槽容量で処理能力を1.5倍程度アップ
- ・同じ水槽容量および処理能力で高度処理化が可能
- ・担体サイズが大きくスクリーン閉塞が起こらない
- ・全国の下水処理場に長期稼働実績を持つ

| | | |
|----|-----|----|
| 初沈 | 標準法 | 終沈 |
| 初沈 | 標準法 | 終沈 |
| 初沈 | 標準法 | 終沈 |

反応タンク設備の改造

| | | |
|----|-------|----|
| 初沈 | 担体投入法 | 終沈 |
| 初沈 | 担体投入法 | 終沈 |
| 初沈 | 担体投入法 | 終沈 |

増設不要



処理水量増に対応する場合、既存水処理1系列あたりの処理能力を上げることで、新たな系列の増設が不要になります。

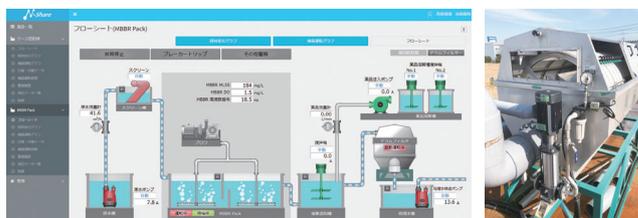
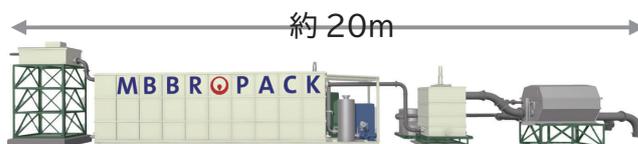
【技術の概要】

「MBBR Pack」は散気装置付きの鋼板製水槽と担体、ブロウ、制御盤が一体となった可搬式の仮設污水处理装置です。1基で1,000m³/日の処理能力を持ち、水処理施設の更新工事における仮設水処理として活用できます。



【特長】

- ・初沈流出水に対して1,000m³/日の処理能力
- ・移動と設置が容易なユニット型
- ・複数基配置によりさらに大きな水量にも対応可能
- ・環境に配慮した機能的な担体
- ・操作因子は流入水量とDOのみで運転管理がシンプル
- ・常時監視可能な遠隔監視システムを実装



小間番号

■ 3号館 ■

3-216

【出展者】 ヴェオリア・ジェネッツ(株)／(株)西原環境

【所在地】 〒108-0022 東京都港区海岸3-20-20 ヨコソーレインボータワー

【連絡先】 TEL: 03-3455-4718 Eメール: ne-marketing@nishihara.co.jp

担当部署: (株)西原環境 営業推進部

出展ゾーン

建設

管きょ更生工法 ～都市再生の礎～

SDライナー工法<F+VE>・SDライナーⅡ工法<G+VE>

■ 特徴

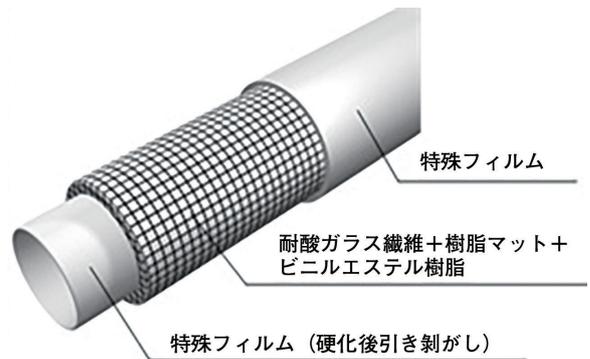
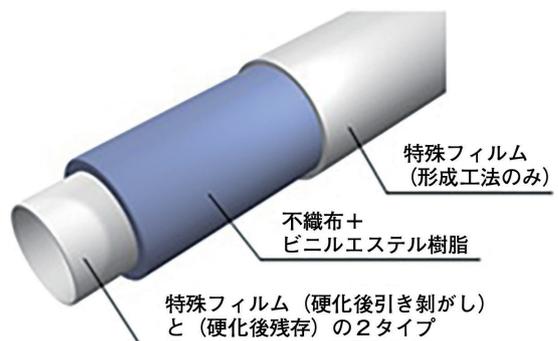
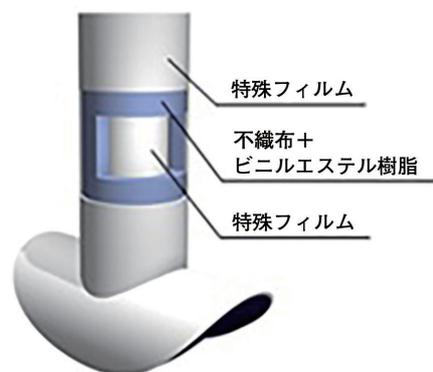
- ◆改築（更新・長寿命化対策）から修繕（補修）までのニーズに対応
- ◆熱硬化性樹脂に耐薬品性に優れた**ビニルエステル樹脂**を使用
- ◆地盤変位に伴う既設管への追従性を有する柔・剛あわせ持つ管きょ更生工法
- ◆「管きょ更生工法における設計・施工管理ガイドライン - 2017年版 -」に適用

■ 工法別の特徴

- ◆SDライナー工法<F+VE>
 - ・基材に不織布を使用
 - ・本管単体、取付管単体、取付管と本管との一体化の3種類の施工が可能
 - ・現場状況に応じて施工方法に形成工法と反転工法、硬化方法に蒸気硬化と温水硬化の選択が可能
 - ・反転工法は、本管と取付管を一体化更生することにより、接合部は水密性と止水性を有する
- ◆SDライナーⅡ工法<G+VE>
 - ・基材に耐酸ガラス繊維を使用
 - ・耐酸ガラス繊維を軸方向と周方向に均等に配置することにより、どちらの方向でも同等に高強度を発揮する
 - ・施工方法は形成工法のみで、硬化方法は蒸気硬化と温水硬化の選択が可能

■ 施工実績（2025年4月現在）

- ◆SDライナー工法<F+VE>
 - ・本管：124,837.7 m ・取付管：12,001 箇所
- ◆SDライナーⅡ工法<G+VE>
 - ・本管：43,973.8 m

SDライナーⅡ工法<G+VE>
本管材料構成SDライナー工法<F+VE>
本管材料構成SDライナー工法<F+VE>
取付管材料構成

小間番号

■ 2号館 ■

2-325

【出展者】SDライナー工法協会

【所在地】〒370-0071 群馬県高崎市小八木町310-1

【連絡先】TEL：027-329-7378 Eメール：sd-liner@dan.wind.ne.jp

担当部署：事務局

ホームページはこちら→



出展ゾーン

建設

光硬化 ハイレイズ工法

～環境にやさしく 確かな品質～

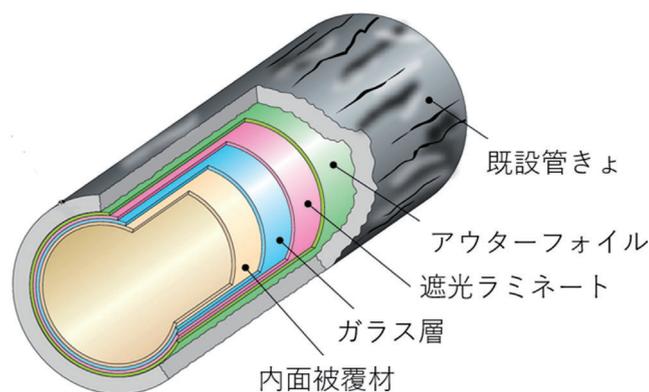
【概要】

ハイレイズ工法は、光硬化の技術を用いて、損傷や腐食した下水道管きよ内部に、非開削でFRPパイプを構築する更生工法です。耐酸性を有するガラス繊維を積層した高強度のガラス基材に、光硬化性樹脂を含浸させた更生材（ハイレイズライナー）をマンホールから既設管きよ内に引き込み、空気圧で拡張して既設管に密着させた後、光照射装置によって所定の時間光照射することで硬化させ、FRPパイプを構築します。

【適用範囲】

- ・管 種：鉄筋コンクリート管、陶管、鋼管、鋳鉄管、硬質塩化ビニル管
- ・管 径：呼び径200～800
(鉄筋コンクリート管、鋼管、鋳鉄管)
呼び径200～600
(陶管、硬質塩化ビニル管)
- ・施工延長：100m
- ・段 差：30mm以下
- ・隙 間：110mm以下
- ・屈 曲 角：10°以下
- ・滞 留 水：100mm以下
- ・浸 入 水：2L/min以下

【材料構成図】

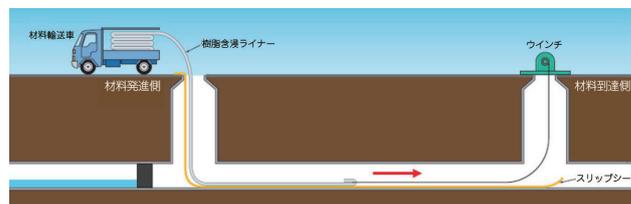


【特長】

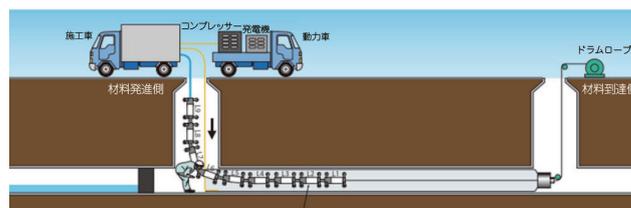
- ①長期曲げ弾性率が16,800MPa以上と**高強度**であり、当協会従来技術のFFT-S工法 Gタイプから最大35%**薄肉化**。
- ②FFT-S工法 Gタイプと比較して、約2～3時間の**硬化時間短縮**が可能（φ200～300延長30m相当の場合は約30分の照射時間で施工が完了となります）。
- ③特定の波長の光で硬化する為、**熱硬化工法**に比べて**浸入水等による硬化への影響を受けにくい**。
- ④光照射装置に搭載されたカメラで、更生管の内面状態を確認しながらの施工が可能。
- ⑤ハイレイズライナーは温度管理が不要で、**製造後3ヵ月の保管**が可能。
- ⑥FFT-S工法と比較して、**硬化時のCO₂排出量が少なく**、環境にやさしい。

【施工工程】

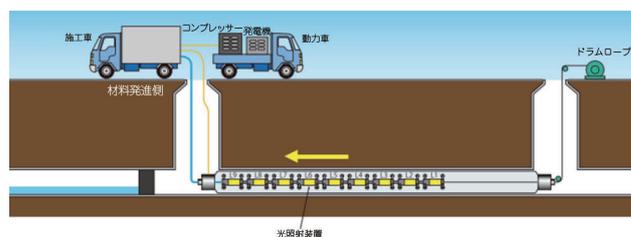
ハイレイズライナーの引込



光照射装置の挿入



ハイレイズライナーの硬化



小間番号

■ 2号館 ■

2-337

【出展者】FFT工法協会

【所在地】〒530-0001 大阪市北区梅田3-1-3 ノースゲートビルディング25F

【連絡先】TEL: 06-6453-7170 Eメール: fftinfo@fft-s.gr.jp

担当部署: 大阪事務局

出展ゾーン

計
測

Connected Collector【コネクテッドコレクター】

IoTセンサーによる広域的な設備状態監視システム

(低速から高速及び水中設備まで、あらゆる動的設備へのIoTセンサー設置による一括した予防保全管理の実現)

1. Connected Collectorとは

Connected Collectorは、IoT・ネットワーク技術で、各設備とNJSデータ解析センターを結び付け(Connected)、設備の劣化状態を常時収集(Collector)・診断し、上下水道処理設備の広域的な設備状態監視をサポートするシステムです。

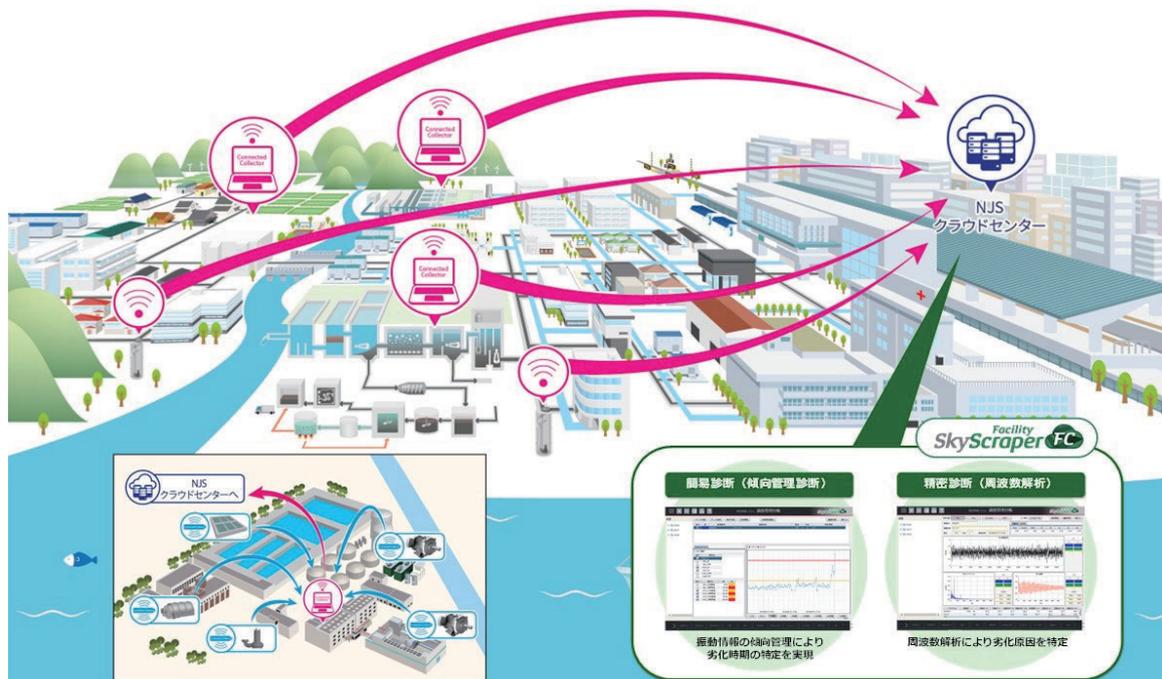
2. Connected Collectorの特徴及び導入効果

- ①【低速回転機器にも対応】高速回転機器に加え汚泥かき寄せ機のような低速回転機器も対応可能です。
- ②【水中回転機器にも対応】陸上機器に加え水中機器(主に水中ポンプ)も対応可能なよう開発中です。
- ③【効率的な予防保全の実現】振動センサーからの信号をNJSデータ解析センターに集め、各設備の劣化状態をリアルタイムで監視し、突発的な故障を防ぎます。
- ④【設備劣化の傾向管理】NJSデータ解析センターでは、簡易診断(傾向管理診断)、精密診断(周波数解析)等を確認することができます。劣化情報を蓄積することで、設備劣化の傾向管理が可能となります。

振動センサーは、下記表1に示すとおりです。

表1 センサーの仕様及び適用範囲

| 構成 | 測定方式 | 無線センサー常設型 | ポータブル巡回型(有線) | |
|--------|---------|---|----------------------------------|------|
| | 対応設備 | 高速回転 | 高速回転 | 低速回転 |
| 診断解析項目 | | 傾向管理・波形解析・精密診断 | | |
| 外観イメージ | |  | | |
| センサー | 測定項目 | 加速度・速度・温度 | 加速度・速度 | |
| | 測定周波数範囲 | 加速度: 10Hz~10kHz 速度: 10Hz~1kHz | 加速度: 1kHz~10kHz 速度: 10Hz~1kHz | |
| | 測定温度範囲 | -20~85°C | - | |
| | 無線通信周波数 | 920MHz帯域 (LoRa) | - | |
| | センサー寸法 | φ35×H100 | φ17×H80 | |
| | 電源 | バッテリー(リチウム電池) | タブレットから電源供給 | |
| | 保護等級 | IP67(防滴・防水) | - | |
| | 設置方法 | マグネット M6ネジ固定 接着剤 | マグネット固定 | |
| | 取扱管理項目 | 約3~4年周期で電池交換 電池残量はHi、Mid(交換レベル)、Lo(限界)で表示 | - | |



小間番号

■ 1号館 ■

1-219

【出展者】(株)NJS

【所在地】〒105-0023 東京都港区芝浦1-1-1

【連絡先】TEL: 03-6324-4307 Eメール: technical@njs.co.jp

担当部署: 東京総合事務所 プラント1部

出展ゾーン

設計
測量IoT型マンホールセンサーシステム SkyManhole®
雨水管理のDXを推進し防災・減災を強力にサポート

SkyManhole®の特徴

下水管内の水位等を低コスト・広範囲にモニタリングするシステムです。今般増加している都市型水害や雨天時浸入水等をリアルタイムモニタリングし、当社クラウドシステム（SkyScraper®：雨量情報、管路情報、AI分析機能等）との連携により、管路施設の最適化を推進します。



装置外観



マンホール内設置の様子

●低消費電力・長時間稼働

セルラーLPWAの活用と、管内水位に応じた通信制御による低消費電力化により長期間のバッテリー駆動が可能です。また、外部接続可能な電源BOX（オプション）を追加することで稼働時間を約二倍に延長することが可能です。

●広範囲の水位情報収集

LTE-Mが利用可能なエリアは従来のLTE（4G）と同等であり、LTEサービスが提供される広範囲なエリアの水位情報が収集可能です。

●低コスト・短期導入

電源工事が不要、且つ、設置される人孔内からLTE基地局に直接接続するため、親局の設置も不要なため低コスト・短期間導入が可能です。

●2通りの動作モード

SkyManhole®は目的に応じて、リアルタイム観測とオフライン観測（ロガー方式）の動作モードを切り替えて利用することが可能です。

●セルラーLPWA（LTE-M方式）の採用

LTE-M方式は従来のLTEと同等程度の広範囲な通信エ

リアと、eDRX技術による省電力性能が特徴です。尚、SkyManhole®では人孔内からの通信に比較的適したプラチナバンドを優先的に利用します。

【ミリ波センサーノードの開発】

SkyManhole®ではこれまでマンホール内の水位測定に投げ込み式水位計を採用していましたが、管底部への設置コストが課題となっていました。

この課題を解決するため、ミリ波センサーを活用した簡易型水位測定装置の開発に取り組んでいます。今年度、複数自治体のフィールドで実証を行い、2025年中の製品提供を予定しています。

●装置の小型化・低コスト

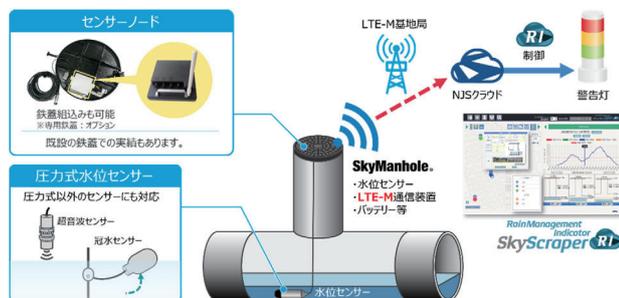
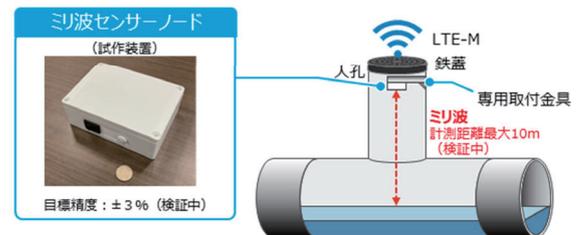
小型のミリ波センサーを採用、センサーを通信器本体に内蔵するため、小型・低コストが可能です。

●地上部からの工事による設置コスト低減

水位はマンホール上部から計測するため、装置はマンホール上部に設置します。そのため、管底部の作業が不要となり、設置のコスト低減と、作業効率の向上を実現します。

NEW ミリ波センサーノード試作機の概要

| | |
|-------|----------------------------|
| センサー | 60GHz帯ミリ波測距 ※汚れや異物の影響を受け難い |
| 構造 | センサー、通信機、電池一体型 |
| 本体サイズ | 約125mm×175mm×60mm |
| 本体重量 | 830g（予定） |
| 通信方式 | LTE-M方式 |
| 電池寿命 | 13ヶ月 ※30分周期通信 |
| 精度 | ±3%（検証中） |



SkyManhole LTE-M方式のシステム構成



管内水位グラフ（クラウドシステム：SkyScraper-RI）

小間番号

■ 1号館 ■

1-219

【出展者】(株)NJS

【所在地】〒105-0023 東京都港区芝浦1-1-1

【連絡先】TEL：6324-4357 Eメール：technical@njs.co.jp

担当部署：オペレーションズ本部 ソフトウェア部

出展ゾーン



統合型インフラ管理システム SkyScraper®

マネジメントサイクルのDXを推進し経営基盤を強化

SkyScraper® の特徴

アセットマネジメントの推進

●管路施設の耐用年数や点検・調査結果から劣化を予測し、リスクの高い施設を把握することができます。リスクの予測・判定・低減までを支援機能により「トータルリスクコントロール」が可能となります。

点検等日常業務の効率化

●タブレットを活用することで現場情報を電子化し、日々高度化・複雑化する業務の効率化を支援します。

雨水管理の強化

●雨量・水位等のデータ管理基盤と管路台帳を連携させることで、DX支援ツールとして活用できます。



SkyScraper FC 施設情報管理システム

施設平面図、3Dモデル連携、設備台帳・点検管理、更新需要予測・LCC比較・改築計画

SkyScraper PL 管路情報管理システム

管路台帳、維持管理情報の蓄積、事業量シミュレーション、リスク分析、RTK-GNSS測位による施設の電子化、事業量シミュレーション

連携

SkyScraper PL WEBGIS 管路管理クラウドシステム

ルート検索、現場支援機能、点検・調査結果登録、属性検索機能、調査計画・結果登録

SkyScraper RM 雨水管理システム

雨量情報管理：リアルタイム、オフライン、3D表示、流出解析機能との連携

小間番号

■ 1号館 ■

1-219

【出展者】(株)NJS

【所在地】〒105-0023 東京都港区芝浦1-1-1

【連絡先】TEL：03-6324-4357 Eメール：technical@njs.co.jp

担当部署：オペレーションズ本部 ソフトウェア部

出展ゾーン

設計
測量

水中ドローン WATERi[®] と Water Slider[®]

飛行型点検調査と水上走行型点検調査機材

1. 水中ドローン

WATERi[®]は、潮位の影響を受ける雨水管や放流渠の点検調査を安全かつ効率的に実施可能です。

2. FF2 (ファイフツー)

FF2の仕様を表1、機体を写真1に示します。

【主な特長】

- ・水中部と気相部との同時撮影
- ・水中の状況をリアルタイムに複数人と共有可能
- ・ゲーム用コントローラーによる操作

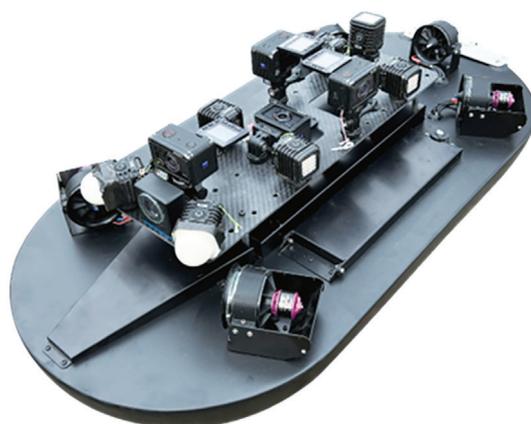
写真1 WATERi[®] FF2表1 WATERi[®] FF2の機体仕様

| 構造 | |
|-----------|------------------|
| 長さ | 612mm |
| 幅 | 478mm |
| 高さ | 374mm |
| 乾燥重量 | 約24kg |
| ケーブル長 | 300m~500m |
| 性能 | |
| 最大水深 | 300m |
| 最大速度 | 1.5m/s(全方向) |
| 搭載可能重量 | 最大4kg(水中重量) |
| 連続稼働時間 | 3時間~9時間 |
| 調査機器 | |
| 調査用LEDライト | 最大16(24,000ルーメン) |
| 調査用カメラ | 最大6台(4K動画撮影可) |
| レーザースケラー | 15cmラインレーザー照射 |
| 音響ソナー | 360度全周ソナー |

3. Water Slider[®]2

本機は、Air Slider[®]の制御機構を取り入れ、気相部分にダクトファンを取り付け、それらの推進力により、水上走行し、複数台の撮影用のカメラにより対象物の内部を撮影します。

Water Slider[®]2の仕様を表2、機体を写真2に示します。

写真2 Water Slider[®]2表2 Water Slider[®]2の機体仕様

| 構造 | |
|-----------|----------------|
| 長さ | 800mm |
| 幅 | 400mm |
| 高さ | 180~260mm |
| 乾燥重量 | 約4.5kg |
| ケーブル長 | 最大1,200m |
| 性能 | |
| 最大速度 | 3.0m/s(全方向) |
| 連続稼働時間 | 1時間(速度による) |
| 調査機器 | |
| 調査用LEDライト | 最大6(6,000ルーメン) |
| 調査用カメラ | 最大6台(4K動画撮影可) |

4. WATERi[®] / Water Slider[®]による点検調査

WATERi[®] FF2、Water Slider[®]2ともに、マンホールに人が立ち入ることなく、地上から機体を入孔させ、安全に、かつ効率的に高画質な管内画像を取得できます。

小間番号

■ 1号館 ■

1-219

【出展者】(株)NJS

【所在地】〒105-0023 東京都港区芝浦1-1-1

【連絡先】TEL: 03-6324-4357 Eメール: technical@njs.co.jp

担当部署: オペレーションズ本部 インспекション部

出展ゾーン

下水
処理

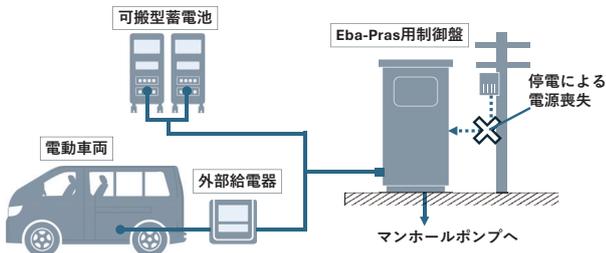
Eba-Pras (エバプラス) / Eba-Pras S

停電・浸水時に活躍するマンホールポンプ起動支援システム

【停電時マンホールポンプ起動支援システム Eba-Pras】

台風や落雷などの自然災害によって電源を喪失したマンホールポンプを迅速に起動させる支援システムです。「可搬型蓄電池」または「電動車両」を電力供給源として使い、「Eba-Pras用制御盤」を介して停止したマンホールポンプを起動させることができます。

【停電時マンホールポンプ起動支援システム Eba-Pras 全体図】

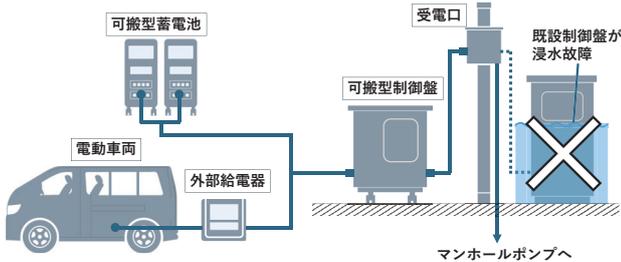


【浸水時ポンプ起動支援システム Eba-Pras S】

浸水想定高さ以上の場所に「受電口（電源切替盤）」を設置することで、停電時に加えて浸水による制御盤故障にも対応した支援システムです。

「可搬型蓄電池」または「電動車両」を電力供給源として使い、「可搬型制御盤」と「受電口」を介してポンプを起動させることができます。

【浸水時ポンプ起動支援システム Eba-Pras S 全体図】



【両システムに共通する特長】

1. 高機動性

可搬型蓄電池および可搬型制御盤は車輪付きで軽量。車両へ積載でき災害発生時の迅速な初動対応に貢献できます。また、電動車両自体を電力供給源として利用することが可能なため、停止した複数のマンホールポンプを同時に起動させることができます。

2. 簡単接続

発動発電機等を使用する従来の復旧作業では、電源を制御盤に接続する作業は電気工事士等の有資格者が行う必要がありました。

両システムは可搬型蓄電池または電動車両から制御盤への接続に専用コネクタを使用するため、電気工事士等の資格なしで誰でも簡単に復旧作業が可能になります。

3. 高出力・高容量

5.5kW出力までのマンホールポンプに対応。電力供給源の設置後は自動運転が可能で、24時間以上の連続運転が可能*。

併せて可搬型蓄電池はコンパクトなため、省スペースで設置が可能。軽バンタイプの電動車両を用いることで、狭隘地にある施設での対応性も向上します。
*ポンプ機種、ポンプ起動回数や流入汚水量に条件があります。

【導入事例】

両システムは、令和6年能登半島地震の被災地支援として、津波により浸水故障したマンホールポンプ施設へ導入されました。

この活動は、内閣府主催のイベントに置いて「能登半島地震を踏まえ災害対応に有効であった技術・サービス」に選定されました。



↑被災したマンホールポンプ施設への導入事例

小間番号

■ 4号館 ■

4-313

【出展者】 荏原実業(株)

【所在地】 〒104-8174 東京都中央区銀座7-14-1

【連絡先】 TEL: 03-5565-5088 Eメール: kido-system@ejk.co.jp

担当部署: 技術開発本部 事業化推進部

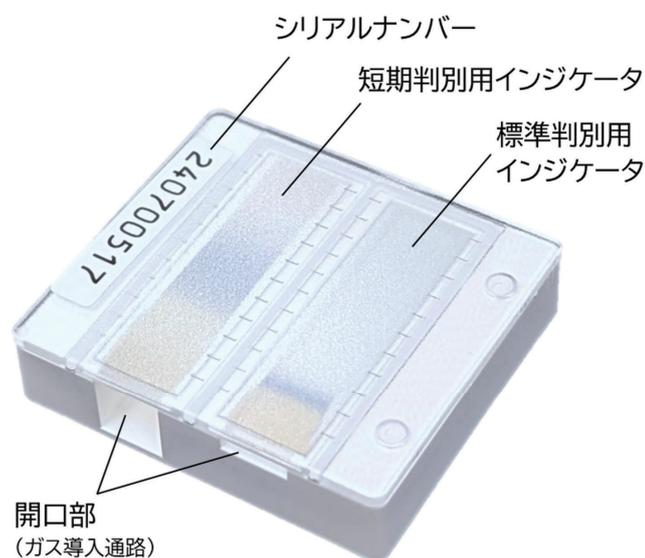
出展ゾーン

維持
管理

目視型腐食センサ Silver Scale™

硫黄系ガスによる電子機器の腐食環境を診断するセンサ

「Silver Scale™」は硫化水素等の硫黄系ガスによる電子機器の腐食リスクを見える化する画期的なセンサです。下水処理施設や排水処理施設、製紙工場、河川等では硫黄系ガスが発生する懸念があり、硫化腐食による電子機器の故障が懸念されます。Silver Scale™はこのような腐食環境を電源不要で手軽に診断できます。



Silver Scale™

Silver Scale™ の仕様

| | |
|--------|--|
| 対象ガス | 硫化水素 (H ₂ S)、硫黄 (S ₈) |
| 適応規格 | ISO11844-1 |
| 判別期間 | 標準用：1ヵ月～1年 短期用：1ヵ月以内 |
| 使用温度範囲 | -20～90℃ |
| 外形寸法 | 29mm×30mm×高さ7mm |
| 重量 | 約5g |
| 梱包 | 吸湿機能を持つ袋に入れ真空梱包 |

電子機器などを設置する環境の腐食リスク調査には銀板の腐食量をカソード還元法や重量法で分析する手法 (ISO11844-2) が一般的ですが、手間とコストがかかる点が課題でした。Silver Scale™はそのような分析を必要とせず、設置環境をISO11844-1で規定される腐食性カテゴリ (IC1～IC5) で判定可能です。

活用事例をご紹介します。下水処理施設の各部屋にSilver Scale™を設置した結果、腐食性カテゴリIC5の搬出室から硫黄系ガスが流入し、送風機のインバータ故障の原因となっていることが判明しました。



下水処理施設 汚泥処理棟の配置図と腐食環境

実証評価協力：青森県三沢市下水道課
住友重機械エンバイロメント

このようにSilver Scale™は下水処理施設等で使用される電子機器の腐食リスクを見える化します。



Silver Scale™ 製品紹介

<https://www.techno-kitagawa.com/product/silverscale>

小間番号

■ 1号館 ■

T-002

【出展者】北川工業(株)

【所在地】〒480-0303 愛知県春日井市明知町字頓明1423-101

【連絡先】TEL：0568-93-9773 Eメール：ken-f@kitagawa-ind.co.jp

担当部署：開発本部 新規開発部 先行開発室

出展ゾーン

維持
管理

クリスタルライニング工法

「湿度85%以上」で施工可能な塗布型ライニング工法



厳しい環境下でも実力を発揮！

- ・汚水が常時流れるマンホールの防食
- ・現場打ち特殊マンホールの防食
- ・施工時間が制限される圧送ピットの防食
- ・「何度補修してもまた漏れる…」繰り返す浸入水
- ・臭気や騒音対策が求められる市街地
- ・重機搬入が困難な狭所・傾斜地



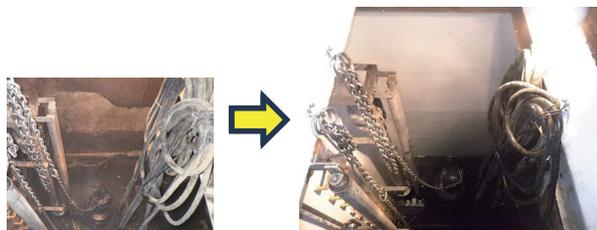
多様な現場に応える4つの工法

- ◆防食ライニング工法 『湿気も水も恐れない。水中で硬化する塗布型ライニング』
- ◆接着補強型止水工法 『繰り返す浸入水に終止符を。強固なライニングで確実に止水』
- ◆補強工法 『高強度素材×湿潤硬化。防食と構造補強を一度に』
- ◆マンホール耐震補強工法 『円形・無筋マンホールを炭素繊維で耐震補強』

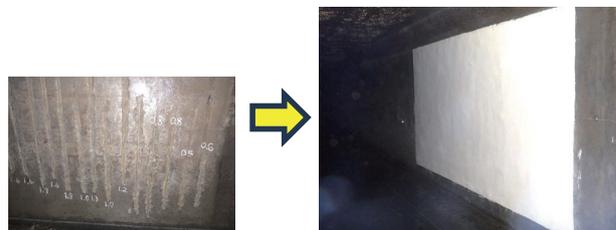
クリスタルライニングの特徴

- ◎ 湿潤環境に強い 高湿度（85%以上）に対応し、塗布後3～4時間で通水可能。
- ◎ 形状に左右されない 人力施工のため、形状を問わず作業可能（特殊人孔など）。
- ◎ 低コストを実現 特殊な機材不要。部分補修ができ、大掛かりな水替えも不要。工期短縮に貢献。
- ◎ 安全な材料 無溶剤・無臭の安全樹脂を採用。換気を要さず、飲料水施設にも対応。

手作業だからこそそのメリット



マンホールポンプの防食・補修



ボックスカルバートの鉄筋露出部補修

小間番号

■ 2号館 ■

2-201

【出展者】クリスタルライニング工法協会

【所在地】〒467-0806 名古屋市瑞穂区瑞穂通8-9-1

【連絡先】TEL：052-918-2555

【ホームページ】<https://www.crystal-l.com>

クリスタルライニング



出展ゾーン

設計
測量

三水コンサルタントの下水道維持管理システム

災害時にも活躍する下水道管路台帳（維持管理）システム

はじめに

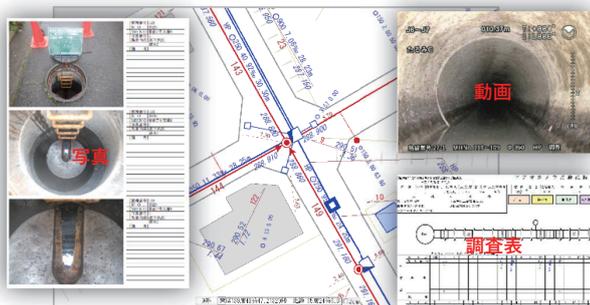
今日、下水道施設の維持管理とこれを踏まえた更新の重要性がより一層高まっています。このことを踏まえた管路施設のマネジメントサイクルの確立は不可欠と言えます。

国における取組では、基本情報等の電子化の割合を令和7年度までに100%にすることを目標とし、令和9年度以降の改築事業では、施設情報や維持管理情報がGISシステムで管理されていることが交付要件とされています。

W-PPPを見据えたストックマネジメントの高度化のため、管路台帳の電子化や維持管理情報の蓄積がより一層重要視されています。

下水道GISシステム

クラウドシステムとしても利用できるWeb GISシステムをベースに、下水道管理者のニーズに合わせた仕様と運用方法をご提案いたします。



- ・背景図には、DM、住宅地図、地籍図、航空写真、Web Map Tile Service (WMTS) 等がご利用可能。
- ・施設諸元、下水道資産情報、下水道ストックマネジメント情報（計画・調査結果）等、下水道計画から維持管理までの様々な情報を一元管理できます。
- ・維持管理情報（調査情報・修繕・改築・苦情・清掃等）の管理機能が充実（履歴管理やインポート機能も実装）

下水道GISモバイルと災害対応

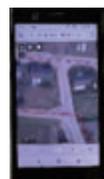
大規模災害が発生した場合、現地調査ツールとしてWEB配信型の下水道GISシステムをご利用いただけます。スマートフォンやタブレット端末で下水道台帳

情報を閲覧できるので、平常時のインターネット公開システムとしてご利用いただくことも可能です。

【タブレット版】



【スマートフォン版】



ICTツールとの連携事例

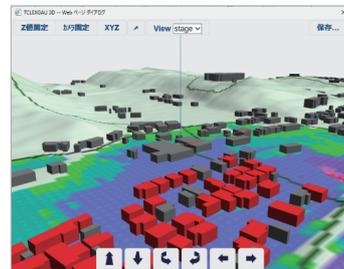
スマートフォン調査ツールとの連携

センチメートル級の精度で位置座標を取得できるGNSS受信器（位置補正情報利用）とスマートフォンを接続し、下水道GISシステムへアクセスすることで、高精度（数cmの誤差）の現在位置情報が利用できます。例えば、施設の位置情報付き撮影を行った写真の本システム上での共有、既存の台帳図補正や災害時の被災状況マップ作成など、様々な用途での活用が期待できます。



台帳データの3D化

下水道GISシステムに標高データを登録すると、台帳図を3Dで表示できるようになりました。標高データを利用した簡易浸水シミュレーション機能もご利用いただけます。



国土省の上下水道DX技術カタログに掲載中

小間番号

■ 1号館 ■

1-224

【出展者】(株)三水コンサルタント

【所在地】〒530-0005 大阪市北区中之島6-2-40 中之島インテス19F

【連絡先】TEL: 06-6447-8181 Eメール: solution@3wcon.co.jp

担当部署: ソリューションセンター

出展ゾーン

その他

非破壊光学式溶存酸素計 OXY-1 SMA

非破壊で、酸素濃度を「見える化」する次世代センサ

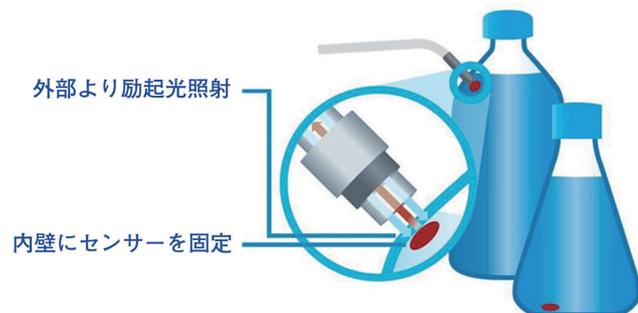
下水処理・水環境の新たな酸素モニタリングツール 非破壊式・光学式酸素計「OXY-1 SMA」

研究や製造現場では、酸素濃度の正確な測定が求められます。しかし従来の方法では、測定ごとに試料を消費する必要があり、サンプル数の制限や再現性の確保が課題でした。また、下水処理や水質管理の分野では、酸素濃度が微生物の活性や処理効率を左右する重要な指標です。従来のDOセンサではサンプル採取やプローブ浸漬が必要で、測定環境を乱しやすく、長期使用にはメンテナンス負担も伴います。

PreSens社が開発した非破壊式酸素計「OXY-1 SMA」は、従来の課題を解決する新たな測定機器です。わずか手のひらサイズの本体に、高精度の光学式センサ技術を搭載。ファイバーセンサを介して専用の酸素センサスポットを読み取ることで、非接触・非破壊で溶存酸素または気相酸素の濃度をリアルタイムに測定できます。



OXY-1 SMA



■主な特長

- ・非破壊・非接触測定
測定時にサンプルを消費しないため、繰り返しの観察が可能。細胞培養・発酵・包装食品など多様な分野に対応。
- ・超小型設計・高い携帯性
重さわずか数百グラムのコンパクト設計。省スペースなラボや、モバイル計測にも対応。
- ・高い汎用性
液体・気体どちらの酸素測定にも対応。マイクロ流路、バイオリアクター、バッグ包装、シリンジなど、多様な容器・環境に対応。
- ・USB経由で簡単接続
PCへのUSB接続で即時データ取得。専用ソフトウェアでリアルタイム表示・記録・解析が可能。

■下水処理・水質分野での応用例

- ・曝気槽の微生物活性評価
酸素消費速度から生物処理の効率や活性度をモニター可能。
- ・嫌気槽・好気槽のO₂挙動の長期観察
温度・流量変動下での安定運転評価に有用。
- ・封入型反応容器の研究・開発
容器内の酸素挙動を非破壊で観察し、条件設計に役立てられます。
- ・バイオセンサーや代替プロセス開発の試験
高精度かつ非侵襲で、酸素変化を可視化。



小間番号

■ 2号館 ■

2-310

【出展者】三洋貿易(株)

【所在地】〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-11

【連絡先】TEL: 03-3518-1196 Eメール: info-si@sanyo-trading.co.jp

担当部署: ライフサイエンス事業部 科学機器部

出展ゾーン

下水
処理

ポンプ場クラウド監視システム

施設の維持・管理業務の効率化を図り、共同化・広域化をサポート

監視計納入実績

900自治体 12,000機場



AIによる故障予測

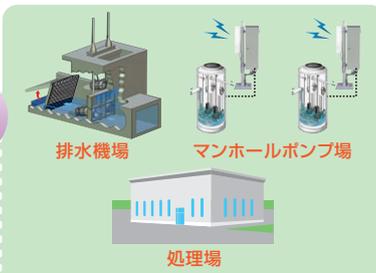
- ・健全な施設の運用サポート
 - ・維持管理費の低減
- 重大な故障を未然に防ぎ緊急出動回数の低減や設備の長寿命化に貢献します。
※マンホールポンプ場向けの機能です

LTE
回線

NTT
回線



SVシリーズ



排水機場

マンホールポンプ場

処理場

現場
でも



オフィス
でも



マンポネット®
(クラウド)

様々な施設を
一元管理

SVシリーズ+マンポネット



NEW 不明水診断機能を搭載

- (1) 降雨量とポンプ稼働データから自動で診断
- (2) 地図上に不明水の影響度を色分けして表示
▶ 不明水の“見える化”を実現
- (3) 雨天時におけるポンプ吐出し量の増加など、不明水調査に必要な各種データをご提供します



注) 地図を拡大しています。

ストックマネジメントをサポート

- (1) 「設備台帳」や「点検記録」のデータを管理
- (2) データを元に機器ごとの「経年リスク」「健全度」を自動で評価
- (3) 機器更新計画をアシストします

書類が多くて
検討ができない

クラウド上で
登録・管理



小間番号

■ 3号館 ■

3-222

[出展者] 新明和工業(株)

[所在地] 〒230-0003 横浜市鶴見区尻手3-2-43

[連絡先] TEL: 045-584-9691

担当部署: 流体事業部 システム本部



流体事業部
水処理機器サイト

出展ゾーン

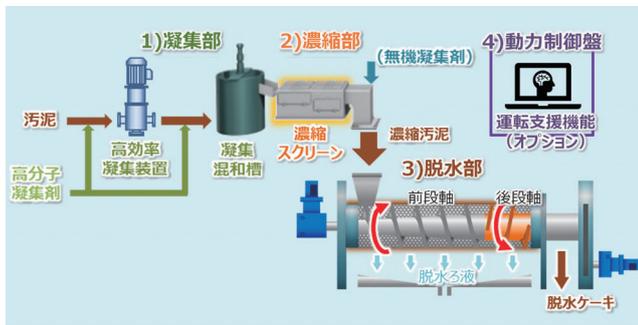
下水
処理

同軸差動式スクリープレス脱水機

処理場のライフサイクルコスト低減に貢献する次世代脱水機

下水道事業が抱える課題を解決するために、汚泥処理の低コスト化、省力化が可能な脱水機である「同軸差動式スクリープレス脱水機」をご提案します。

本脱水機は2025年3月に日本下水道事業団新技術I類に選定されました。



同軸差動式スクリープレス脱水機の特長

【特長1】

スクリーン径あたりの処理速度を1.5倍以上に増加でき、①～③のいずれかの効果を発現させることにより、建設費、維持管理費を抑制できます。

- ①：小さいスクリーン径を選択（ダウンサイジング）
- ②：設置台数の削減
- ③：運転時間の短縮

【特長2】

脱水部の運転方法がシンプルで運転の習熟がしやすいことに加え、AI（オプション）による運転ガイダンス提示及び自動運転機能により運転（維持管理）を省力化できます。

小間番号

■ 4号館 ■

4-311

【出展者】水ing(株)／水ingエンジニアリング(株)

【所在地】〒105-0021 東京都港区東新橋1-9-2 汐留住友ビル27F

【連絡先】TEL：03-4346-0622 Eメール：jogesui@swing-w.com

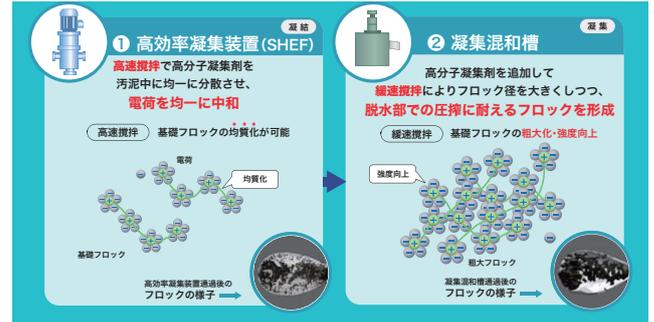
担当部署：営業本部 エンジニアリング営業統括部 上下水道営業部

同軸差動式スクリープレス脱水機
製品説明動画↓

各部の構造、構成

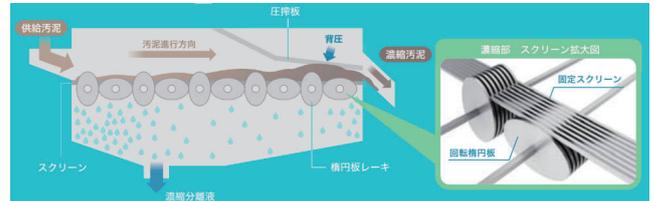
1) 凝集部

2段階の凝集プロセスにより、脱水速度が大きい場合でも、崩れにくい強固なフロックを形成。



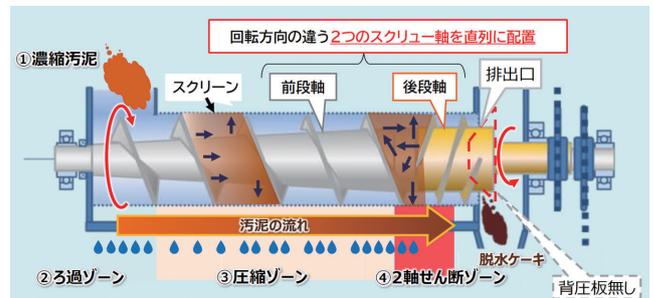
2) 濃縮部

回転する楕円板レーキで7～12%まで濃縮し、脱水部での負荷を軽減。セルフクリーニング機構により、運転中の洗浄水が不要。



3) 脱水部

同一軸上の2つのスクリー軸の差動により強い圧搾と円滑な排出を両立し、脱水性能を維持したまま処理速度を増大。背圧板を無くし、流動性の低い脱水ケーキでも円滑に排出し、処理速度の低下を防止。



出展ゾーン

維持
管理

SUZUTECHの3Dソリューション

①大型管路測量の圧倒的省力化 ②デジタルツイン×AI設備台帳

SUZUTECH × FARO

XSYS™
Digital Twin | Form Management | AI Technologies

【大口径管渠・特殊人孔】

- ◆モバイル3Dスキャナで測量の圧倒的省力化を実現
- ◆高精度を活かして改築フローの差分を3Dで評価

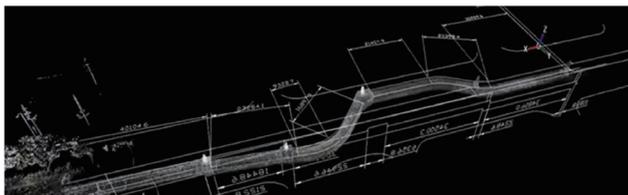
【推奨導入シーン】

- ▶特殊人孔の寸法調査
測量箇所の多い特殊人孔内調査
- ▶大口径管路調査
モバイルスキャンで管路形状を高速測量
- ▶更生・防食工のベクトル差分解析
3D点群処理システムで出来形管理
- ▶管路・設備の3Dモデル化
フラッシュスキャン機能（精度2mm）で実現



**Orbis™
Premiumモバイルレーザー
スキャナー**

IP54に準拠し、新しく強力なカメラを搭載したOrbis™ Premiumは、高解像度画像、強化されたカラー点群、72メガピクセルのFlash Technology™スキャンを実現します。



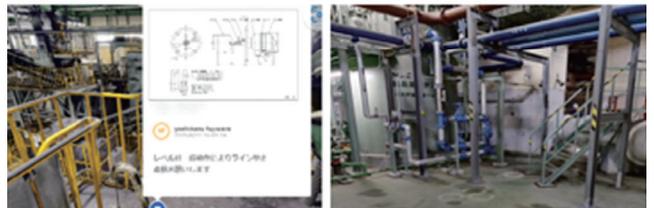
【浄化センター・メーカー様工場】

- ◆デジタルツイン技術で設備台帳を一元管理
- ◆3D×データベース×AIで育てるシステム

【マネジメントフロー】

- ▶3Dスキャナでデジタルツインを作成
- ▶プラットフォームに設備台帳を電子化
- ▶点検記録・故障履歴等マネジメント情報を付与
- ▶AI連携
- ▶予兆検知・改善提案・継続学習

設備台帳マネジメントサイクルを構築



下水道展期間中のご相談分

FARO Trade-inキャンペーン!



お持ちの機材を最新機種へアップグレードしませんか？
引取り価格をお値引きして御見積をさせていただきます

小間番号

■ 2号館 ■

2-102

【出展者】 スズテック(株)

【所在地】 〒444-1211 愛知県安城市根崎町東新切20

【連絡先】 TEL: 0566-92-4602 Eメール: ss-mail@katch.ne.jp

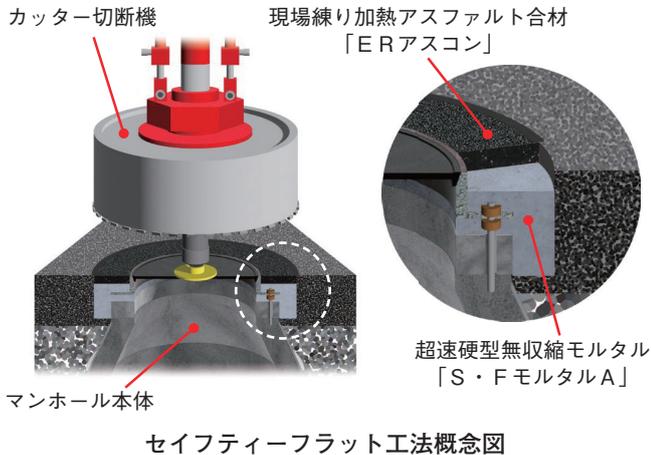
担当部署: エンジニアリング事業部

出展ゾーン

維持
管理

セーフティーフラット工法

『はやり』『きれい』『ながもち』を実現、マンホール鉄蓋取替工法



セーフティーフラット工法概念図

マンホール鉄蓋取替工法の標準工法とされている開削工法は、舗装切断の際、四隅に発生する余剰切断からの雨水浸入により周辺舗装に沈下が生じやすく、マンホール鉄蓋のがたつきの原因となったり、既設舗装面との平坦性確保にばらつきが生じやすい、施工完了まで時間を要する、といった問題点があります。

「セーフティーフラット工法」は、これらの課題を克服し、品質と効率を追求したマンホール鉄蓋取替専用工法として開発されました。

セーフティーフラット工法の特徴

本工法は、施工品質、耐久性、および施工速度の向上を主な目的としています。

- ①車両に組み込まれたカッター切断機で鉄蓋の中心を基準に舗装面を円形切断することで、道路カッターのように余剰切断が発生しない。
- ②専用の超速硬型無収縮モルタル「S・FモルタルA」により調整部および路盤部を短時間で復旧することができ、無収縮タイプのため施工後の沈下が発生しない。
- ③専用の加熱アスファルト合材「ERアスコン」は軟化点80℃以上でたわみ追従性等に優れ、耐久性が

2023年3月 建設技術審査証明（下水道技術）取得
2024年7月 国土交通大臣表彰（国土技術開発賞）受賞

車載型アスファルトミキサー
「ERミキサー」

完成イメージ

向上している。また、①により雨水等の浸入が抑えられ、②により施工後に舗装が沈下せず、段差が発生しにくいことも復旧舗装の耐久性向上に寄与する。④車両に積載する専用小型ミキサー（ERミキサー）により、ERアスコンを現地で常に一定の品質で必要な分量だけ作製でき、どんな場所でも最適な舗設タイミングで施工可能である。

これら①～④の組み合わせを工法として確立、システム化することにより、施工速度も飛躍的に向上し、下水道600型の鉄蓋の場合で1箇所2.5時間以内に、連続施工により1日最大4箇所の施工が可能となりました。また無駄な材料の廃棄もなく1箇所から施工でき、省エネや環境にも配慮しています。

下水道ストックマネジメントに最適

仮に「下水道マンホール蓋600型100箇所取替」のようなまとまった数の工事を想定すると、工期は25日程度となり、開削工法の工期50日に比べて半分まで短縮することが可能です。昨今、国により推進されている「下水道ストックマネジメント計画」においては、短期間に大量の鉄蓋取替が必要となり、その受け皿として最適な工法であると自負しております。

小間番号

■ 2号館 ■

2-112

【出展者】（一社）セーフティーフラット工法協会

【所在地】〒460-0018 名古屋市中区門前町1-51

【連絡先】TEL：052-332-8072 Eメール：info@csk-sf.jp

担当部署：事務局

YouTube工法紹介動画→



出展ゾーン

管路
資器材

SPR-SE 工法エキスパンドタイプ

国内初の技術「裏込めレスの新たな自立管更生工法」

1. 管路更生の資器材開発

当社は SPR 工法・オメガライナー工法の開発に始まり、(公社)日本下水道協会認定資器材(更生材料)を製造しております。多くの更生工法は施工現場での化学反応が必要ですが、当社資器材は不要であり、工場品質をそのまま現場へご提供いたします。加えて、当社は豊富なラインナップ取り揃えており、**小口径 150mm～超大口径 5000mm まで幅広く対応**し、下水道管路老朽化に伴う**道路陥没等の社会課題解決**に貢献しております。

2. SPR-SE 工法エキスパンドタイプ

1) 工法概要

当社の自立管更生工法は、オメガライナー工法(口径 150～400mm)、SPR-SE 工法(口径 450～2000mm)と、様々な管へ対応できます。特に SPR-SE 工法は流下施工可能な**唯一の自立管更生工法**です。この度、この SPR-SE 工法の新たなラインナップとして SPR-SE 工法エキスパンドタイプを開発し、昨年度は全国各地で採用が進みました。

本工法は**1日8時間施工かつ流下施工を実現**させた中口径(450～700mm)対応の工法で、更生材(プロファイル)のオール塩ビ樹脂化による**品質際立ち**、



エキスパンドの構造

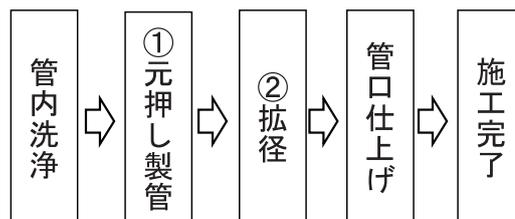


施工前 (管内)

施工後 (管内)

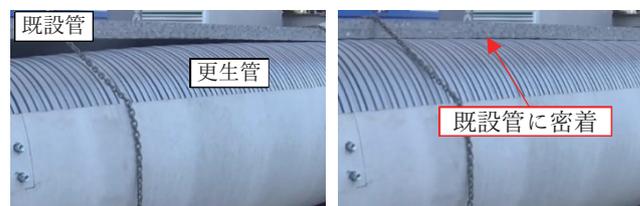
施工性向上、裏込めレスによる**工期短縮**を実現しています。

2) 施工手順



既設マンホール内に製管機を接地し、更生材をらせん状に製管し既設管内に送り込む製管工程①と、プロファイルの特殊嵌合機構とワイヤーを組み合わせることで更生管を**拡径(エキスパンド)**する工程②で、老朽化した管内に新しい更生管を構築します。

当社ブースにてプロファイル、製管機のデモ機展示、また製管・拡径工程に関して詳しくご紹介いたしますので、是非お立ち寄りください。



拡径中

拡径後

3. 官民連携 (PPP) による管路マネジメント

当社は、管路施設に関する幅広い製品・技術と永年培った経験を活かして、官民が連携して管路施設のマネジメントを行う「管路包括」事業に取り組んでおります。また、「ウォーターPPP」に対しても、積極的に取り組んで参ります。

当社ブースでは、「ウォーターPPP」の概要や、昨年より事業開始した**東京都武蔵野市での改築を含む管路包括**をはじめとする受託実績についてご紹介します。また、国土交通省から公表されたウォーターPPPや管路包括の概要を分かりやすく解説した動画や、管更生を主業務とする千葉県柏市案件の概要や成果を紹介する動画も上映します。

小間番号

■ 5号館 ■

5-118

【出展者】積水化学工業(株)

【所在地】〒105-8566 東京都港区虎ノ門2-10-4

【連絡先】TEL: 03-6748-6494 WEB: <https://www.eslontimes.com/>

担当部署: 環境・ライフラインカンパニー 管路更生事業部

工法紹介動画はこちら→



出展ゾーン

下水
処理

下水汚泥の超高温炭化システム

汚泥の高付加価値化と低炭素社会に貢献！

【はじめに】

下水処理工程で発生する下水汚泥は燃料や肥料等への利用が進められていますが、販売価格は安価にとどまり、採算性の向上が課題となっています。

超高温炭化システムでは、生成される超高温炭化物の活性炭代替材としての活用による「高付加価値化」や、肥料土壌改良材としての利用価値を高める「高品位・無害化」により採算性向上、汚泥処理にかかるライフサイクルコスト（LCC）低減を目指すとともに、システム全体の熱効率を高めることで従来技術に比べ温室効果ガス（GHG）の削減を図るものです。

本技術は国土交通省の下水道革新的技術実証事業（B-DASHプロジェクト）に採択され、令和5年度より国土技術政策総合研究所の委託研究として実規模実証を実施しております。

【超高温炭化システムの概要】

従来技術である約800℃の高温炭化炉直後の1000℃を超える排ガス処理室に、耐熱性に優れたセラミックキルンを設置することで、燃料使用量を増加させることなく、約1000℃の超高温炭化を実現しました（図1）。

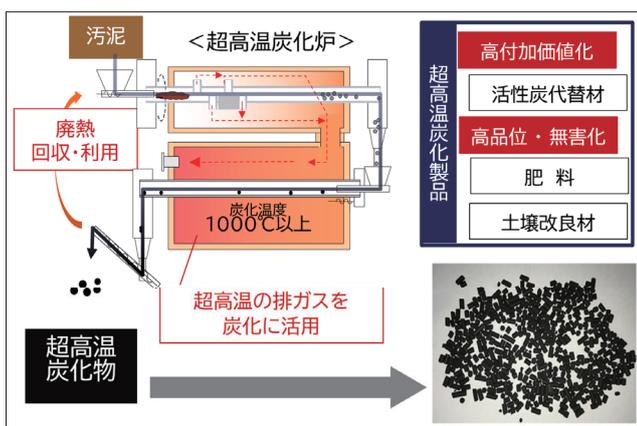


図1 超高温炭化システム概要

【超高温炭化システムの特徴】

- ①生成炭化物の高付加価値化、高品位・無害化
 - ・比表面積増、硫化水素吸着性能向上により、より高価な活性炭代替材への活用が可能に
 - ・塩素や重金属の濃度が高い下水汚泥の無害化を実現
- ②熱効率にも優れた炭化システム（図2）
 - 廃熱回収の最大化により
 - －従来対比 ライフサイクルコスト（LCC）2割減
 - －従来対比 温室効果ガス（GHG）3割減 を実現

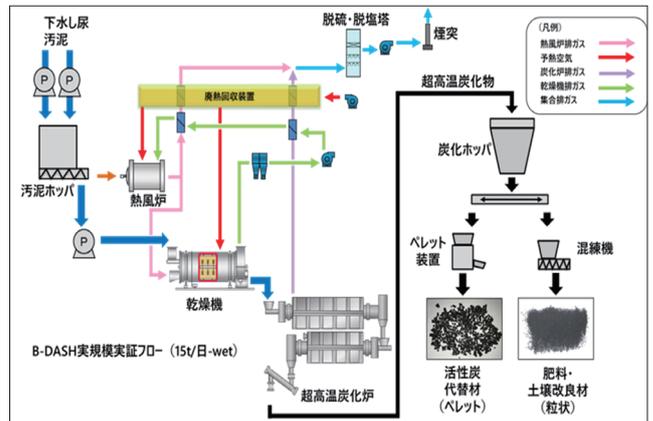


図2 超高温炭化システムフロー

【期待される効果】

超高温炭化システムで炭化物生成時に排出される温室効果ガスは石炭由来の活性炭製造時に排出する温室効果ガスの約5分の1以下のため、生成された炭化物を従来の活性炭に置き換えて活用することで温室効果ガスの大幅な削減が可能となります。

超高温炭化システムにより下水汚泥は“廃棄物”から“高付加価値品”へ、設備は“処理”設備から“製造”設備に生まれ変わること、脱炭素社会に貢献します。

小間番号

■ 3号館 ■

3-115

【出展者】大同特殊鋼(株)

【所在地】〒457-8712 名古屋市南区滝春町9

【連絡先】TEL：052-613-6806 Eメール：teha@ask.daido.co.jp

担当部署：機械事業部 鉄鋼設備部 鉄鋼営業室

出展ゾーン

下水
処理

SUPER BETSY

多目的モバイルポンプユニット

1. はじめに

本製品はごみや土砂を含む雨水・汚水・汚泥などを吸込んでも詰まりにくい無閉塞型ポンプとディーゼルエンジンをユニット化した製品で、現在一般的に使用されている水中ポンプやエンジンポンプと比較して多くの特徴を有しています。

2. 特徴

①可搬式

コンパクトなサイズであるため、運搬が容易であり、すばやく現場に急行できます。トラックなどに積載したまま、少人数で設置・運転が可能です。

②無閉塞ポンプ

無閉塞ポンプの採用により、下水道工事および気象災害時に揚液に混入が想定されるし渣や異物も難無く吸込み圧送することが可能です。

③強力な自吸能力

人手による呼び水作業が不要で全自動自吸。短時間で自吸し、即圧送開始。特に人手が足りない緊急時や災害時などでも省人化が図れます。

④ディーゼルエンジン駆動

軽油を燃料としたディーゼルエンジン、高効率ポンプとの組合せでエンジンの小型化・低燃費化を実現。これにより長時間連続運転が可能なエンジンポンプ。無人稼働時間が長く緊急時や災害時などでの活躍が期待されます。

⑤水位レベルセンサーで自動運転

標準装備の電極式水位計を使用することにより、

吸込み側水位を検知し自動で起動・停止が可能となり、配置人員を削減し且つ燃料を無駄に消費しない省エネ設計です。

⑥低騒音・安全・防犯

防音キャノピーにより低騒音化を実現し、またキーロック可能な扉は安全性・防犯に役立ちます。

3. 活用事例

- ・管路更生工事や、下水設備、マンホール設備での緊急用途
- ・住宅街、地下道、地下施設、アンダーパス等での冠水
- ・工場での緊急用途
(停電・ゲリラ豪雨・高潮・消防関連など)
(水替・清掃工事など)
- ・池、堀、貯水池、調整池での用途
(清掃・浚渫・かいぼり)



小間番号

■ 3号館 ■

3-122

[出展者] 大平洋機工(株)／ラサ商事(株)

[所在地] 〒275-8528 千葉県習志野市東習志野7-5-2

[連絡先] TEL: 047-473-6181 Eメール: pmetoiawase@taiheiyo-kikou.com

担当部署: ポンプ部 業務資材課

出展ゾーン

下水
処理

下水処理場用スムーズフローポンプ

薬品注入の技術革新で下水処理場の課題を解決

薬品注入の課題を解決する *Smoothflow* Pump

スムーズフローポンプ

流量精度に優れたダイヤフラム式でありながら
独自の機構で脈動のない連続一定流を実現。

圧力条件に関わらず
安定注入

ガスロックレス

**エアチャンバー
不要**



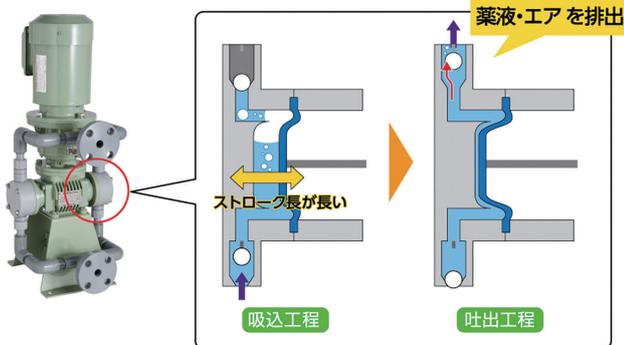
凝集剤や
pH調整剤などの
注入にも

1. 圧力条件に関わらず安定注入

スムーズフローポンプは、ダイヤフラム式で連続一定流を実現。注入量をシビアに管理ができるため過注入を防止します。ゲリラ豪雨などの急激な増水にも瞬時に対応できるように幅広い流量範囲の設定が可能です。最大0.5MPaの圧力変動でも安定的に注入ができます。

2. ガスロックレス

常にフルストロークでダイヤフラムが動作するので、エアが入っても強制的に押し出して正常に運転します。



3. エアチャンバー不要

エア補給や、絞り弁の圧力再調整などエアチャンバーの定期作業、薬液飛散リスクを一気に解消します。

4. ユニットソリューションで 省人化

流体技術のノウハウを集結。IN / OUTの配管接続と一次側の電源を接続するだけで簡単に設置が可能。配管・配線工事の簡素化・省人化が図れます。設置スペースや余分なコストを大幅に削減できます。



小間番号

■ 4号館 ■

4-202

[出展者] (株)タクミナ

[所在地] 〒541-0047 大阪市中央区淡路町2-2-14

[連絡先] TEL: 06-6208-3973 Eメール: joint@tacmina.co.jp

担当部署: 営業統括本部 営業販促課

出展ゾーン

設計
測量

給排水オンライン申請システム

給水装置工事及び排水設備工事のDX推進

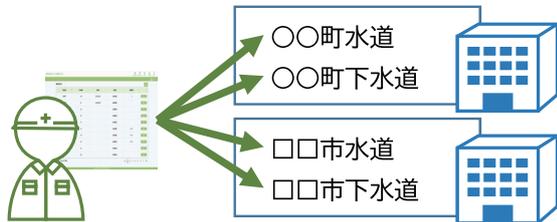
給水装置工事及び排水設備工事に係る申請、完了検査等の事務手続全般をオンライン化し、DXを推進します。



●システムの特徴及び機能

■事業者マルチ対応

指定工事店はシステムにログインすることで登録をしている事業者の申請を行うことができます。



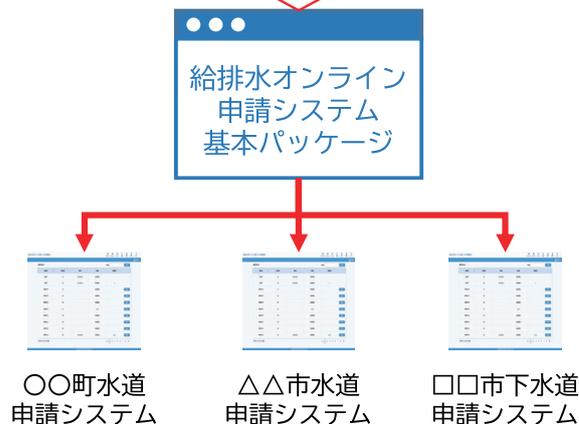
■セミオーダーシステム

事業者ごとに設定ファイルを登録しますので、各事業者の申請情報や決裁フローを調整することができます。



■各種機能が充実

- 承認処理** システムによる承認処理
- 事前問い合わせ** チャットによる問い合わせ
- 図面赤書き** PDFファイルへの記入による修正箇所の指摘
- マップ表示** GoogleMapやGISとの連携
- カレンダー予約** カレンダーから立会日等を予約
- 各種決済対応** クレジット等による決済



小間番号

■ 1号館 ■

1-218

【出展者】(株)中央設計技術研究所

【所在地】〒920-0031 石川県金沢市広岡3-3-77 JR金沢駅西第一NKビル7F

【連絡先】TEL: 076-263-6464 Eメール: cs_webmaster@cser.co.jp

担当部署: 営業統括本部

出展ゾーン



ロタカット[®]

自動刃圧調整機能付 一軸汚泥細断機（しさ破碎機）

■最新型破碎機

下水処理場のプロセスにおいて、毛髪や繊維屑などの「しさ」が機器への絡み付きや閉塞などの不具合を引き起こし、設備運用と維持管理に多大な影響を及ぼしています。自動刃圧調整機能付一軸汚泥細断機（しさ破碎機）（以下、ロタカット[®]）は、従来の破碎機構とは異なり、確実に「しさ」を剪断し、閉塞などの不具合を抑制することができる機器です。

■構造概要及び特徴

（1）構造概要

ロタカット[®]は「しさ」の絡み付きや閉塞の原因となる長い毛髪に対して、剪断することに特化した破碎機です。構造を簡素化することで、現地での維持管理業務内で保守点検や消耗品の交換が可能です。

（2）特徴

①自動刃圧調整機能

空気-油圧制御された自動刃圧調整機能により、本体内部に固定された高強度スクリーンに対し、刃を一定圧で押し続けることで剪断効果が持続されます。刃は高強度スクリーンを押しつけながら高速で回転し、高強度スクリーンを通過する「しさ」を確実に剪断します。

刃圧の調整はロタカット[®]を停止せずに外部から行うことが可能で、設備停止による影響が少なく、維持管理の作業負荷低減が可能となります。

②自動過負荷逆転機能

回転を妨げる異物等が噛み込んだ際、正転・逆転を繰り返し、異物を剪断します。剪断できなかった場合、警報信号を発生し自動停止します。

③摩耗限界検知機能

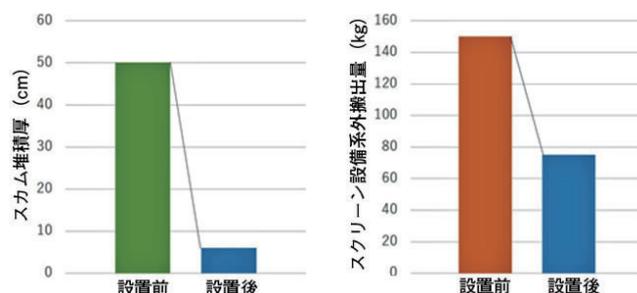
刃が一定の摩耗量を超えると摩耗限界を検知し、開放点検を促します。



本体外観

■導入事例

近年、各地方自治体では污水处理施設の広域化・共同化が推進されています。このような背景の中で、し尿および浄化槽汚泥をバキューム車により下水処理場の受入貯留設備に搬入するケースが増加しています。その際「しさ」や油脂などが原因となり、受入貯留槽内のスカム堆積による系外搬出作業の負荷増大や異物混入によるポンプ設備の機械損傷リスクの増加といった問題が生じています。ロタカット[®]を設置することで、繊維屑や毛髪などを効果的に剪断し、後段設備でのスカムの成長を抑制すると同時に、石などの異物回収も可能となりました。これにより、処理場の安定運転が実現され、系外搬出作業負荷を大幅に低減することができます。



※「ロタカット[®]」はフォーゲルザング社の登録商標です

小 間 番 号

■ 4号館 ■

4-116

【出展者】 月島ジェイテクノメンテサービス(株)

【所在地】 〒135-0031 東京都江東区佐賀1-3-7

【連絡先】 TEL：03-5245-7150 Eメール：eigyoug@tjtm.tjas.co.jp

担当部署：営業推進部 営業業務課

出展ゾーン

維持
管理

東亜グラウト工業が上下水道管路の維持管理を支える 調査・洗浄・更生・耐震化まで

当社は長らく下水道管路の維持管理事業を手掛け、豊富な工法バリエーションで下水道管路の調査・洗浄・更生・耐震化などを行っています。さらに近年では水道管路の調査技術も取り扱っています。下水道展'25大阪では「水循環の未来をAIと先端技術で支える」をテーマに上下水道管路の維持管理技術を紹介します。

人工衛星による漏水検知技術「アステラ」 上下水道

人工衛星による観測データを解析して広域での漏水調査対象箇所を抽出を行い、複数年かかっていた全域調査を単年で実施可能にする技術です。漏水可能性の高い配管部に漏水調査対象を絞り込むため、現地調査を効率化。漏水リスク予測とは異なり、実際に起こっている漏水を衛星センシングしたデータを提供します。①経済的な全域調査、②調査周期を短縮、③二次災害の防止、④現地調査のデジタル化、⑤管路更新計画の最適化のメリットがあります。

この技術は上水道管路での活用が先行していますが、下水道管路では衛星画像の解析により間接的に雨水等の浸入水発生の可能性箇所を絞り込む国内実証実験を実施予定です。



＜アステラの下水道管路への応用について 「出展者プレゼンテーション」にて紹介＞

- 日時：7/30（水）14：10-14：35
- 場所：インテックス大阪 2号館 左側プレゼン会場
- タイトル：衛星画像とセンサボールによる
浸入出水調査対象の効率的な抽出

氷で圧送管路を洗浄「アイスピグ管内洗浄工法」 上下水道

圧送管内に特殊アイスシャーベットを挿入し管壁のマンガンや赤さび等の汚れをこすり取り、堆積物を包み込んで管外へ排出します。管径の変化や曲がり、伏せ越し部でも洗浄可能です。従来の洗浄法に比べて詰まり・破損のリスクが小さい、長距離洗浄が可能、作業が短時間ですむ、材料が水と食塩のみで無害なため安全・安心といった特徴があります。



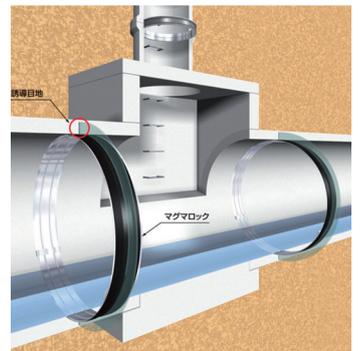
光でスピーディに非開削更生「アルファライナーH工法」 下水道

光を照射することで硬化する光硬化性樹脂を使用し、非開削で既設管内に更生管を作る更生工法です。材料の選定は1mm単位で行い、無駄のない更生材の選択が可能。更生材に強固なガラス繊維を採用することで、高強度な新しい管を既設管内に構築することができます。



管きよの耐震化「マグマロック工法」 下水道

耐震性のない既設管きよを非開削で短時間に耐震化する技術です。既設管きよのマンホール接続部に誘導目地を切削し、ステンレスとゴム製スリーブの耐震リングを設置することで、レベル2地震動に耐えられる構造へ改造します。



小間番号

■ 2号館 ■

2-106

【出展者】東亜グラウト工業(株)

【所在地】〒160-0004 東京都新宿区四谷2-10-3 TMSビル

【連絡先】TEL：03-3355-1531

担当部署：管路グループ

技術・プレゼンの詳細はこちらから→



出展ゾーン

建設

DO-Jet 工法

第14回国土技術開発賞※「優秀賞」受賞

令和4年度土木学会賞「技術賞（Iグループ）」受賞

全ての作業を掘進機から!! 前方探査、地盤改良、支障物の切断・除去

◎DO-Jet工法とは

DO-Jet工法は、掘進機のカッターヘッドに超高压ジェットノズルを装備し、前方探査、超高压地盤改良、切断・除去の3つの基本機能により、地中支障物の探査、地中支障物周辺部の地盤改良や重要構造物の防護改良、地中支障物の切断・除去の全ての作業を掘進機から行う工法です。

◎DO-Jet工法の特徴

- ①地盤改良と地中支障物の切断・除去を全て掘進機から対応し、安全・確実に施工
- ②地上を使用しないため交通渋滞等、周辺環境への影響を大幅に低減
- ③工期の短縮および工費の低減
- ④呼び径800mm以上の推進工法（呼び径800mm、900mmの支障物切断は条件付）、セグメント内径1,000mm以上のシールド工法に対応

◎支障物保険方式

資料がないため支障物の存在が不明確な場合、支障物の位置などが特定できない場合、地上からの対応ができない場合やコストを抑えたい場合などの対応として『支障物保険方式』を提案しています。

- 推進工法では…DO-Jet標準装備の掘進機を使用して施工（メンテナンス費のみ計上）。掘進途中で支障物に遭遇した場合や超高压地盤改良が必要となった時点でDO-Jet工法として対応。
- シールド工法では…後付けできない部分の超高压関連機器を装備した掘進機により施工し、支障物に遭遇した場合や超高压地盤改良を行う場合に残された超高压関連機器を追加装備し、DO-Jet工法として対応。

これまで、支障物保険方式で10件発注されています。

◎施工実績

施工完了44件、施工中3件と着実に実績を積み重ねています。

これまでの最小施工径は呼び径800mmの泥濃式推進、最大施工径はマシン外径7,100mm×5,340mmの泥土圧式親子シールドです。

2025年3月 技術資料、積算資料改訂版発行

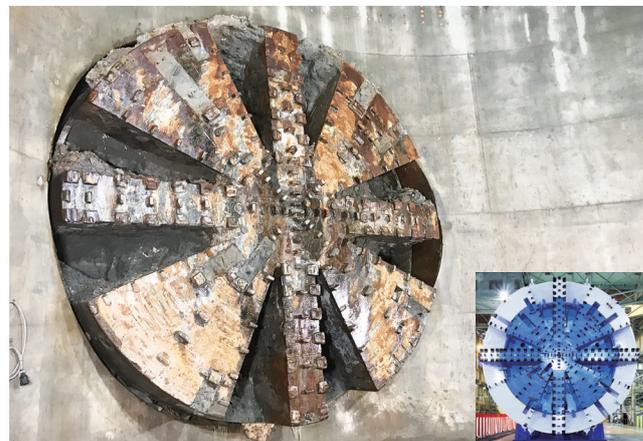


写真-1 子機（φ5,340mm）到達状況

- 施工事例①…東大島幹線及び南大島幹線その4工事では、子機（φ5,340mm）により都営新宿線大島駅及び共同溝築造時の残置土留め杭（PIP杭）の切断・除去と大島駅及び共同溝の防護改良を、営業線を止めることなく昼夜16時間施工を連続的にを行い完了しました。また、本工事は令和4年度土木学会賞「技術賞（Iグループ）」を受賞しました。
- 施工事例②…東京メトロ「日比谷線」下を離隔1,800mm（1D）で横断した推進工事（呼び径1,500mm）では、日比谷線施工時の中間杭の切断・除去と防護改良を行いました。日比谷線への変位量は最大0.5mmで、日比谷線への影響を最小限に抑えて施工が完了しました。
- 施工事例③…呼び径1,350mmの推進工事では、既設人孔到達時の防護改良が地上から対応できないため、DO-Jet工法が採用されました。到達防護改良範囲7.7mを地盤改良と掘進を繰り返し行い、湧水なしで無事既設人孔へ到達し、完了しました。

DO-Jet工法の地盤改良及び地中支障物の切断・除去は、地盤変位も少なく、安心・安全・確実に施工できます。

※国土技術開発賞は、国土交通大臣表彰で、建設分野における優れた新技術および、その開発に貢献した技術開発者を対象に表彰する事業です。

小間番号

■ 2号館 ■

2-321

[出展者] DO-Jet工法研究会

[所在地] 〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町3-2-7 常盤ビル5F

[連絡先] TEL: 03-3278-6778 Eメール: do-jet-k@bridge.ocn.ne.jp

担当部署: 事務局

ホームページはこちら→
<https://www.do-jet-kouhou.com/>

出展ゾーン

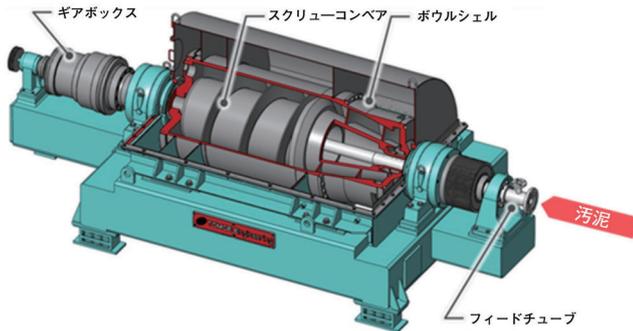
下水
処理

低動力型高効率遠心脱水機 HED型

省エネと高性能を達成した、環境配慮型遠心脱水機

低動力型高効率遠心脱水機HED型（高効率Ⅱ型）は、高脱水性と省エネ性を目的として開発された遠心脱水機です。

遠心脱水機の特徴である汚泥性状変動に対する優れた安定性を継承しつつ、低消費電力、低薬注率、低含水率を達成し、大幅なランニングコスト削減を実現しております。また、無機凝集剤を回転筒内部で添加するHED-W型（機内二液調質型）にも対応可能です。HED・HED-W型は全国に170台以上の販売実績を持ち、お客様からの高い御評価をいただいております。



低動力型高効率遠心脱水機概要

- 〈用途〉 下水消化汚泥、混合生汚泥 他
- 〈標準処理能力〉 2～100m³/h
- 〈比較〉 高効率型と比べ消費電力約40～70%削減、ケーキ含水率、薬注率、ランニングコストも削減

【特長】

1. 高性能運転

回転筒内での脱水効率を高めることで、ケーキ含水率低減と共に消化汚泥等の難脱水性の汚泥においても安定した性能を発揮します。

2. ランニングコスト削減

脱水性能の安定性をさらに高めることで、高分子凝集剤の使用量が大幅に減少します。また、低遠心力での運転が可能となったことで、消費電力・補修費用等のあらゆる面でランニングコストの大幅な削減が期待できます。

3. 自動薬注制御運転

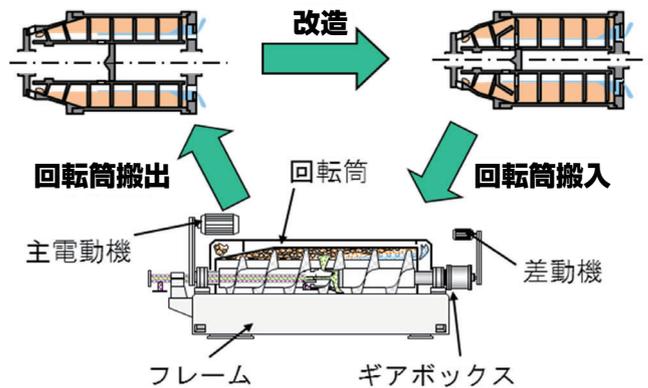
従来の制御システムを更に進化させました。汚泥性状に合わせて効率的な運転が可能になります。

4. 省動力ギアボックス、低遠心力で電動機容量削減

省動力ギアボックスの採用で消費電力、電動機容量が削減できます。低遠心力運転との併用でその効果は大きいものになります。

5. 既設遠心脱水機の改造が可能

弊社製の遠心脱水機であれば、HED型、機内二液調質のHED-W型への改造が可能です。



小間番号

■ 3号館 ■

3-218

【出展者】 巴工業(株)

【所在地】 〒141-0001 東京都品川区北品川5-5-15 大崎ブライトコア19F

【連絡先】 TEL: 03-3442-5156 Eメール: kankyo@tomoe-e.co.jp

担当部署: 環境設備営業部

出展ゾーン

下水
処理

自動薬注制御システム

AI技術を活用した遠心脱水機の薬注率最適化自動運転



背景

下水市場で広く使用されている遠心脱水機の運転操作因子には、遠心力・差速・スラリー供給量・薬注率等があり、操作因子を調整することでお客様の要求する分離性能を得ることが出来ます。実運用においてはスラリー性状変化等を考慮して、余裕を持った運転条件で使用されるため、その分ロスが発生します(図-1)。自動薬注制御システムはAI技術を活用し、遠心脱水機の分離液の状態から適切な薬品使用量を選定し、自動制御を可能とするシステムです。

要求仕様に最適化した薬注率へ自動制御することで、薬品の運用過剰分の発生を防ぎ、ランニングコストを削減することで下水道事業の効率的な運用を目指します。また、労働環境の改善や労働力の不足の問題の解決にも寄与いたします。

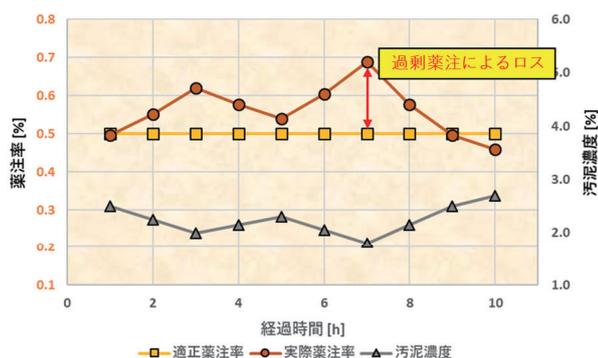


図-1 余裕を持った薬注率で運用することによるロス

システム概要

遠心脱水機から排出される分離液の特徴量(図-2)からAIが判断し、薬品使用量過多の場合、薬品供給量が下がり分離性能要求値を維持しながら薬品使用量を削減いたします。一方、薬品使用量が不足の場合、薬品供給量を最適化し、分離性能要求値を達成する運転に自動調整いたします。

システム構成

実設備で運用中の遠心脱水機から排出される分離液の現在の状態をカメラで捉え、AI技術を搭載したPCにて状態を解析、解析結果に応じて薬品ポンプの出力を自動調整し最適な薬注率での運用が可能です。(図-3)

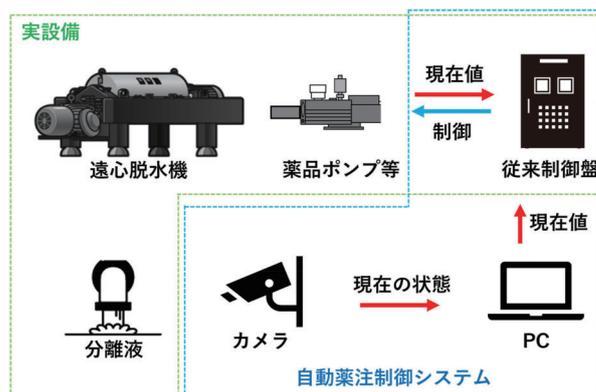
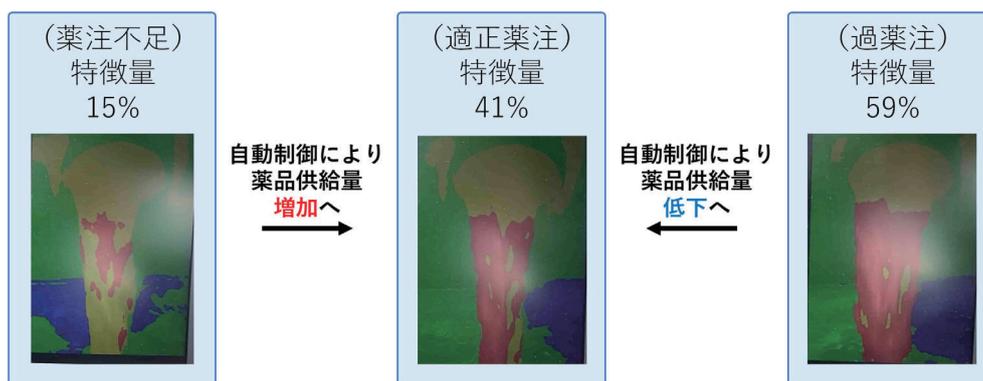


図-3 システム構成例



※AIによる分離液画像解析

図-2 薬注率(薬品使用量)ごとの分離液状態

小間番号

■ 3号館 ■

3-218

【出展者】 巴工業(株)

【所在地】 〒141-0001 東京都品川区北品川5-5-15 大崎ブライトコア19F

【連絡先】 TEL: 03-3442-5156 Eメール: kankyo@tomoe-e.co.jp

担当部署: 環境設備営業部

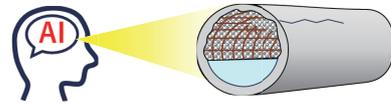
出展ゾーン

計測
設備

AIを活用した下水道管路管理

「画像認識技術」と「劣化予測技術」の活用を提案

下水道管路の老朽化に伴う道路陥没といったリスクが高まっています。日水コンは、下水道管路管理の効率化を目的に、AI技術を活用した取組みとして、下水道管きよ内異常判定並びに下水道管きよ劣化予測の技術開発を進めています。



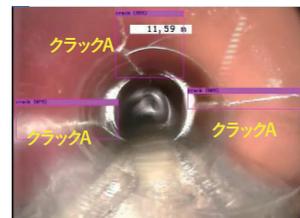
【画像認識】下水道管きよ内異常判定

スクリーニング調査

- ◆ 下水道管きよ内の状態をスピーディかつ低コストで把握するため、管きよ内の清掃作業と併せてノズルカメラやドローン等を用いたスクリーニング調査が実施されています。この際の異常判定は、現状では人間の「目」に頼らざるを得ず、経験の違いにより判定結果にバラツキが生じたり、詳細調査によって判定結果が変わる可能性があることが課題となっています。

- ◆ 当社では作業員が動画を確認し異常箇所を抽出する作業にAI技術を活用し、異常判定精度の統一やスクリーニング調査における作業効率の向上を支援します（アキューティイー株式会社との共同研究中）。

AIによる異常判定

ノズルカメラ等による
直視画像（動画）異常判定
AIモデル
(ニューラルネットワーク)AIモデルにより異常箇所を特定
位置（延長）、異常項目、静止画を記録

課題

- ・判定精度のバラツキ（作業員や調査会社間の格差等）
- ・作業効率の改善（異常判定は現場作業後の事務所作業）

効果

- ・判定精度の統一（作業員の経験差をカバー）
- ・作業効率の向上（現場で動画アップロード&異常判定）

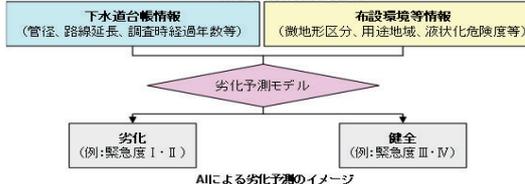
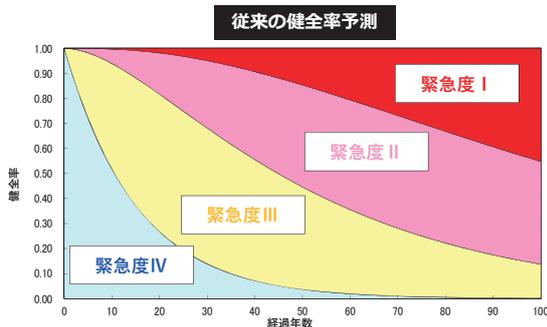
【劣化予測】下水道管きよ劣化予測

ストックマネジメント

- ◆ 老朽化した下水道管きよは増加傾向にあり、持続的な下水道機能確保のためには、計画的な維持管理及び改築事業の実施が必要です。下水道管きよの状態を把握する調査には、多くの時間と費用がかかるため、適切な点検・調査及び改築の実施は、下水道事業の健全な運営に大きく寄与します。

- ◆ 当社では、AI技術を活用し、机上調査の精度を向上させることで、維持管理及び改築事業のコスト削減を支援します。

AIによる健全率予測



課題

- ・老朽化施設の増加と予算制約（効率的な施設管理が必要）
- ・マクロ的な劣化予測（対象施設と事業量が連動していない）

効果

- ・対策必要箇所の抽出
(劣化予測結果から優先度を評価し、効率的に事業を実施)
- ・スパンごとの積み上げによる事業量予測
(対象施設と連動した事業量予測が可能)

小間番号

■ 1号館 ■

1-231

【出展者】(株)日水コン

【所在地】〒163-1122 東京都新宿区西新宿6-22-1 新宿スクエアタワー

【連絡先】TEL：03-5323-6322 Eメール：nsc_gesui@nissuicon.co.jp

担当部署：コンサルティング本部 下水道事業部 事業マネジメント部

出展ゾーン

建設

SPR工法

老朽管路を再生する“スパイラルの力” 施工実績1,655kmを突破！

日本SPR工法協会では、小口径から大口径まであらゆる断面形状に対応できる更生工法を取り揃え、下水道管の老朽化の危機を解決するとともに、管きよの耐震化に貢献しています。今後もインフラの改築・更新事業を支えるべく、品質の向上とコスト縮減に努めてまいります。

SPR工法

適用管径 円形（既設管径）：呼び径 250～4750
非円形：（更生管寸法）高さ800～5750mm、幅800～5750mm

概要 老朽化した既設管の内側に硬質塩化ビニル材（プロファイル）をスパイラル状に製管し、既設管との間に特殊裏込め材を充填することにより、プロファイル・裏込め材・既設管が一体化した強固な複合管として蘇らせる工法です。

《特長》

- ✓下水供用中でも施工可能
- ✓様々な断面形状に対応可能
- ✓曲線部施工に対応（曲率半径5Dまで）



SPR-NX工法

適用既設管径 円形：呼び径 1000～2000

概要 SPR工法の特長に加えて、製管機の小型化により流下阻害を低減。支保工レス注入技術により工期縮減を実現できる工法です。



【新工法】SPR-SE工法エキスパンドタイプ

適用既設管径 円形：呼び径 450～700

概要 製管時にワイヤー挿入を行いなら更生管を構造。ワイヤーを引き抜いた後、プロファイルを送り込むことで更生管が拡径（エキスパンド）し、既設管に密着した自立管を構築します。既設管の強度を期待できないような老朽管でも更生できる工法です。

《特長》

- ✓下水供用中でも施工可能
- ✓拡径（エキスパンド）するだけで施工完了
- ✓プロファイルのみで自立管としての強度を発現



拡径前



拡径後

SPR-SE工法

適用既設管径 円形：呼び径 450～2000

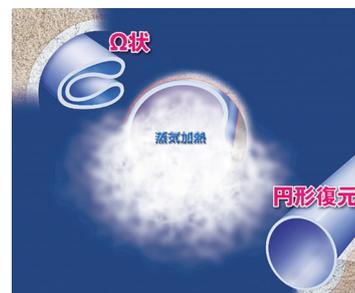
概要 プロファイルに組込まれた高い剛性を持つスチール部材により強度を発現し、更生管だけで自立強度を確保できる工法です。

オメガライナー工法

適用既設管径 自立管タイプ/円形：呼び径 150～400 二層構造管・ライニングタイプ/円形：呼び径 150～450

概要 老朽化したヒューム管、鋼管などの小口径管路を、Ω状に折りたたんだ形状記憶性能を持つ硬質塩化ビニル管を蒸気で加熱することで円形に復元させて更生する工法です。

耐震性・耐摩耗性・耐食性に優れており、有機溶剤を使用しないため臭気や火災が発生する心配もありません。



小間番号

■ 3号館 ■

3-214

【出展者】日本SPR工法協会

【所在地】〒101-0047 東京都千代田区内神田2-10-12 内神田すいすいビル4F

【連絡先】TEL：03-5209-0130 Eメール：info@spr.gr.jp

担当部署：技術部

ホームページはこちら→



出展ゾーン

設計
測量

新しい「業務効率化」のカタチ

デジタルの力を活用し、これからの水インフラを支えます

当社は官民連携を支える各種デジタル技術を駆使した持続可能な下水道事業の発展に取り組んでいます。

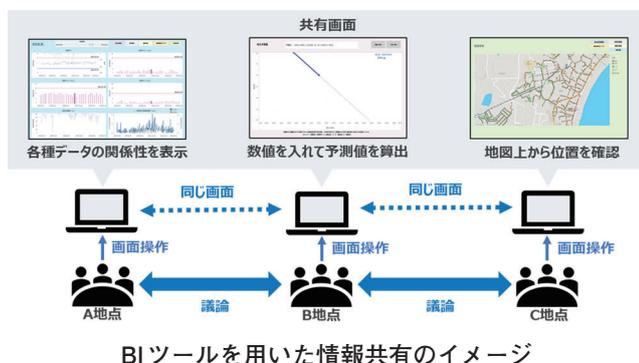
そこで、官民連携事業において、当社が実施しているDX施策等を用いた持続可能な下水道事業を実現するためのサービス展開についてご紹介します。

◆ デジタル情報基盤とデータの可視化・共有

下水道施設における様々な維持管理データを蓄積・集約した「デジタル情報基盤」を構築します。維持管理データを起点に、データ主導のマネジメントサイクルを確立し、効果的な事業マネジメントを実現します。



蓄積・集約されたデータや予測結果はBIツールにより可視化され、遠方においても同じデータを共有することが可能です。グラフの加工やドリルダウンもその場でできるため、意思決定が効率化され、迅速なEBPMの実現に貢献します。



小間番号

■ 1号館 ■

1-225

【出展者】日本水工設計(株)

【所在地】〒104-0054 東京都中央区勝どき3-12-1 フォアフロントタワー

【連絡先】TEL: 03-3534-5533 Eメール: project@n-suiko.co.jp

担当部署: プロジェクト推進室

◆ 管きょのAI劣化予測と対策検討

管きょの劣化状況を精度よく予測するための技術としてAI活用が注目されていますが、AIはあくまで手段であり、予測した結果を行動に繋げることが重要です。当社は管きょのAI劣化予測から対策検討までを一体的に実施することで、管きょの効率的な修繕・改築に貢献します。

◆ スクリーニング調査ロボット「もぐルーペ」

φ150mmにも対応した自走式スクリーニング調査ロボットです。マンホール内への入孔が不要なため、安全に管きょ内点検ができるほか、スマホの映像をみながらラジコン感覚で誰でも操作できます。

複数スパンを連続走行させることで、効率的に詳細調査を実施すべき管きょを絞り込むことができます。



(撮影) 国土技術政策総合研究所 管路模擬施設

ケーブル長は120m。任意のアクションカメラや、温度センサ等を装着することが可能です！

◆ PPP/PFI事業の知見・ノウハウの紹介

当社は下水道コンセッション事業や管路包括事業におけるプレイヤー実績と、多様な官民連携事業のアドバイザー実績があります。これら知見やノウハウを活用し、皆さまの下水道事業を強力に支援いたします。

出展ゾーン

建設

パルテム・フローリング工法

製管工法 —中大口径管きよを更生—

【概要】

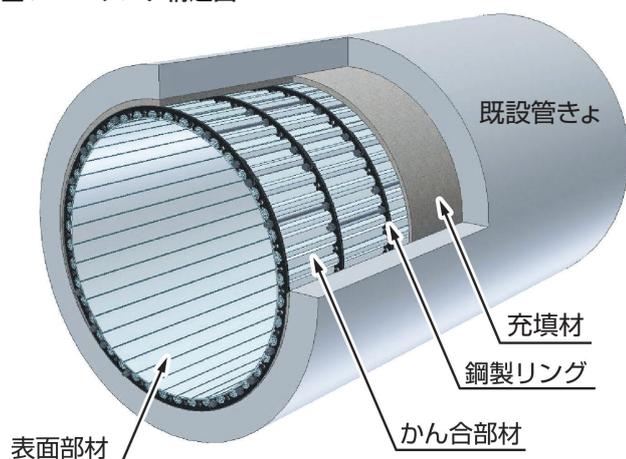
パルテム・フローリング工法は、既設管きよ内で組み立てた鋼製リングに高密度ポリエチレン製のかん合部材と表面部材を組み付け、既設管きよとポリエチレン製部材との間に充填材を注入することにより既設管きよを更生する製管工法です。既設管きよ内に更生された更生管は、既設管きよと更生材が一体になった複合管となります。

《JSWA認定工場制度 II類資器材 登録材料（円管）》

【適用範囲】

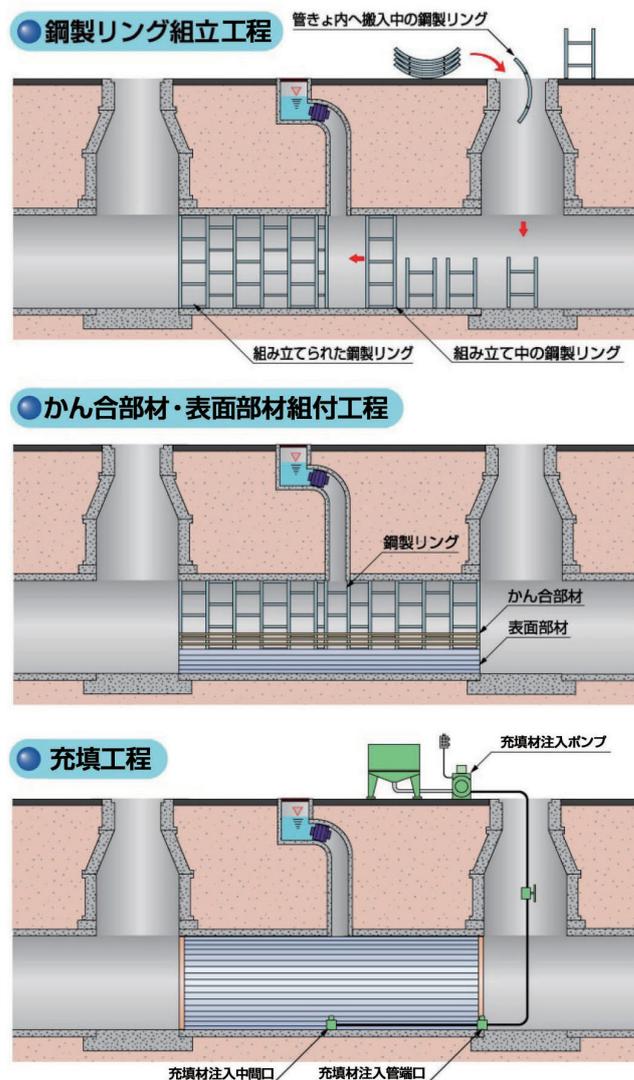
- ・対象管きよ：あらゆる管きよに対応
 - ・適用管径：円形 $\phi 800 \sim 3,000\text{mm}$
非円形 短辺800mm以上
長辺5,000mm以下
(最大施工口径の実績 $\phi 6,000\text{mm}$)
 - ・施工延長：制限なし
 - ・適用断面：円形、非円形（矩形、馬蹄形、門形）
 - ・曲率半径：3.6m以上（内法）
- ◆オーダーメイドの強度設計が可能
 - ◆曲がり配管にも容易に施工
 - ◆あらゆる断面形状に対応

■フローリング構造図



- ◆門形施工も可能
- ◆勾配調整も可能
- ◆流下性能の向上
- ◆優れた耐久性
- ◆「管きよ更生工法における設計・施工管理ガイドライン」に沿った設計が可能

【施工工程】



小間番号

■ 3号館 ■

3-105

【出展者】パルテム技術協会

【所在地】〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-6-9 佐藤産業ビル4F

【連絡先】TEL：03-5825-9455 Eメール：jimukyoku@paltem.jp

担当部署：事務局（技術部）

出展ゾーン

建設

パルテムSZ工法

形成工法 —新しい強靱なFRP管を形成—

【概要】

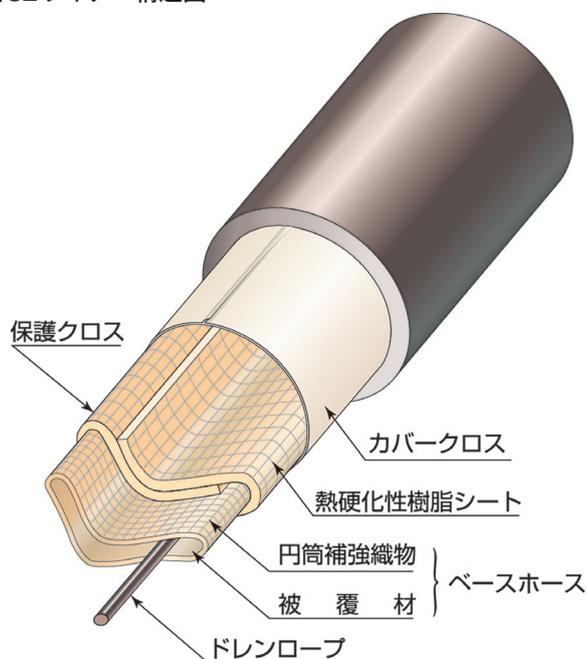
パルテムSZ工法は、円筒補強織物に熱可塑性樹脂を被覆した強靱なベースホースの外側にチョップドストランドガラス繊維に熱硬化性樹脂を含浸させた熱硬化性樹脂シートと保護クロス巻きつけたSZライナーを管内に引き込み、空気圧により管内面に圧着し、蒸気で加熱硬化させて既設管きよ内に自立管を形成する管更生工法です。レベル2の地震動にも耐える優れた耐震性を有し、φ800mmまでの既設管きよの地盤変動にも追従します。また、耐久性に優れ、欠損部分への対応が可能です。

《JWSA認定工場制度 II類資器材 登録材料》

【適用範囲】

- ・適用管径：下水道本管 φ150～800mm
- ・施工延長：100m以下
- ・適用管種：鉄筋コンクリート、コンクリート管、塩ビ管、陶管など

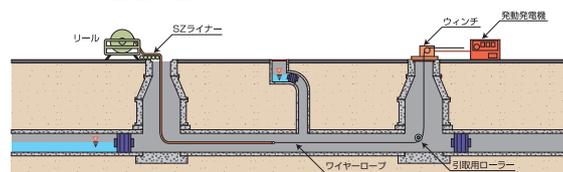
■SZライナー構造図



- ◆「管きよ更生工法における設計・施工管理ガイドライン」に沿った設計が可能
- ◆地震に強く、地盤変動にも追従する優れた工法
- ◆優れた耐ストレインコロジー性能
- ◆環境にやさしく、短時間施工を実現
- ◆新管と同等以上の流下能力
- ◆優れた耐久性と欠損部にも対応
- ◆安定した施工と品質管理
- ◆より薄く、より経済的に二層構造管にも対応

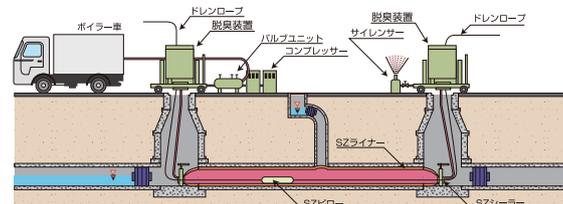
【施工工程】

SZライナーの引込工程



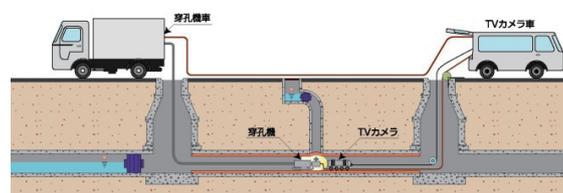
ウインチでSZライナーを管きよ内に引込みます。

SZライナーの拡張・加熱養生工程



SZライナーの端部にSZシーラーを取付け、圧縮空気によりSZライナーを管きよ内に圧着させ蒸気に置換することによって硬化させます。

取付管口穿孔工程



SZパイプでふさがれた取付管口を穿孔機で穿孔します。

小間番号

■ 3号館 ■

3-105

【出展者】パルテム技術協会

【所在地】〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-6-9 佐藤産業ビル4F

【連絡先】TEL：03-5825-9455 Eメール：jimukyoku@paltem.jp

担当部署：事務局（技術部）

出展ゾーン

維持
管理

「ELIOS 3」を活用した下水道点検技術

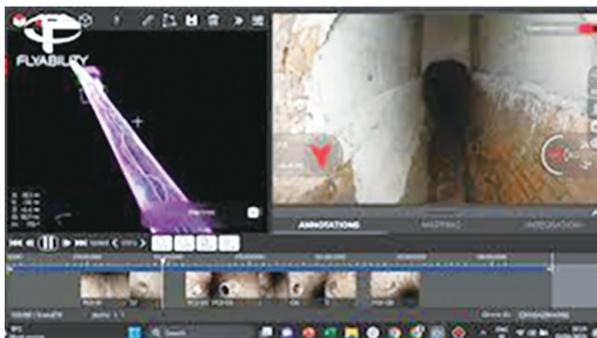
海外では導入多数、国内では八潮市の事故にも活用

【技術の概要】

本技術は、球体ガードを有するドローン「ELIOS 3 (Flyability社製)」を活用して、狭く、暗い下水道管内を安全に点検する技術です。機体の安定性能が高く、地上部から操縦することで地下に潜ることなく点検し、3Dマップの作成も可能です。安全確保と作業効率化を実現します。

【ポイント】

- ① 従来の潜行目視と同等の成果
- ② 作業を効率化し、従来の2倍の日進量
- ③ 地上から点検可能、現場の作業がより安全に



【主な機能】

ELIOS 3は、地上部から操作することができ、作業員は下水道内に立ち入る必要はなく、安全に点検が可能です。飛行中に撮影した映像は、16,000lmのLEDライト(車のヘッドライトと同等)と4K画質のカメラにより、従来の潜行目視と同等の結果を得ることができます。また、搭載されたLiDARにより精細な3Dモデルが作成でき、撮影したポイントを3Dマップ上で確認したり、配管の形状を把握したりすることができます。

例えば、トンネル内部のコンクリートの劣化状況について、ひびが入っている様子や表面が剥離し陥没している様子が、映像によりしっかり確認でき、3Dマップ上で場所を確認することができます。さらに、3Dモデルを過去と比較することもできるので、映像のみでは発見しづらい構造の変化等の把握が可能になります。

【事例紹介】

シドニーでは、老朽化した下水道の修復作業が進められています。しかし、作業員にとって落下、有害ガス・低酸素、大水流、天井崩落といったリスクが懸念されていました。そこで、ELIOS 3を活用した点検が進められています。その結果、以前は2時間以上かかっていた点検を30分以内に完了、さらに作成された3Dマップは、トンネルの寸法や劣化状況が把握できるようになり、迅速な意思決定に貢献しています。

国内では、八潮市事故の状況把握に活用されました。



<参考>

ELIOS 3 特設サイト

https://www.blue-i.co.jp/solution/inspection/inspection_04.html

「ドローンの管内調査適用事例」令和4年度技術報告集(第37号)

小間番号

■ 1号館 ■

1-212

【出展者】ブルーイノベーション(株) / Flyability SA

【所在地】〒113-0033 東京都文京区本郷5-33-10 いちご本郷ビル4F

【連絡先】TEL: 03-6801-8781 Eメール: inspection@blue-i.co.jp

担当部署: 営業本部

出展ゾーン

下水
処理

インライン型破砕機 モーノカッター

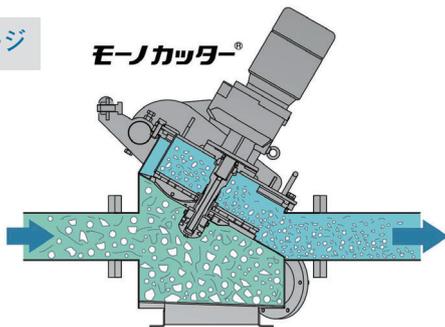
汚泥中に含まれる「し渣」を破砕し、後段機器を保護

モーノカッターは、汚水・汚泥に含まれる固形物を細かく破砕し、後段機器への絡みつきを防ぐ一軸汚泥細断機（破砕機）です。



「日本下水道事業団 機械設備標準仕様書」
第10章 第5節 §2 一軸汚泥細断機（インライン型）に適合

細断イメージ



流れてきたし渣を固定刃でとらえ、回転刃で細かく破砕。異物の絡みつきのプロセス停止を防ぎ、機器の長寿命化に貢献します。

配管接続例



配管を接続したままで、内部の点検や、トラップに溜まった固形物の回収・除去を行えます。部品点数が少ないシンプルな構造なので、現場で、短時間で部品交換を完了できます。

■導入メリット

【清掃にかかっていたコストを削減】

頻繁に点検・清掃が必要だった汚泥貯槽の攪拌機や濃縮機、ポンプへのし渣の絡みつきの閉塞がなくなり、清掃にかかっていた時間やコストを削減できます。

【後段側の機械部品の交換頻度が下がり、長寿命化】

安定稼働により、消耗部品の寿命を改善します。

【廃棄物の処分コストを削減】

収集・運搬・処分費がかかっていた廃棄物が、破砕すれば汚泥に混合して脱水汚泥として処分可能に。
※汚泥処理施設内でし渣を破砕した場合

【機器構成がシンプルに】

し渣の処理フローをシンプルにすれば、分離機や脱水機など複数の装置が不要となり、建設費や運転管理コストの削減にも貢献します。

【自主保全が可能で、ダウンタイムを削減】

シンプルな構造で自主メンテナンスが容易なため、施設の稼働を止める時間を短縮できます。

■採用例

前処理設備、送泥設備、濃縮設備、消化設備、脱水設備、消化ガス発電設備、畜産廃棄物および食品廃棄物バイオガス発電設備 ほか

■大型破砕機（新型）をご紹介します

下水道展では、従来品のほか、大流量に対応できる新型のモーノカッターも出展します。汚泥処理工程だけでなく前段の水処理工程でもご使用いただけるので、メリットを享受できる後段機器が増えます。

製品情報はこちら



小間番号

■ 4号館 ■

4-112

【出展者】 兵神装備(株)

【所在地】 〒541-0053 大阪市中央区本町4-3-9 本町サンケイビル12F

【連絡先】 TEL: 06-6243-0101 Eメール: info@mohno-pump.co.jp

担当部署: 大阪支店 営業本部 製品情報サイト: www.mohno-pump.co.jp

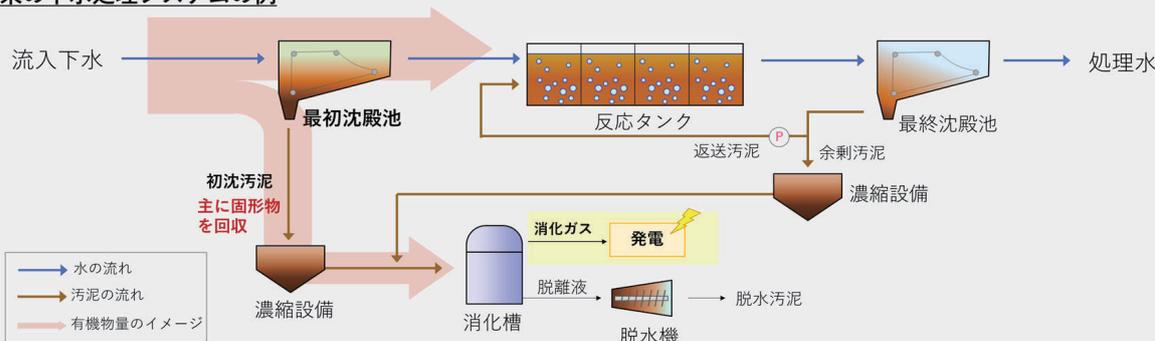
出展ゾーン

下水
処理

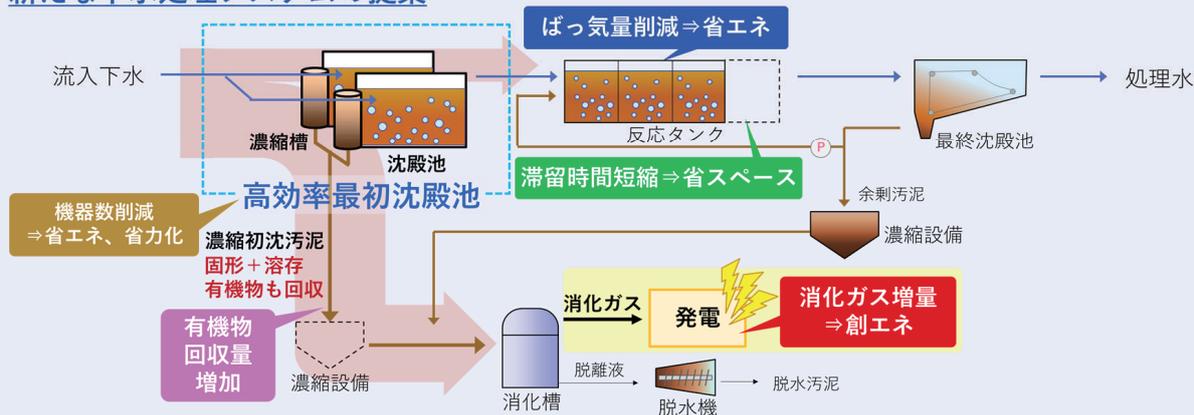
高効率最初沈殿池による下水エネルギー回収技術 脱炭素社会に向けた下水活用ソリューション

人口減少×脱炭素対策の観点で、設備の省力化とエネルギーの回収を同時に実現します。

従来の下水処理システムの例



新たな下水処理システムの提案



適用範囲

- 標準活性汚泥法等による下水処理場再構築時の最初沈殿池の代替技術です。
- 下水処理場最初沈殿池更新時の代替技術です。

B-DASHプロジェクト実規模実証

国土交通省国土技術政策総合研究所から委託を受け、大阪市との共同研究体による実証事業を、住之江下水処理場で令和4年度から令和6年度にかけて実施しました。

特徴

- 下水の未利用エネルギーを引き出し、創エネと省エネを実現します。
- エネルギー回収は従来法より1.1～1.5倍となります。
- 従来技術より機械点数を減らすことで省力化を図ります。
- 下水処理システムのコンパクト化により省スペース化にも貢献します。

小間番号

■ 4号館 ■

4-207

[出展者] (株)明電舎

[所在地] 〒141-6029 東京都品川区大崎2-1-1 ThinkPark Tower

[連絡先] TEL: 080-8170-3725 Eメール: takakura-mas@mb.meidensha.co.jp

担当部署: 水インフラ技術本部 技術部

出展ゾーン

ディーオーマックス

フォールズ

下水
処理

重力式酸素溶解器 DO-MAX Falls

曝気に代わる新しい方法で酸素を水に溶かす技術搭載

曝気に掛かる電気代・CO₂排出量を大幅に削減

装置の仕組み

～溪流や滝つぼの現象を装置内に再現～

【三層構造】

DO-MAX Fallsは「溪流や滝つぼの現象を装置内に再現」しています。内部の構造は、上部・中央部・下部と3層の構造になっており、上部は溪流、中央部は滝、下部は滝つぼの現象を再現しています。

【酸素溶解方法】

酸素溶解方法は非常にシンプルで、本体内部で液体の流れを作ることで大気中の酸素を液体に溶解させます。内部で作られる液体の流れは「激しい流れ」であり、この「激しい流れ」が持つ性質を利用して大気中の酸素を液体に溶解させます。



【特徴】

- エアレーションと違い、装置の中で酸素を直接水に溶かす
- 曝気槽の深さが浅くても、深くてもOK
酸素溶解に影響なし
- 軽量のため、装置自体を移動できる
- 自然の力を利用、装置に電源がない
- 低出力の水中ポンプに接続するだけ
※150tタイプは250W（ブロー7.5kW相当の能力）
300tタイプは750W（ブロー15kW相当の能力）
- 散気管が必要ない ●縦対流が起きない
- 稼働停止することなく短時間で取付できる
- 既存設備の改修等せずに取付ができる

【期待される効果】

- 酸素が効率よく溶けるため、好気性微生物の活動を促進
- 曝気に使用されていた電気代を大幅に削減可能
CO₂排出量削減に貢献
- 低出力の水中ポンプに接続するため音が静か

排水処理における大きな課題の一つは、24時間365日稼働し続ける曝気に掛かる電気代をいかに削減するか、です。曝気による排水処理が始まって約100年。その技術は大きくは変わることなく今現在もそれが主流です。DO-MAX Fallsは、世界初の曝気とは全く異なる方法で、効率よく酸素を水に溶解するため、電気代・CO₂排出量の大幅削減が期待できます。

小間番号

■ 5号館 ■

5-222

【出展者】安原環境テクノロジー(株)

【所在地】〒742-0023 山口県柳井市南浜1-1-18

【連絡先】TEL: 0820-22-6194 Eメール: info@yasuhara-bio.com

担当部署: 技術開発室



QRコード 装置紹介動画

出展ゾーン

下水
処理

最適操業支援サービス DDMOnEX

処理水質とエネルギーの最適化を実現するモデリング技術

1. DDMOnEXとは

地域のニーズや環境目標に応じて下水処理場などが積極的に水環境をコントロールする「能動的水環境管理」が注目されています。これの達成には、処理水質およびエネルギーの両面を同時に管理・最適化する「二軸管理」が重要となります。DDMOnEX（以下、DDMO[※]）は、運転データを統計的手法により解析し、抽出された特性式に基づき、目標水質に応じた最適な操作量を導出します。これにより、きめ細やかで能動的な運転管理を実現します。

モデル構築には、YOKOGAWA独自のアルゴリズムであるデータ駆動型モデリング技術を採用しています。

※ Data Driven Modeling for Optimization

2. DDMOの特徴

DDMOは、処理水質とエネルギーの両立を目指す、最適化のためのデータ駆動型モデリング技術です。以下にその特徴を示します。

(1) 運転データを解析し、変数間の関係を表す特性式として抽出します。

(2) 抽出された特性式は、最適化用のモデルに変換されるため、プログラムの知識が不要です。

(3) モデルは自動で構築できるため、特性式のリチューニングが容易であり、自動調整機能によりモデルの陳腐化を防ぐことができます。そのため、現場の状態に即した運用が可能となります。

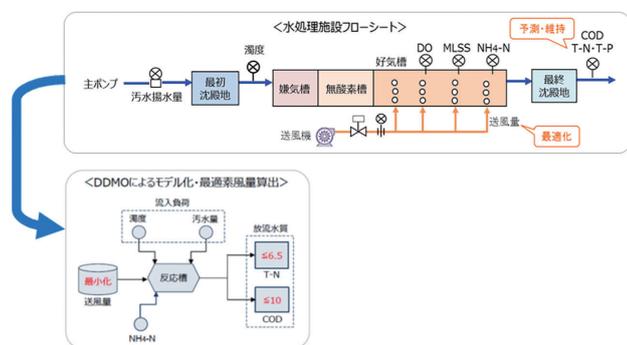
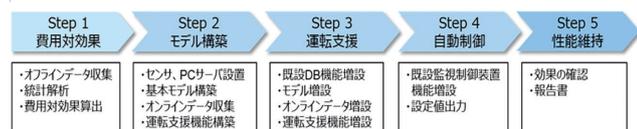
3. DDMOの適用事例

下水処理場の水処理プロセスにDDMOを適用し、実証試験を実施しました。実証試験では、モデルより、処理水質T-NおよびCODが管理基準値以下、かつ、電力コストが最小となるような送風量および送風機台数を導出し、運転しました。その結果、送風量を8.6%、送風機に係る電力量を9.6%削減することができました。処理水質の維持と省エネの両立を実現することができました。

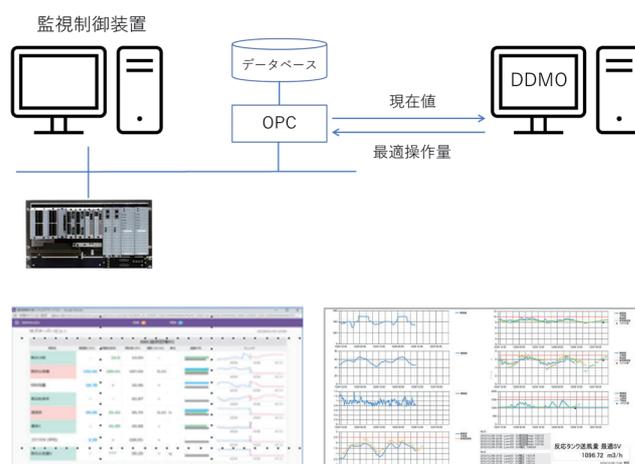
4. ビジネスモデル

DDMOは、既設監視制御設備に後付け可能な業務委託ビジネスを目指しており、本ビジネスの展開とシステム構成イメージを下記に示します。

～DDMOのビジネス展開～



～システム構成例～



小間番号

■ 3号館 ■

3-119

【出展者】横河ソリューションサービス(株)

【所在地】〒180-8750 東京都武蔵野市中町2-9-32

【連絡先】TEL: 0422-52-6701 Eメール: ZGJP-water-wastewater@cs.jp.yokogawa.com

担当部署: 環境システム本部 企画部

出展ゾーン

維持
管理

ドローン点検と3Dデータ活用

安全・効率的な点検のためのDX推進

昨今、建設業界の人材不足の中で、業務の「DX化」が全国的に進んでいます。弊社は「非GPS下対応の狭小空間専用小型ドローン（IBIS2）」のメーカーLiberaware社と業務提携を結び、公認のサービスプロバイダとして下水道施設に限らず、天井裏やプラントなど様々な環境での点検サービスを行なっています。

下水道展'25大阪では、下水処理施設における安全かつ効率的なDXツール活用を実例とともに紹介します。

【流域下水道管ドローン点検】

弊社は埼玉県で発生した道路陥没事故でも活用されたIBIS2を用いて、管渠や貯留槽内部、その他下水処理施設の点検を行なってきました。

令和7年3月、島根県で実施された流域下水道管の緊急調査では目視での点検に合わせ、一部区間において試験的に弊社のサービスを活用頂き、操縦者や点検者は安全な場所にいたまま、ドローンによる管渠内部（マンホールから上流下流約100mずつ）の動画撮影（データ収集）を実施することができました。なお、ドローン搭載のLED照明により、暗闇環境でも鮮明な映像を取得できます。

800mm以上の気相部があれば飛行できるため、特に大口径において従来の潜行目視やTVカメラ車の活用が難しい高水位の環境で活躍が期待されます。

更に映像解析サービスまで一貫して行っているため、撮影映像から管内部の展開オルソ画像や3次元データの生成も可能です。(費用はご相談ください)



IBIS2天井裏飛行の様子 φ 2,600管渠内映像（フルHD）

【3次元データ活用】

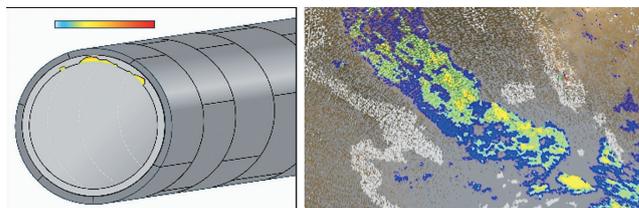
管渠内部を3Dモデルにすることで、スケールや構造を詳細に確認できるため、人による点検での見落とし軽減に繋がります。経年変化（老朽化の進行具合）が分かるようになります。



管渠の3Dモデル

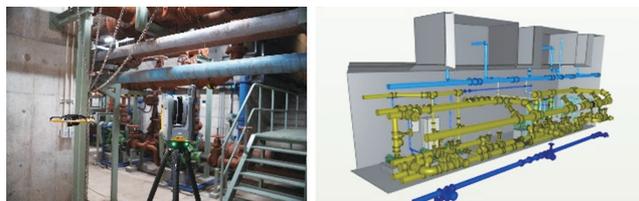
シールド管においては、二次被覆の腐食厚を点群データからコンター図（※）として分析する検証を行っています。定期的に管渠内部をドローンで撮影し、点群比較により劣化の進行状況を可視化することで、管更生工事の定量的な判断材料として期待されます。

※基準面に対するズレ幅（腐食厚）に応じて色分けしたデータ



右：コンター図データ（イメージであり、実際の現況と異なります）

管廊施設では、3Dレーザースキャナーを使った点群取得に加え、ドローン映像からの点群化技術を併用することで、レーザの死角や高い位置のデータを補うことができるようになりました。その結果、現況を素早く詳細に図面化できるようになり、更新工事の計画にご活用頂いています。



管廊の点群取得

管廊の3DCAD図面モデル

小間番号

■ 1号館 ■

1-214

【出展者】(株)ワット・コンサルティング

【所在地】〒221-0052 横浜市神奈川区栄町10-35 Jプロポートサイドビル4F

【連絡先】TEL：045-565-5718 Eメール：drone@jp-wat.com

担当部署：本部 建設DXセンター

下水道事業を サポートする As a supporter 関連団体の取り組み

下水道事業の構想立案・計画設計から、管路・処理施設の建設・改築更新、維持管理・運営まで、各事業フェーズにおける地方公共団体の取り組みや国の政策展開をサポートする役割を担うのが数多くの下水道関連団体。それらの中から、4つの団体（持続可能な社会のための日本下水道産業連合会、日本管路更生工法品質確保協会、日本下水道施設管理業協会、日本下水道施設業協会）にスポットを当てて、その設立目的や活動の経緯、事業内容・成果などをご紹介します。

01

一般社団法人

**持続可能な社会のための
日本下水道産業連合会**

Federation of Japanese Industry of Sewerage Service for Sustainable Society

FJISS

02

一般社団法人

日本管路更生工法品質確保協会

Japan Pipe Rehabilitation Quality Assurance Association



03

一般社団法人

日本下水道施設管理業協会

Japan Sewerage Treatment Plant Operation and Maintenance Association



04

一般社団法人

日本下水道施設業協会

Japan Sewerage Treatment Plant Constructors Association



道頓堀

一般社団法人 持続可能な社会のための日本下水道産業連合会

Federation of Japanese Industry of Sewerage Service for Sustainable Society

【所在地】〒101-0047 東京都千代田区内神田2-10-12 内神田すいすいビル5階

【TEL】03-3527-1990 【FAX】03-3527-1991

【Eメール】office_main@fjiss.or.jp 【ホームページ】https://fjiss.or.jp/

【会長】野村 喜一（代表理事）

【会員数】正会員59社、賛助会員3社・1団体（令和7年5月1日現在）

FJISS

■業種を超えて民間企業が結集■

○沿革

（一社）持続可能な社会のための日本下水道産業連合会（略称：FJISS）は、下水道事業に関わる民間企業が業種横断的に結集し、令和2年4月に設立しました。設立当初は正会員21社でスタートしましたが、FJISSの活動に賛同をいただき、現在63会員（正会員59社、賛助会員3社・1団体）まで拡大しました。

○FJISSの特徴

FJISSの特徴の1つ目は「民主性」であることです。SDGs達成への貢献を目標に掲げる企業が、持続可能な社会の実現に向けた具体的な取り組みの1つとして下水道事業に係る新法人活動へ参加する“民間企業主導”のスキームとなっています。2つ目は「業種横断的」である点です。下水道事業に携わる機械電気設備メーカー、ゼネコン、専門土木、管路管理、施設管理、資器材、コンサル、測量など、多様な業種の企業を会員とする唯一の民間団体です。そして3つ目は「未来志向」です。“官から民へ”の時代の先にあるものも見据え、自らの責任を自覚し志を高く持ってFJISS会員であれば任せられる企業だと信頼される団体を目指しています。

○令和6年度の主要な取り組み・成果

国会や政府、自治体等に対し提言や要望を行う「提案事業」、下水道事業やその産業のイメージアップを図る「広報事業」、情報を収集・整理して新たな価値を会員に提供する「キュレーション事業」の3つの事業を柱に取り組みました。

「提案事業」では、「W-PPP等の官民連携における調査・検討、提言」、「下水道事業を支える人員体制確保の調査・検討、提言」を中心に、引き続き国土交通省上下水道審議官グループのほか、日本下水道協会や日本下水道事業団との意見交換会を開催するなど、下水道事業を取り巻く諸課題について有意義な意見交換を交わすことに努めてまいりました。

また、立法府への働きかけも積極的に行い、「自民党有志議員との下水道勉強会」を継続して行う中で、長期の官民連携事業（「ウォーターPPP」手法等）が広がる中で、下水

道の維持管理の現状とリスク対応の在り方などを、具体的なデータを示しながら提案させていただきました。

「広報事業」では、FJISSの取り組み・成果を積極的に情報発信しました。『下水道展'24東京』では、FJISS主催のセミナーを企画し「英国における官民連携の現状と我が国のこれから」と題し、PFI事業の国外の動向と課題をご紹介しました。

「キュレーション事業」では、「官民連携DB」の維持・更新を図り、会員向けのサービスの提供を継続するとともに、会員が保有する「温室効果ガス（GHG）削減技術」についても募集し、関係団体や内外に紹介するよう努めてまいりました。一連のキュレーション事業の成果は、今後の提案活動に具体性を持たせるデータの蓄積にも貢献しています。

○令和7年度の主要な取り組み

本年1月に発生した八潮市の道路陥没事故では、救助活動も重なり、120万人の住民への影響、下水の緊急放流による河川への影響、通信ストップなどが非常に広範囲に、且つ長期間に及んでいます。今回の事故で、供用中の下水道管の破損が、生活に重大な支障を来すこと、また、その復旧も容易でないことが明らかとなりました。

これを踏まえ、従来の事業方針を継続する中で、新たに「大規模リスクを踏まえた施設の強靱化の在り方」を重点分野に加えるとともに、「官民連携」においても大規模リスク対応についての検討を進めることとします。

【大規模リスクを踏まえた施設の強靱化の在り方】八潮市で発生した流域下水道の破損に起因する大規模陥没事故を教訓に、今後、大規模幹線における事故リスクを回避するために、重要箇所については改築時に維持管理や非常時のバックアップを考慮した強靱化の必要性を検討します。

【W-PPP等の官民連携における調査・検討】アセットマネジメント（資産の積極的活用）を前提としつつ、官民連携のあり方にフォーカスして取り組み、特に「ウォーターPPP」に対し民間の立場から、その課題や改善提案を行います。その際に、管理を受ける民間企業のリスクの大きさが表面化しますので、適切な官民の責任範囲の設定や事前のリスク検討が不可欠であることに留意します。

【下水道事業を支える人員体制確保】下水道事業を支える我々民間企業においても、少子高齢化や働き方改革の中で、人的体制を保持するのは難しくなっています。労働人口が減る中では、処遇改善による他産業との人材確保競争では担い手確保はできないことから、社会的インフラである下水道事業及び各企業の「生産性向上（1人あたりの付加価値）」を図り、下水道事業をより少ない人数で運営可能となる『働き方改革』が求められています。実態把握等必要な改善策を検討し、引き続き規格に係る検討状況や歩掛調査の動向もフォローします。

前年度の成果を通じて得た知見等を踏まえ、会員への有益な情報提供並びにサービス向上に努めるとともに、重点分野の実現に向けて「総務委員会」と「企画委員会」が協働して取り組んでまいります。

FJISSの取り組み・成果を積極的に情報発信



一般社団法人 日本管路更生工法品質確保協会

Japan Pipe Rehabilitation Quality Assurance Association

[所在地] 〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-9-11 石川COビル3階

[TEL] 03-3526-6336 [FAX] 03-3526-6337

[ホームページ] <https://www.hinkakukyo.jp/>

[会長] 渡辺 志津男

[会員数] 正会員81社、特別会員14団体、賛助会員7社・3協会・2団体（令和7年6月3日現在）



1. 品確協の近況報告

管路更生工法の普及拡大を図り、更生事業を推進するため、全国の自治体等へのPR活動を継続して行っています。今後は社会全体に向けても下水道管老朽化の実態や更生工法の優位性、信頼性をアピールしていくことが欠かせません。

品質確保協会としては、今後も機関誌やホームページによる広報の充実を図って参ります。さらに、近年の社会が求めるSDGsへの貢献などについても、更生工法採用による効果を訴えていくなどの工夫を重ねて参ります。

2. HPで有資格者在籍企業の検索ができます

発注者様向けのサービスとして、ホームページ画面から、地域別（県・市単位）で技術者名・企業名および該当会社所属の技術者数が閲覧できます。入札時の参照にご利用頂きたいと思ます。

《資格者閲覧のイメージ》

| 都道府県別技術者所属企業一覧 | | | | 近企業数 | 都道府県 技術者所属企業数 |
|----------------|----------|-----|----------|------|---------------|
| 都道府県 | 技術者所属企業数 | 市町村 | 技術者所属企業数 | 35社 | 岡山県 173社 |
| 都道府県 | 技術者所属企業数 | 市町村 | 技術者所属企業数 | 52社 | 広島県 107社 |
| 都道府県 | 技術者所属企業数 | 市町村 | 技術者所属企業数 | 16社 | 山口県 39社 |
| 都道府県 | 技術者所属企業数 | 市町村 | 技術者所属企業数 | 57社 | 徳島県 12社 |
| 都道府県 | 技術者所属企業数 | 市町村 | 技術者所属企業数 | 18社 | 香川県 23社 |
| 都道府県 | 技術者所属企業数 | 市町村 | 技術者所属企業数 | 55社 | 愛媛県 26社 |
| 都道府県 | 技術者所属企業数 | 市町村 | 技術者所属企業数 | 162社 | 高知県 5社 |
| 都道府県 | 技術者所属企業数 | 市町村 | 技術者所属企業数 | 40社 | 福岡県 349社 |
| 都道府県 | 技術者所属企業数 | 市町村 | 技術者所属企業数 | 16社 | 佐賀県 29社 |
| 都道府県 | 技術者所属企業数 | 市町村 | 技術者所属企業数 | 65社 | 長崎県 43社 |
| 都道府県 | 技術者所属企業数 | 市町村 | 技術者所属企業数 | 236社 | 熊本県 86社 |
| 都道府県 | 技術者所属企業数 | 市町村 | 技術者所属企業数 | 181社 | 大分県 32社 |
| 都道府県 | 技術者所属企業数 | 市町村 | 技術者所属企業数 | 38社 | 宮崎県 26社 |
| 都道府県 | 技術者所属企業数 | 市町村 | 技術者所属企業数 | 21社 | 鹿児島県 48社 |
| 都道府県 | 技術者所属企業数 | 市町村 | 技術者所属企業数 | 18社 | 沖縄県 10社 |
| 都道府県 | 技術者所属企業数 | 市町村 | 技術者所属企業数 | 42社 | |
| 都道府県 | 技術者所属企業数 | 市町村 | 技術者所属企業数 | 16社 | |

3. 『下水道管路更生管理技士』資格試験制度



管路更生工法の全般の基礎的な知識を確認する一次試験は4回/年、実際に施工管理する上で必要な各工法のノウハウと知識を確認する二次試験は2回/年、それぞれ実施しています。

また、5年ごとに資格者証の更新が必要となりますので、有効期限内には適切な手続きを行って下さい。



一般社団法人 日本下水道施設管理業協会

Japan Sewage Treatment Plant Operation and Maintenance Association

[所在地] 〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-25-9 Daiwa八丁堀駅前ビル西館2階

[TEL] 03-6228-3291 [FAX] 03-3555-1330

[Eメール] kyv04167@nifty.com [ホームページ] <https://www.gesui-kanrikyo.or.jp/>

[会長] 西原 幸志 [常務理事] 植田 達博

[会員数] 正会員136社、賛助会員7社（令和7年6月1日現在）



はじめに

当協会は、重要な社会インフラである下水道施設の維持管理を担う集団として、技術力向上や安全衛生対策充実等のため、技術資料等の出版、講習会、施設見学会の開催、意見交換会活動、広報活動等を行い、社会発展に貢献しています。

《運営方針》

1. 社会貢献活動の充実
2. 会員貢献活動の充実
3. 地域貢献活動の充実

1) 技術力向上への取り組み

技術と知識の向上を目的として、毎年、全国7都市及びオンラインで技術講習会を開催し、協会会員だけでなく、地域や社会にも貢献しています。

《令和7年開催予定》

- ・札幌会場：9/19
- ・仙台会場：9/26
- ・東京会場：10/3
- ・名古屋会場：10/10
- ・大阪会場：10/17
- ・広島会場：10/24
- ・福岡会場：10/31



講習会風景

2) 安全衛生への取り組み

- ・下水道処理場維持管理業務の安全衛生啓発活動の一環としてDVDをシリーズ化して作成しています。これまで全7巻の安全DVDを製作して、安価で販売しています。
- ・各支部においても、会員価格5,240円 非会員8,380円安全衛生講習会を開催しています。



維持管理安全DVD

3) 災害支援への取り組み

過去の被災経験を活かし、災害危機管理指針を作

成し災害に備えるとともに、全国支援ルールに基づき被災地方自治体、国、県、関連団体等との速やかな連携と情報の共有に取り組むとともに、地方自治体との災害支援協定も締結しています。（現在17団体）



4) 協会発行図書

機関誌「維持管理」その他の出版物を発行して技術支援や協会活動の情報提供をしています。令和4年に「下水道処理施設維持管理の実務」を発行しました。

- ・会員価格 6,050円
- ・非会員 8,470円



5) 国や公共団体との意見交換

国土交通省や地方公共団体等との意見交換を行い、情報の共有や意見の交換を行っています。また、市民団体との交流などにより、下水道の維持管理についての理解促進に努めています。

6) 官庁等との連携

国土交通省や下水道協会主催委員会の委員や、日本下水道事業団主催研修の講師を派遣しています。

7) 下水道処理場維持管理業務のPR

下水道処理場の仕事を紹介するDVDを製作・配布し、YouTubeでも公開しています。



8) その他の活動

各種講演会、施設見学会、下水道展への出展等を行っています。下水道展にお越しの節は、協会ブースへぜひお立ち寄り下さい。当協会に関する各種情報はWebで(<https://www.gesui-kanrikyo.or.jp/>)公表しています。ぜひご覧下さい。

一般社団法人 日本下水道施設業協会

Japan Sewage Treatment Plant Constructors Association

[所在地] 〒104-0033 東京都中央区新川2-6-16 馬事畜産会館2階

[TEL] 03-3552-0991 [FAX] 03-3552-0993

[Eメール] iwata@sisetsukyo.jp [ホームページ] <https://www.siset.or.jp/>

[会長] 北尾 裕一 [専務理事] 原田 一郎

[会員数] 正会員33社、賛助会員6社（令和7年6月1日現在）



日本下水道施設業協会は、「下水道事業の円滑な執行とその促進に寄与し、国民生活の環境改善と産業発展に貢献すること」を目的に、昭和56年11月に設立されました。平成23年4月には一般社団法人へ移行し、令和3年に設立40周年を迎えました。

現在、当協会は下水処理施設や、ポンプ場のプラント工事にかかわる機械・電気設備メーカー39社（正会員33社、賛助会員6社）で構成されています。当協会会員は、下水道施設の主要部を地方公共団体等と直接契約し、自ら設計、製造、施工し、適正な性能を発揮する納入実績を多数有する企業から成り立っています。

当協会がめざす役割は以下のとおりです。

1. 品質の確保

市民が安全に安心して生活できるよう下水道施設の品質を確保していく。

2. 下水道のバリューの発信

広報活動を通じて、下水道の真の価値（バリュー）を発信していく。

3. 多様な官民連携の推進

下水道事業の補完者として事業者のあらゆるニーズに応えていく。

4. 新技術の開発と普及

激変する気候やグリーンイノベーション下水道実現に 대응する製品を開発し、DXを活用しながら地方財政の健全化に寄与していく。

5. 会員企業の発展

協会活動を通じて、会員企業が健全な発展をめざしていく。

下水道事業は新增設から改築更新の時代に移行してから久しく、更に老朽化に対する強靱化とレジリエンス強化が求められています。不安定な社会情勢に依る物価高騰や資機材調達の状況は一層厳しさを増しており、健全な下水道の維持・発展に対する危機感が高まっています。一方で国の重要課題であるGX推進に技術開発等で貢献すると共に、ガイドライン2.0が公表されたウォーターPPP推進についても、これまで以上に官民一致団結して取り組んでまいります。

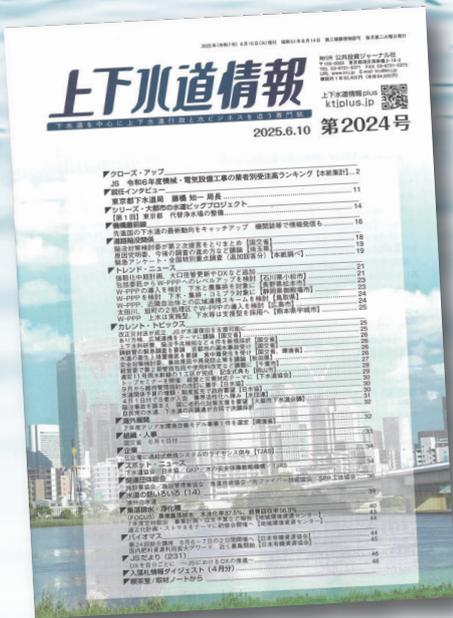
下水道は災禍においても事業継続が求められる、安全安心な暮らしに不可欠な社会インフラです。日本下水道施設業協会は上記5つの役割を果たして行くことで、下水道事業の安定継続とプレゼンス向上に努めてまいります。



令和6年7月29日 国交省への提言活動



令和7年5月30日 定時総会



下水道を中心に上下水道行政と水ビジネスを追う専門紙

上下水道情報

定期刊行物+Webメディアの両輪で展開

国土交通省所管の上下水道事業をはじめ、国の水環境保全・水環境整備に関わる施策や地域のプロジェクト動向を掘り下げて伝える“プロ仕様”の専門紙です。

- ◆昭和 51 年創刊「下水道情報」を令和6年4月に改題、「上下水道情報」にリニューアル。半世紀の実績と信頼
- ◆下水道事業・水道事業をはじめ、国の水環境保全に関する施策、長期計画、予算、事業方針、組織・人事 ◇日本下水道事業団の工事計画、予算、設計業務、技術開発、受託展望、組織・人事 ◇都道府県、市町村などの下水道事業計画、予算、事業方針 ◇上下水道に関わる新技術開発、国際展開、民間動向、データベース、各種ランキング、図表など
- ◆読者限定 Web メディア「上下水道情報 plus」
 - ◇取材した情報を、印刷を待たずにいち早くお届け ◇官民 HP 公表の上下水道関係ニュースリリースを収集して毎日(平日)更新 ◇バックナンバー検索・閲覧可能

- ・ 冊子：毎月第2火曜日発行 A4判 40～60ページ(通常) / Webメディア：随時更新
- ・ 購読料(税込・送料込) 年間契約92,400円(84,000円+税)。Web ID×1付与=同時接続3台まで
- ・ 《オプション契約》PDF版の印刷可能・社内ネットワーク共有可能・Webメディアへの同時接続台数フリー(上限あり) 年間契約120,000円+税



Webメディア「上下水道情報 plus」(ktjplus.jp)はこちらのQRコードから(一部コンテンツはログインなしでご覧いただけます)



環境施設

廃棄物、バイオマス、再生可能エネルギーなどの環境関連施策・技術を対象とした季刊雑誌です。

- ・ 年4回発行(3月・6月・9月・12月)
- ・ A4判 本文72～100ページ(通常)
- ・ 購読料(税込・送料込) 年間契約9,680円(8,800円+税)
- ・ 1部定価(税込・送料別) 2,420円(2,200円+税)



お申込み・お問合せは

公共投資ジャーナル社 総務部 TEL. 03-6721-5371
〒105-0003 東京都港区西新橋 2-19-2 ✉kt-j@kt-j.jp

↓ ウェブサイトからも情報発信中 ↓
www.kt-j.jp

特別企画③

「下水道管路の全国特別重点調査」 グラフで見る 自治体別の対象延長

【公共投資ジャーナル社 **上下水道情報** 編集部による緊急アンケートの結果より】

今年1月に埼玉県八潮市で発生した道路陥没事故を受け、国土交通省では下水道管路の全国特別重点調査を全国の自治体に要請しています。調査の対象は口径2メートル以上かつ布設後30年以上の下水道管路。このうち、①八潮市の事故現場と類似の構造・地盤条件の箇所、②管路の腐食しやすい箇所、③陥没履歴があり交通への影響が大きい箇所、などに該当する箇所は「優先実施箇所」として今年の夏ごろまでに、それ以外は令和7年度中の調査完了を管理主体の自治体に求めています。同省によると、対象となる自治体は約500、延長で約5000km、このうち優先実施箇所を含む自治体は約100、延長で約1000kmにのぼります。

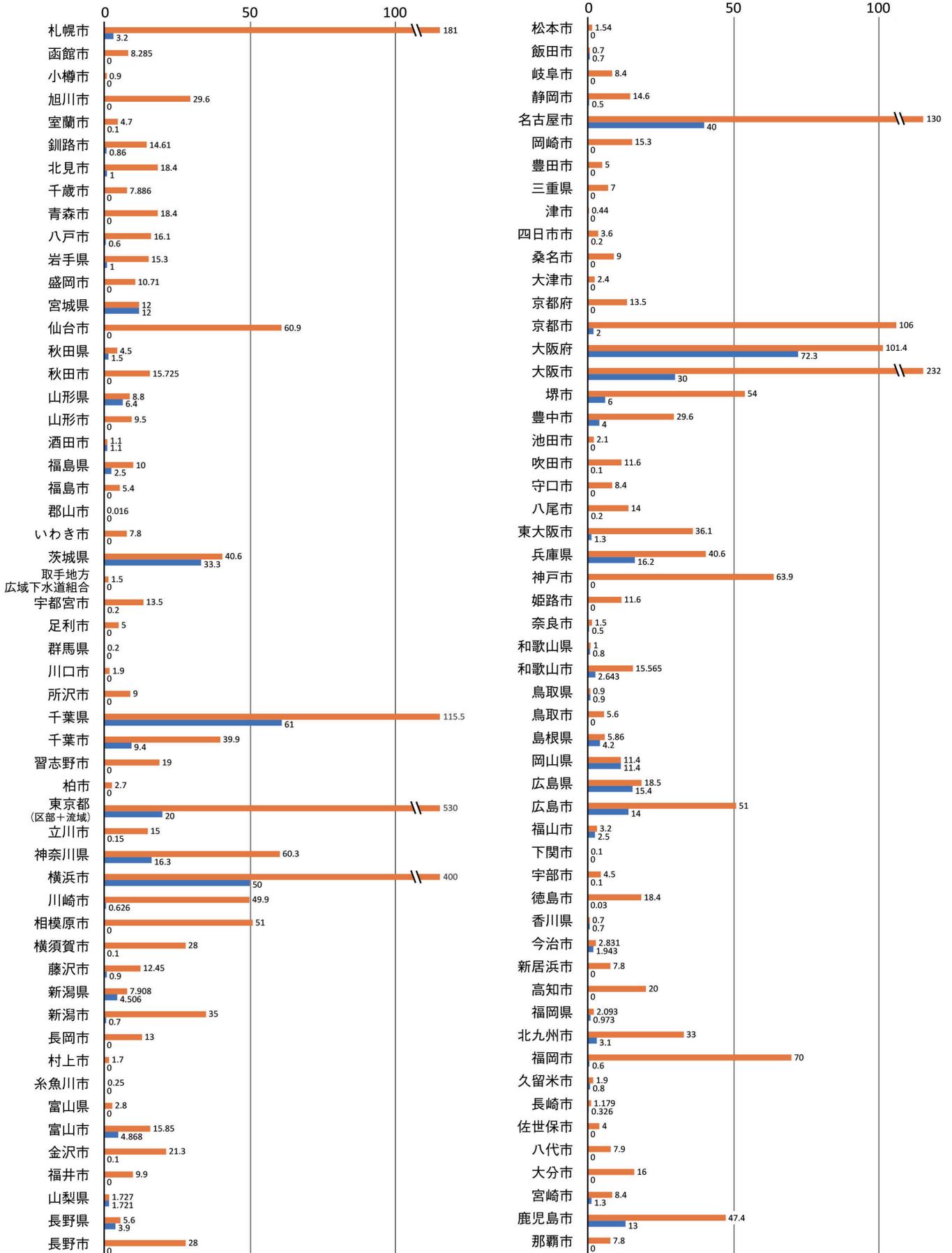
本紙は今年4月、全国の都道府県と主要都市^{*1}を対象に全国特別重点調査に関する緊急アンケートを行いました。その結果をベースに、自治体別の対象延長をグラフ化して紹介します。

- ※1 政令指定都市、県庁所在地、下水道職員50名以上の一般市（日本下水道協会発行の「下水道統計」に基づき対象都市を抽出）。
- ※2 対象延長について未回答や「調整中」などの回答があった自治体は除外していますが、一部、追加調査を行った自治体もあります。
- ※3 アンケート結果の詳細（調査の実施時期、合流管・分流管別の延長・最大口径、概算費用、想定している調査手法など）は『上下水道情報』第2023号（5月13日発刊）および第2024号（6月10日発刊）に掲載しています。

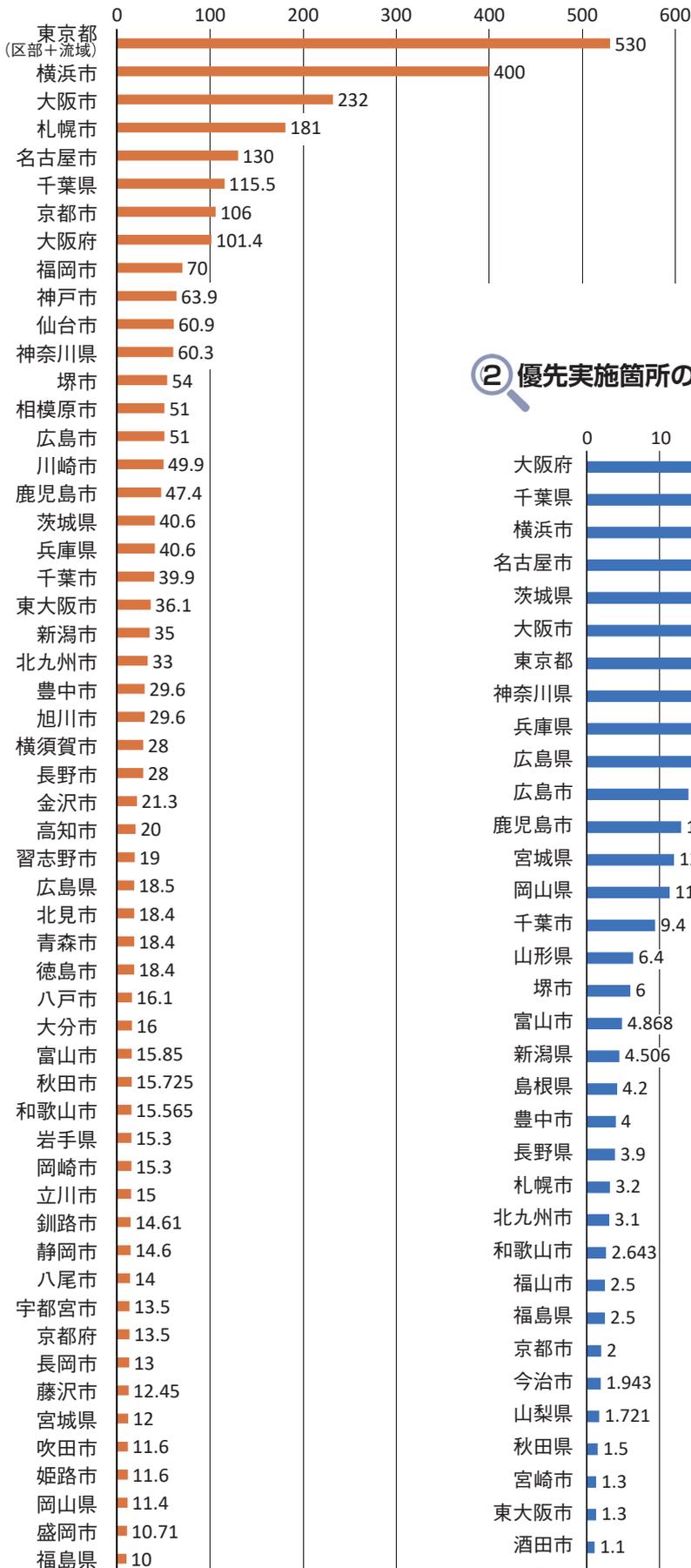
下水道管路の全国特別重点調査 自治体別の対象延長一覧

[本紙の緊急アンケートで有効な回答が得られた 103 自治体]

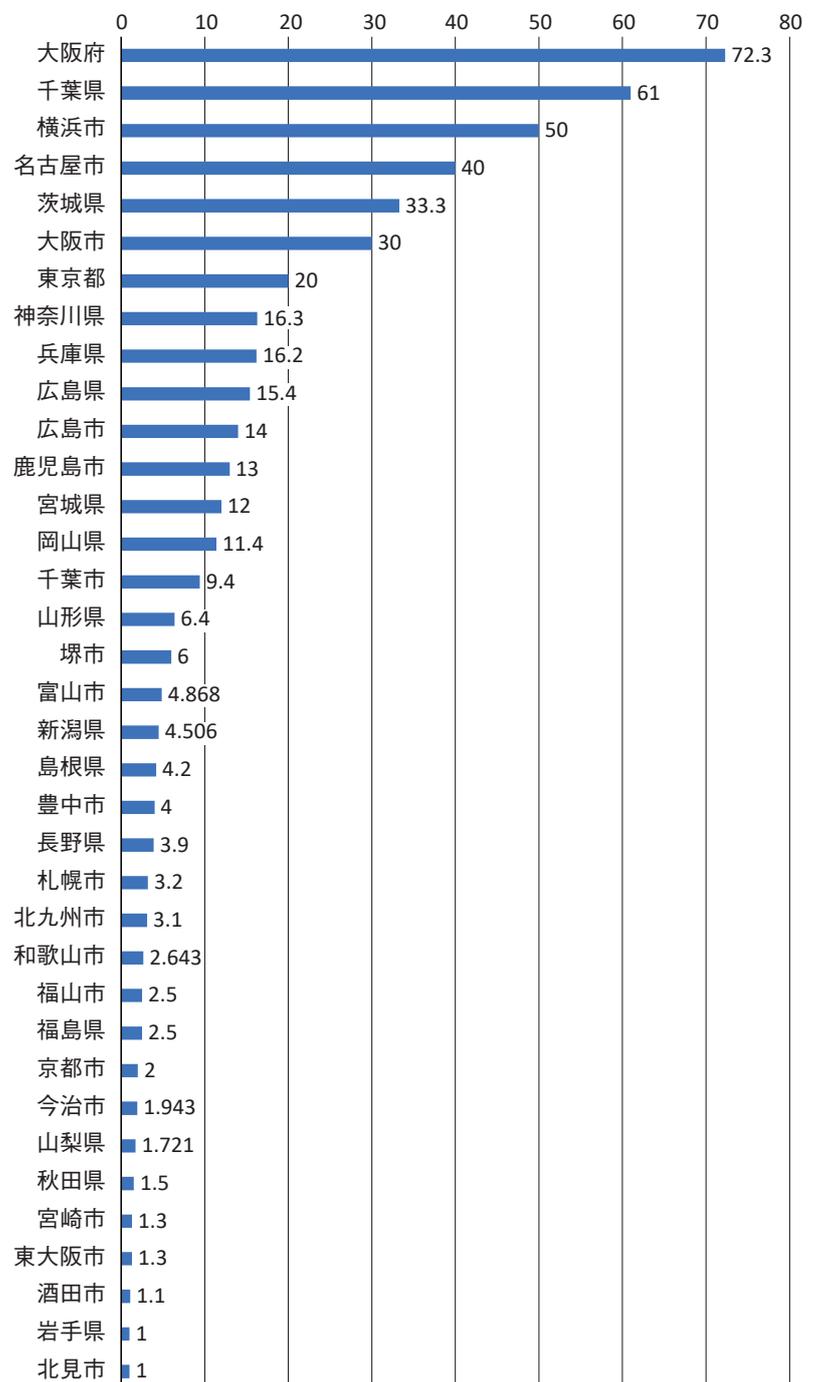
■ (上段)：特別重点調査の対象延長 (km) ■ (下段)：上記のうち優先実施箇所延長 (km)



① 調査対象延長が10km以上の自治体 (単位: km)



② 優先実施箇所の対象延長が1km以上の自治体 (単位: km)



祝 下水道展'25 大阪

上下水道情報 plus

ktjplus.jp

7月4日 ニュースリリース29本追加



NEW

・2025.07.04
東京大学 「下水道イノベーションセミナー@本郷」を開催

#東京大学



NEW

・2025.07.04
加藤裕之の時流を解く【第9回】広域化と局所化

#老朽化 #広域化
#加藤裕之の時流を解く
#道路陥没



NEW

・2025.07.03
本紙調べ 下水道管路の全国特別重かかる発注状況

#管調査 #独自企画 #道路陥没



NEW

・2025.07.02
水管協総会 飯嶋会長が退任、10年のあゆみを振り返る

#日本水道運営管理協会



NEW

・2025.07.02
下水道協会 CWOとDXの推進で連携協定を締結

#クリアウォーター-OSAKA #DX



NEW

・2025.07.02
日本有機資源協会 6月30日、第14回定時総会開催

#日本有機資源協会

期間限定
一般公開

- 政策
- 老朽化対策
- 上下水道DX
- 創エネ・省エネ、脱炭素
- 水循環政策
- 広域化・共同化
- 情報利用
- 海外展開
- 集落排水・浄化槽
- その他

会員制 Web メディア「上下水道情報 plus」は
下水道展'25 大阪の開催を記念して、期間限定で一般公開いたします。
次のゲストIDでどなたでもご覧いただけます。無料。課金・営業は一切ありません。

ID : guest2025
パスワード : osaka
ご利用期間 : 2025年7月29日(火) ~ 8月18日(月)



<https://ktjplus.jp/>

8月19日以降のご利用には、冊子「上下水道情報」の年間購読契約が必要です。1契約で毎月1冊+1ID(同時接続3台まで)、年間92,400円(税込)。お問い合わせは公共投資ジャーナル社 ktjid@kt-j.jp または電話03-6721-5371まで



KTJ-NET

公共投資ジャーナル社
ウェブDB・情報サービス

上下水道 入札情報配信システム

上下水道ビジネス必携。自治体・水道事業者ほか
発信の入札公告・結果を Web でご提供

Web上で公表されている入札情報(入札公告・入札結果)から、
地方公共団体、日本下水道事業団、水道企業団等が発注する上下水道
事業関連の案件を独自に収集・カテゴリ化し、Webブラウザでご
提供します(専用ソフト不要)。CSV出力も可能です。

2週間の無料お試しをぜひご利用ください。

■料金(税別) 基本契約 57,600円/3ID/半年。追加ID:9,000円
/半年。ご契約は半年単位。下水道のみ・水道のみのご契約も可

上下水道 地図・施設情報システム

地図情報+施設情報+契約情報が一体化した
画期的な Web サービス

全国の処理場・ポンプ場・浄水場約7千施設の位置を地図にマッピング。
各施設には詳細な施設情報(計画概要、設計・施工、運転管理者、
外観写真等)と最近の契約情報が表示されます(KTJ-NET 上下水道
入札情報配信システム連動)。浄水場データは水道産業新聞社提供。

1週間の無料お試しをぜひご利用ください。

■料金(税別) 初回登録料 20,000円/年間使用料 60,000円。
1契約で同時ログイン3台まで可

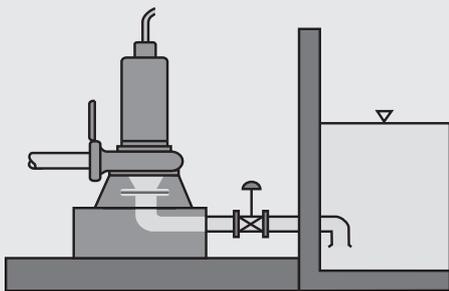
お問い合わせ・試用・お申し込みは ——— 【公共投資ジャーナル社】 メール: kt-j@kt-j.jp 電話: 03-6721-5371 (受付平日 9:30-17:30)

公共投資ジャーナル社

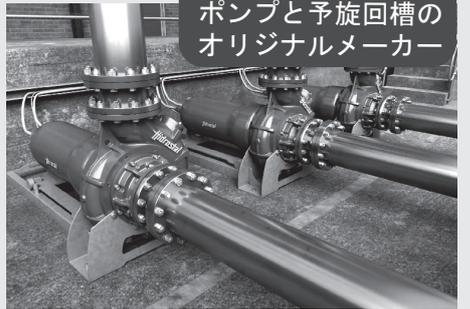
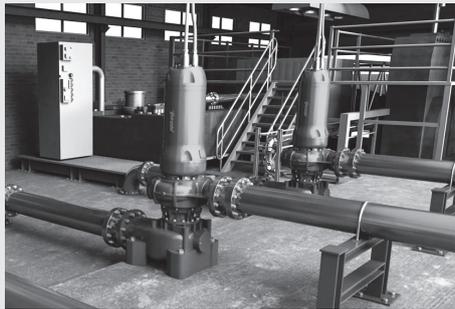
地震や台風・ゲリラ豪雨・河川氾濫・高潮などの水害に BCP・BCM対策を！

水没の恐れがある地下ポンプ施設に、気中連続運転可能！

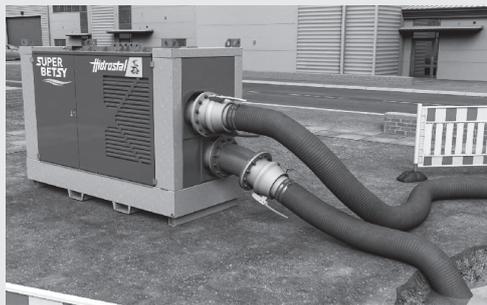
平時も非常時も継続運転・水陸両用耐水型汚泥ポンプ



ポンプ口径：50mm～500mm



スクリーウ渦巻き
ポンプと予旋回槽の
オリジナルメーカー

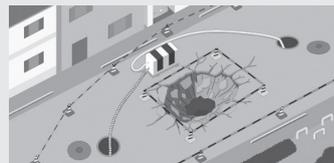


ディーゼルエンジン駆動の 多目的モバイルポンプユニット 「SUPER BETSY」 災害発生時は現場に緊急出動！

《日常の用途例》

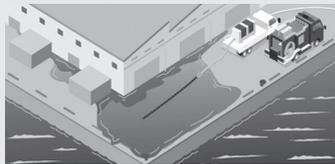


池・堀などの清掃・浚渫



マンホール・下水道の水替工事

《災害時の用途例》



工場の緊急排水



ゲリラ豪雨、洪水・高潮時の緊急排水

エンジン駆動

電源不要

静音・軽量・コンパクト設計

可搬型

自動運転可能

全自動自吸

無閉塞型

高濃度汚泥に対応

し渣や異物の吸込み圧送も容易

遠隔操作可能

- 短時間少人数（最少人数2名）で簡単に設置・運用可能。
- 標準装備の水位レベルセンサーで自動始動・自動停止も可能。
- 高効率ポンプと低燃費エンジンの採用により、燃料満タン時連続約56時間※の運転が可能。
- 呼び水不要の自吸式かつ異物の混入に強い無閉塞ポンプ。

※運転状況により変動します。

ISO9001 認証取得

大平洋機工株式会社

本社：〒275-8528 千葉県習志野市東習志野7-5-2
TEL：047-473-6181(代表) FAX：047-478-8063
<http://www.taiheiyo-kikou.com>

ラサ商事株式会社

本社：〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-11-5
TEL：03-3667-8231(代表) FAX：03-3669-1729
<http://スラリーポンプ.jp> <http://www.rasaco.co.jp>

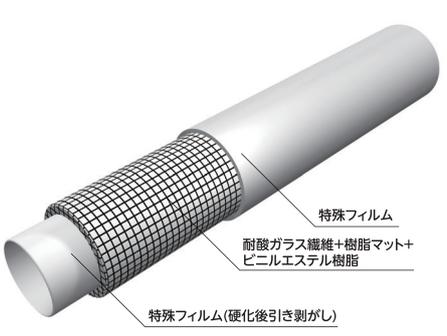
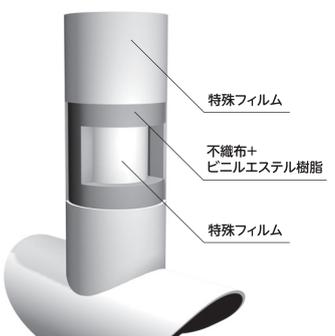
下水道は、安全で快適な生活の向上維持、
地域社会の健全な発展、自然環境の保全など、
持続可能な社会の実現に不可欠な水インフラです。

FJISS 一般社団法人
持続可能な社会のための日本下水道産業連合会
Federation of Japanese Industry of Sewerage Service for Sustainable Society

会長 野村 喜一

〒101-0047 東京都千代田区内神田2丁目10番12号 内神田すいすいビル5階
TEL : 03-3527-1990 FAX : 03-3527-1991 <https://fjiss.or.jp/>

多様な現場状況に対応する 2タイプの管きよ更生工法 ~都市再生の礎~

| SDライナーII工法〈G+VE〉 | SDライナー工法〈F+VE〉 | |
|---|--|--|
| <p>〈本管〉</p>  <p>特殊フィルム 耐酸ガラス繊維+樹脂マット+ ビニルエステル樹脂 特殊フィルム(硬化後引き剥がし)</p> | <p>〈本管〉</p>  <p>特殊フィルム (形成工法のみ) 不織布+ビニルエステル樹脂 特殊フィルム(硬化後引き剥がしと 硬化後残存)の2タイプ</p> | <p>〈取付管〉</p>  <p>特殊フィルム 不織布+ ビニルエステル樹脂 特殊フィルム</p> |

- ◇熱硬化性樹脂に耐薬品性に優れたビニルエステル樹脂を使用
- ◇「管きよ更生工法における設計・施工管理ガイドライン—2017年版—」に適用



SDライナー工法協会

〒370-0071 群馬県高崎市小八木町310番地1 TEL:027-329-7378 FAX:027-329-7379
URL:<https://sd-liner.jp> e-mail:sd-liner@dan.wind.ne.jp



ホームページはこちら



健全な水と環境を 次世代に引き継ぐ

水と環境の Consulting & Software

NJS

公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会会員

株式会社 NJS

代表取締役社長 村上 雅亮

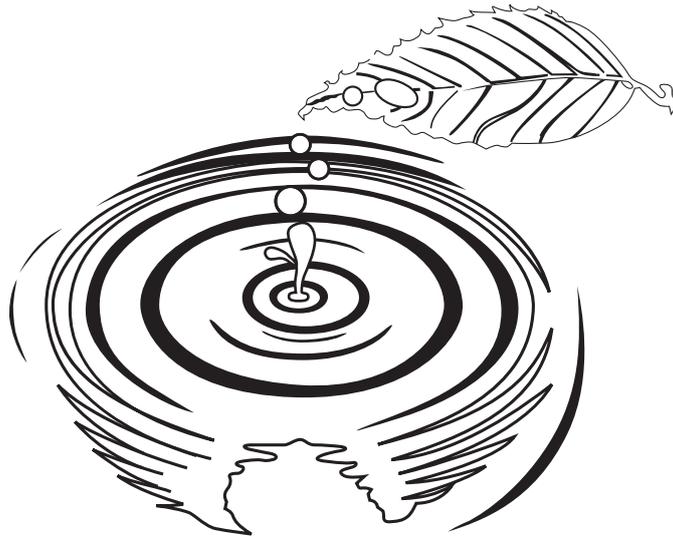
〒105-0023

東京都港区芝浦1-1-1 浜松町ビルディング14階

TEL: 03-6324-4355(代表) FAX: 03-6324-4356

URL: <https://www.njs.co.jp/>

水と人の豊かなくらしをつくる



(公社)全国上下水道コンサルタント協会 会員
(一社)管路診断コンサルタント協会 会員



株式
会社 **三水コンサルタント**

代表取締役社長 山崎義広

大阪本社 〒530-0005
東京本社 〒112-0002

大阪市北区中之島6丁目2番40号
東京都文京区小石川5丁目5番5号

TEL.(06)6447-8181(代)
TEL.(03)5976-9060(代)

FAX.(06)6447-8196
FAX.(03)5976-9077



ASTERRA

音だけだった漏水調査に衛星の知見を



視えてまっせ、

衛星でっせ?

「アステラ・リカバー」はAIで衛星データや漏水履歴を分析する「漏水リスク予測」とは異なり、実際の水漏れ箇所のセンシングを行い、市内全域の漏水調査を行う技術です。抽出した「漏水疑い箇所」のみに音聴調査対象を絞り込むことにより、数年を要していた全域調査の期間を数か月に短縮、調査コストの大幅な縮減も可能です。



経済的な全域調査



調査期間を短縮



二次災害の防止



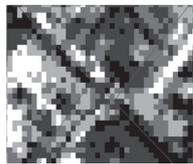
調査結果のデジタル化



管路更新計画への活用



① 衛星レーダーにて市内全域を観測



② 漏水疑い箇所の絞り込み



③ 音聴などによる現地調査



正規代理店 東亜グラウト工業株式会社 管路グループ水道事業部 〒160-0004 東京都新宿区四谷二丁目十番地三 TEL.03-3355-1531

ICE-PIG

スカム

スラッジ

砂・ヘドロ

オイルボール

もうな、この際やから、
これまでのあれもこれも、それも、どれも、

ぜんぶ水に流すで!

氷の力で洗浄し、老朽化した水道管を延命する

アイスピグ管内洗浄工法

折れ曲がった管や口径が変化する管、長距離管であっても、水(H₂O)と塩(NaCl)から作られた半固体の特製アイスシャーベットが、やさしく包んで、力強く押し流します。付着した汚れも、伏せ越し部の夾雑物も、破損やピグ詰まりなど洗浄の不安も! アイスピグ洗浄工法は老朽化した水道管をよみがえらせる、管にも環境にも優しい技術です。



アイスピグ研究会

TEL 03-5366-9818

アイスピグ近畿地域協会

TEL 0721-24-0118

アイスピグ研究会HP



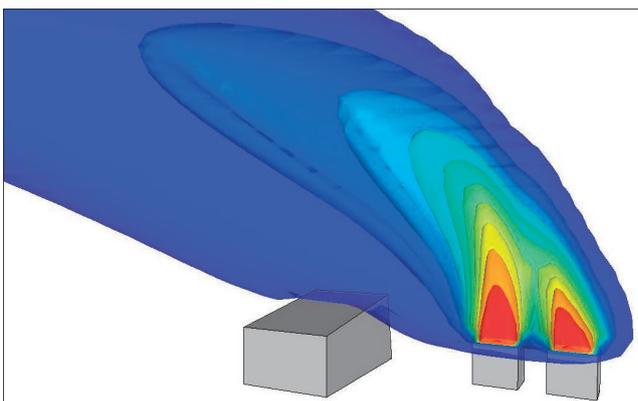
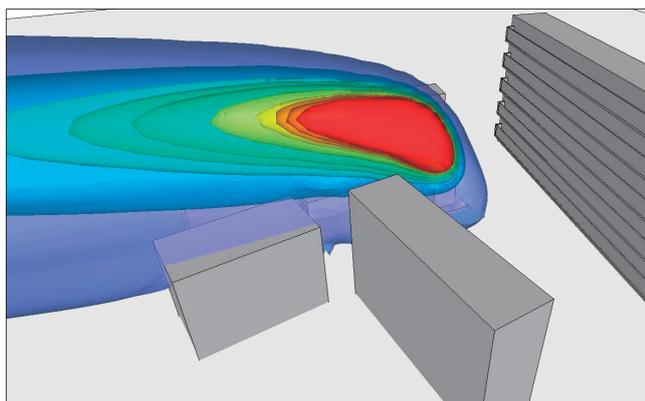
近畿地域協会
会員企業一覧



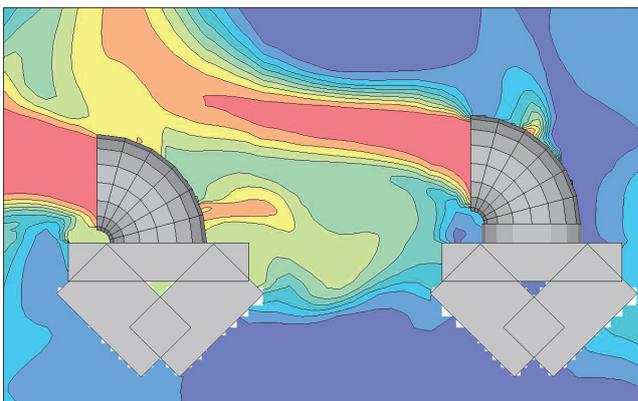
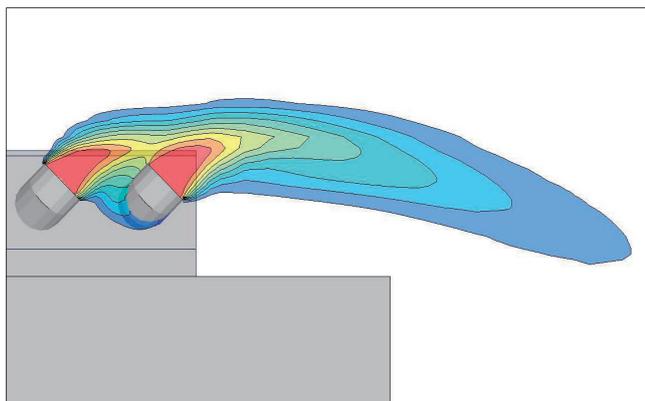
エンジン・ラジエータ等からの排気ガスでお悩みではありませんか？

- ★排気ガスの流れを風向・風速により周辺地域の影響をシミュレーションにより解析致します。
- ★周辺地域に住居・公園等がある場合、排気ガスのシミュレーションを行い対策が可能です。
- ★また、排気ガスの流れのベクトル・排気ガス温度もよりわかりやすく表示できます。

ぜひ実績がある当社にご相談ください。



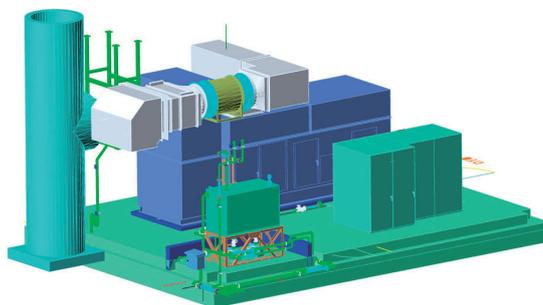
排気シミュレーション



ラジエータ排風シミュレーション

★3Dモデルの作成

2次元データを基に3D化を行っております。
3Dモデル化することにより、直感的な表現が可能で
多様な角度で表示が可能になります。



★その他

一般社団法人 日本内燃力発電設備協会の容量計算書 (NH1) のCAD化も行っております。

株式会社クオークエンジニアリング

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-25-7 GREENPARK 神田602号
TEL:03-5298-5290 FAX:03-5298-5291 E-mail:quoq@quoq-eng.com



サステナブルな ブルーをつくらう。

地球は別名「水の惑星」と言われるように青い海で覆われています。
水は命の源であり、社会経済活動の存立基盤でもあります。
私たちは水環境ソリューション企業として、浄水施設やし尿・下水処理施設
など水環境のあらゆるところで活かされています。
これからも快適で豊かな暮らしを牽引する水環境インフラの発展を使命
とし、サステナブルな社会の実現のために貢献してまいります。

通称 ティージャス
(TJAS)です



みずから、これから。

月島JFEアクアソリューション株式会社



月島ホールディングス
グループ

